# 取扱説明書

## CD-MDポータブルシステム

# 型名 RC-X5MD

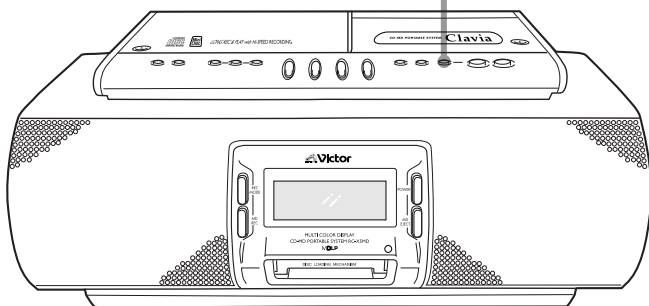
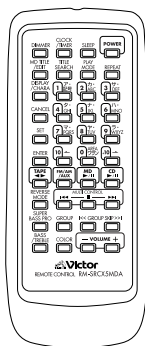
**● デモ表示について**

表示窓のデモ表示を「入⬌切」することができます。デモ表示に入らないようにするときは、電源「切」のときCOLOR CHANGEボタンを2秒以上押してください。詳しくは16ページをご覧ください。

Clavia
クラビア

MDLP

ーお買いあげありがとうございますー

● もくじは2ページにあります。

**⚠ご使用の前に**

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
**特に3〜6ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。**
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

（Clavia とは、ドイツ語の「鍵盤楽器」の意からの造語です）

LVT0767-001D

# もくじ

## お使いになる前に　ページ



## 準備　ページ



## 聞く　ページ



## 録音する(MD、テープ)　ページ



## 編集する（リモコンを使います）　ページ



## 他の機器・タイマーを使う　ページ



## 知っておいてほしいこと　ページ

# 安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

## 絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

### ⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

### ⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

**●絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

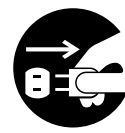
行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

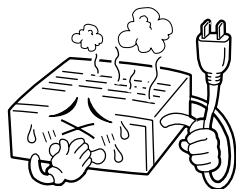
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く



## ⚠警告

### 万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

● 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

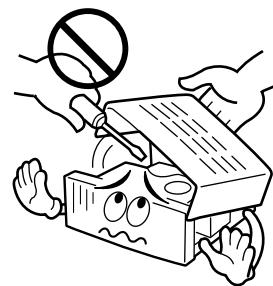
● 内部に水や異物が入ってしまったとき
● 落としたり、破損したとき
● 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

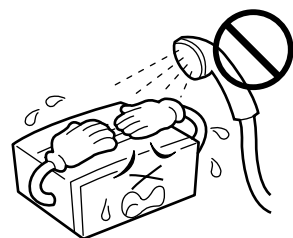
### 分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

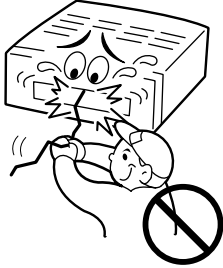
分解禁止

### 風呂場やシャワー室では使用しない。

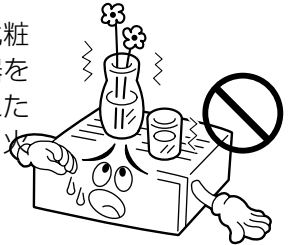
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

# 安全上のご注意(つづき) ーはじめにお読みくださいー

## ⚠警告

### 本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

### 本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

### 電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

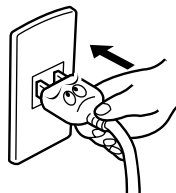
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

### 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

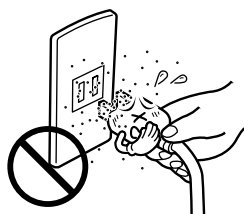
### 電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

### 表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

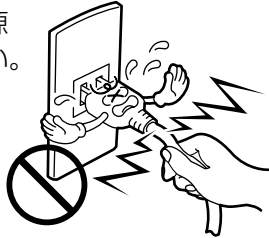
### 電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

### 本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

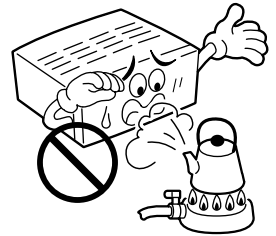
頭からかぶると窒息の原因となります。

# ⚠注意

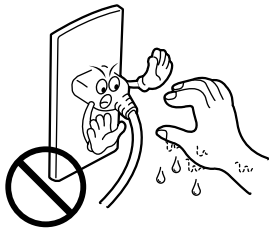
## 電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

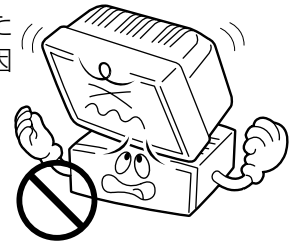
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

## 置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

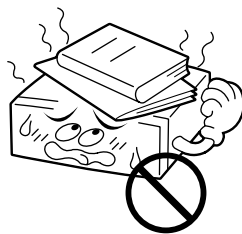
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

## ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

## 本機の上に重い物を置かない。

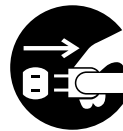
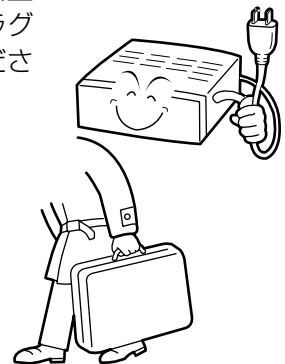
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

## 通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

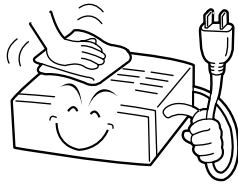
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

## 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

# 安全上のご注意(つづき) ーはじめにお読みくださいー

## ⚠注意

### お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

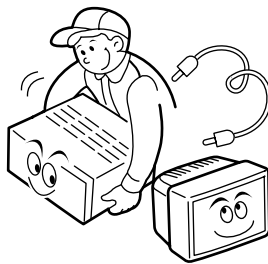
電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

### ディスク挿入口に、手を入れない。

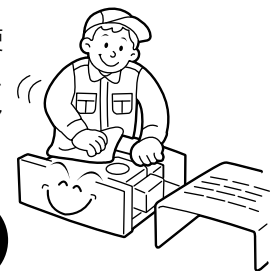
けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

### 移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

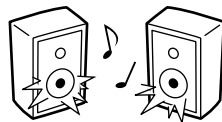
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

### 3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

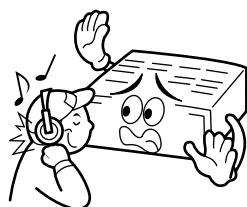
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

### はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

### ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

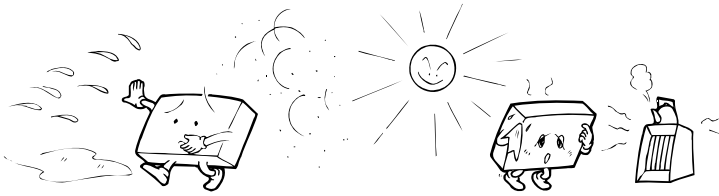
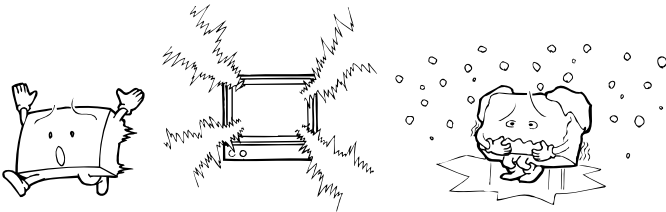
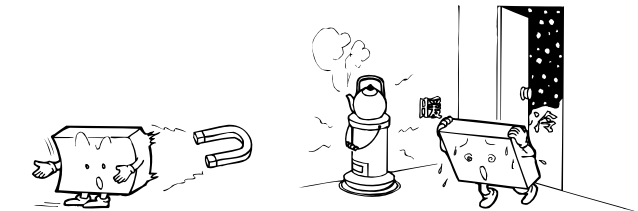
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

### 電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

# 使用上のご注意

## 本機やテープ、CD、MDの置き場所について

● 故障などを防止するため次の場所は避けてください。

・湿気やほこりの多い所　・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所
・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば
・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

## カセットテープ使用上のご注意

● C-120やC-150などのカセットテープは、長い時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。使用しないでください。

## カセットデッキについて

本機はノーマルテープ（TYPE Ⅰ（タイプ））の録音・再生と、ハイポジションテープ（TYPEⅡ）の再生ができます。メタルテープ（TYPEⅣ）には対応しておりません。メタルテープを使用しますと、音質が異ったり前の音が消えないで残るなどの原因になります。

## ヘッドホンについて

● ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

音のエチケット

**■ステレオを聞くときのエチケット**
**ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。**
**このマークは音のエチケットのシンボルマークです。**

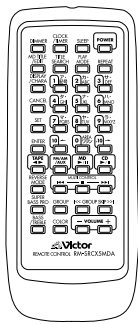
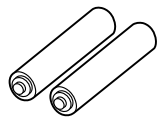
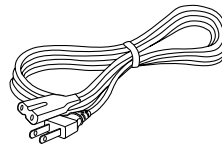
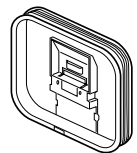
## 露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDやMDが正しく演奏できない場合があります。

● 暖房を始めた直後
● 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
● 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

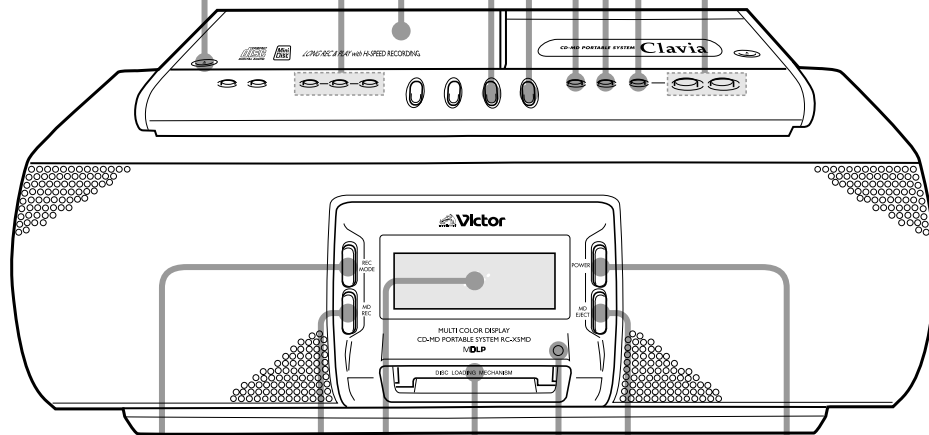
## 付属品の確認

お使いになる前に付属品をお確かめください。

リモコン
RM-SRCX 5 MDA*
（1個）

単3形乾電池
（2本）（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

AMループアンテナ
（1個）

*リモコンの型名は、本体の色によって異なります。
・ブルーサランネット／ホワイトボディ　：RM-SRCX 5 MDA
・メタルグレーパンチング／ブラックボディ：RM-SRCX 5 MDB
・ホワイトサランネット／シルバーボディ　：RM-SRCX 5 MDS
・シルバーパンチング／ホワイトボディ　：RM-SRCX 5 MDS

# 各部の名前 ―❏内の数字のページに説明があります。―

## CD部・MD部・共通部

| | 「CD」/「MD」のとき |
|---|---|
| ⏮と⏭ | 曲の頭出し、早送り/早戻し[18] |
| ■ | CD停止/MD停止[18] |

〈お知らせ〉

- この取扱説明書は、ブルーサランネット／ホワイトボディのRC-X５MD-Aのイラストを使用しております。

## チューナー部・デッキ部

TAPE RECボタン 35

MULTI CONTROLボタン
ソース(音源)によって働きが異なります。

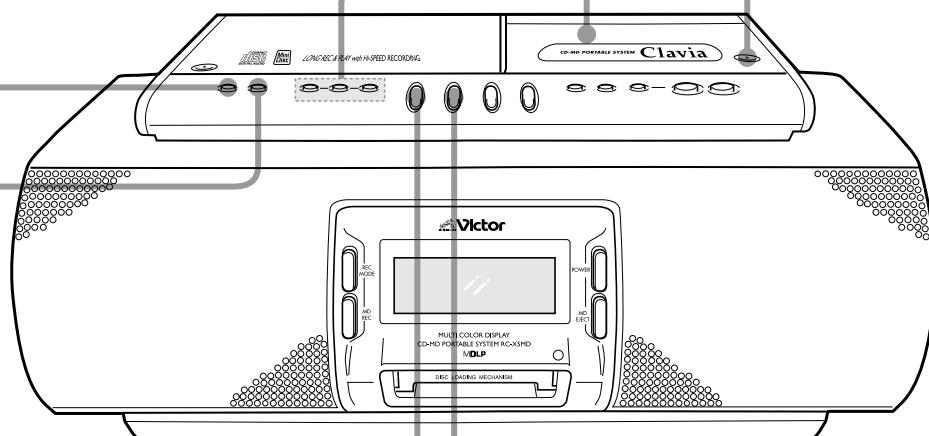
| | I◀◀と▶▶I | ■ |
|---|---|---|
| テープのとき (TAPE) | 巻戻し(REW)と早送り(FF) 27 | テープの停止 27 |
| 放送のとき (TUNER) | オート選局/マニュアル選局 28 | プリセット選局 (PRESET TUNING) 28 |

カセットホルダー
ここを開けてテープを入れます。

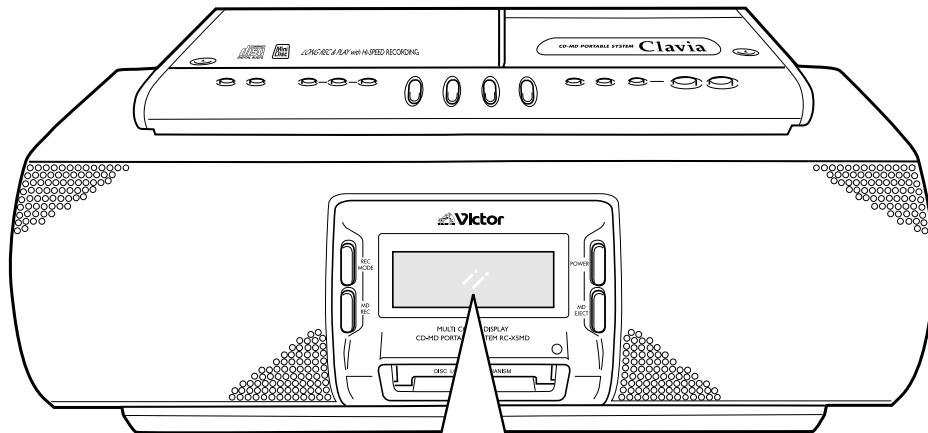
▲(テープ取出し)部 26
カセットテープを出し入れするとき、この部分を押します。

TAPE REFRESHボタン 26

TAPE◀ ▶ボタン 16 26
ソース(音源)を「TAPE」にしたり、テープの走行方向を変えることができます。電源を入れることもできます。

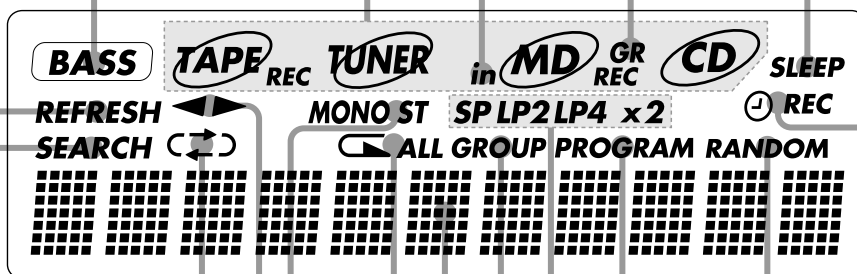
FM/AM/AUXボタン 16 28 56
ソース(音源)を「TUNER(FMまたはAM)」にしたり、「AUX」にすることができます。電源を入れることもできます。

# 各部の名前(つづき) —□内の数字のページに説明があります。—

## 表示窓(ディスプレイ)

BASS TAPE REC TUNER in MD GR REC CD SLEEP
REFRESH MONO ST SP LP2 LP4 x2 REC
SEARCH ALL GROUP PROGRAM RANDOM

**ソース(音源)表示**
⊂⊃が今現在選ばれているソース(音源)を表します。
録音状態にすると、RECが表示されます。
例：CDをMDに録音中は
TAPE TUNER in MD REC CD と表示されます。

**MDイン表示** 18
MDを入れると表示されます。

**GR表示** 31
グループモードが「オン」のとき
表示されます。

**スリープタイマー表示** 61

**タイマーモード表示** 58 60

**テープリフレッシュの表示** 26

**スーパーバスプロ表示** 17

**タイトルサーチのモード表示** 24

**リバースモード表示** 26

**テープの走行方向表示** 26

**FM放送のモード表示** 28

**リピート演奏表示** 21

**ランダム演奏のモード表示** 21

**プログラム演奏のモード表示** 20

**MDの録音・再生モード表示** 18 32

**グループ演奏のモード表示** 22

**文字情報表示部**
曲番号や演奏時間、放送局名などを表示します。

## リモコン

DIMMERボタン ㉕

TITLE SEARCHボタン ㉔

MD TITLE／EDITボタン ㊲㊺

DISPLAY／CHARAボタン ⑭⑲㊳

CANCELボタン ⑭⑳㊳

SETボタン ⑭㊳

ENTERボタン ㊴

REVERSE MODEボタン ㉖

BASS／TREBLEボタン ⑰

COLORボタン ㉕

CLOCK／TIMERボタン ⑭㊾

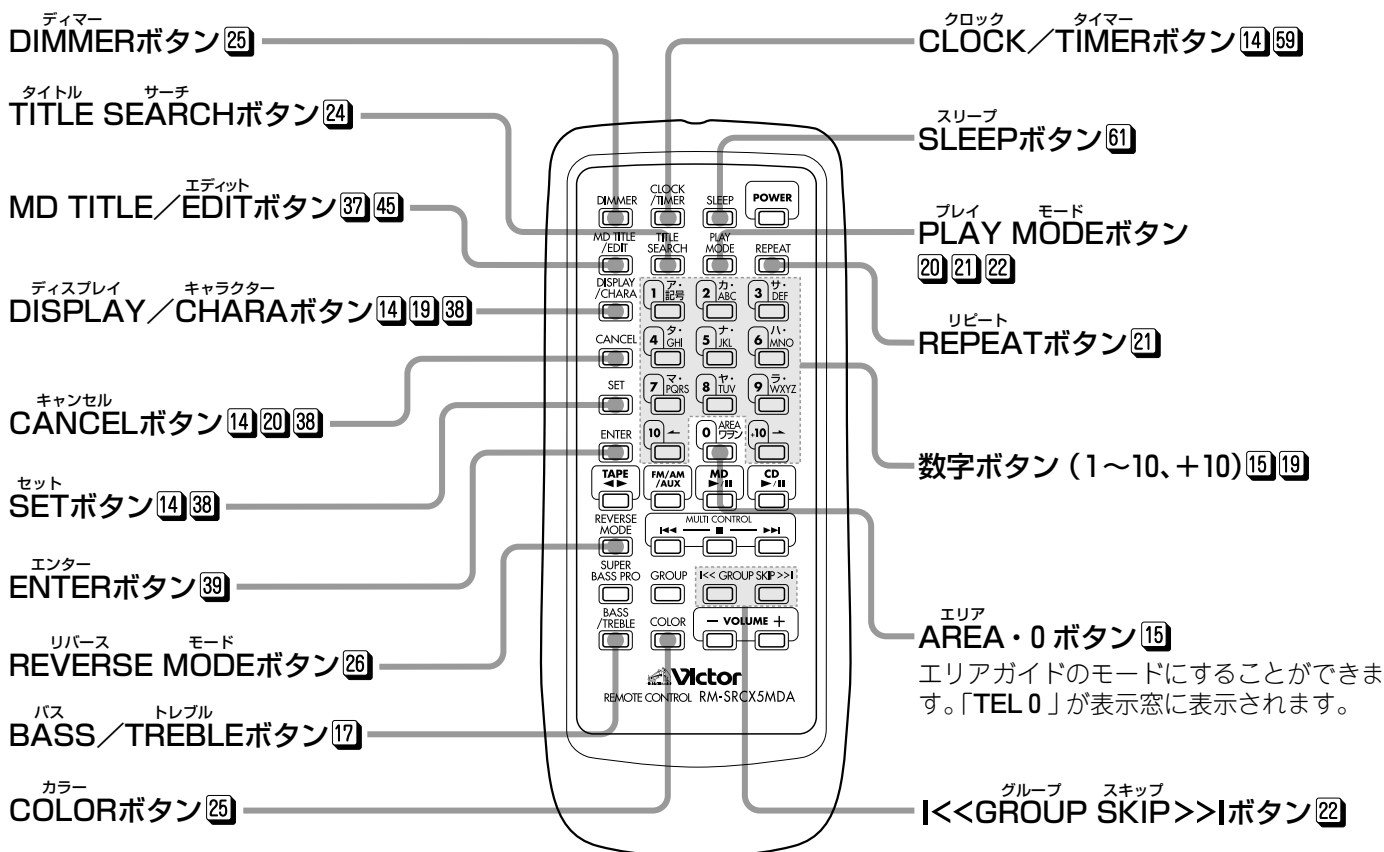
SLEEPボタン ㊶

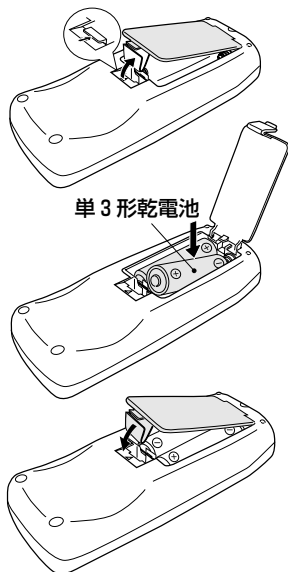
PLAY MODEボタン ⑳㉑㉒

REPEATボタン ㉑

数字ボタン（1〜10、＋10）⑮⑲

AREA・0 ボタン ⑮
エリアガイドのモードにすることができます。「TEL 0」が表示窓に表示されます。

I<<GROUP SKIP>>Iボタン ㉒

説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

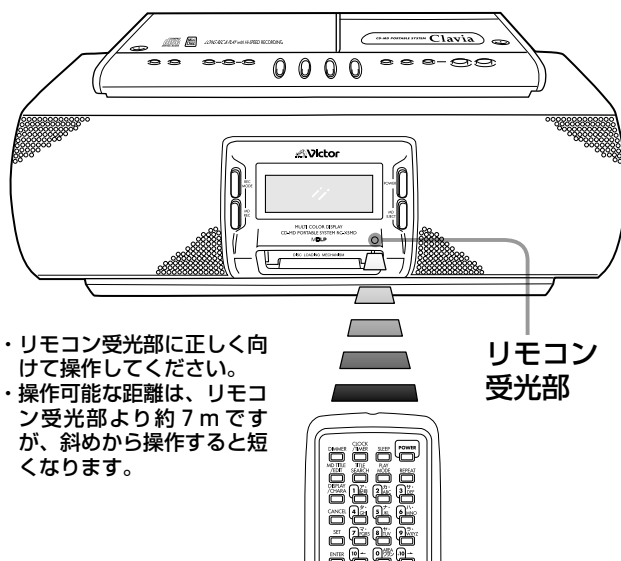
## リモコンの乾電池の入れかた

**1** 裏ブタを開ける

**2** 乾電池を入れる

単 3 形乾電池を 2 本入れます。
リモコン内部の表示に極性（＋、－）を合わせて正しく入れます。

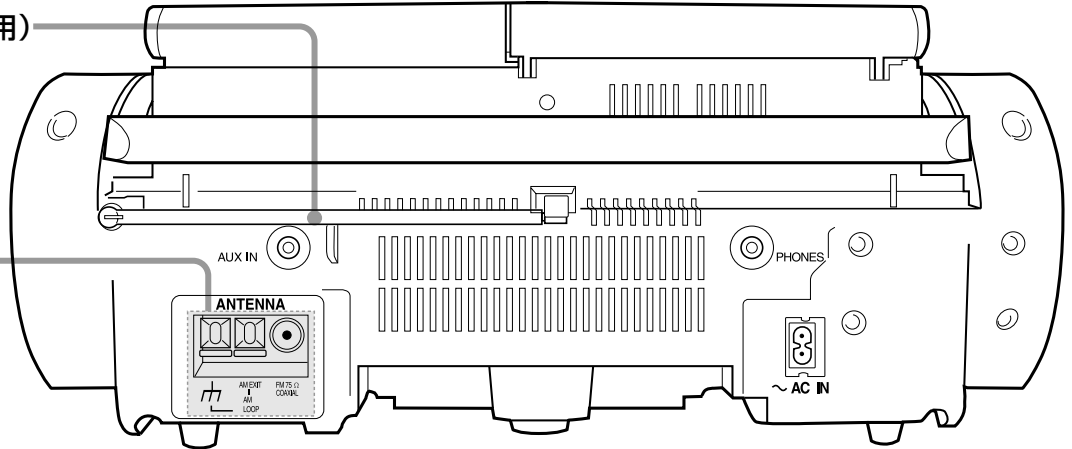
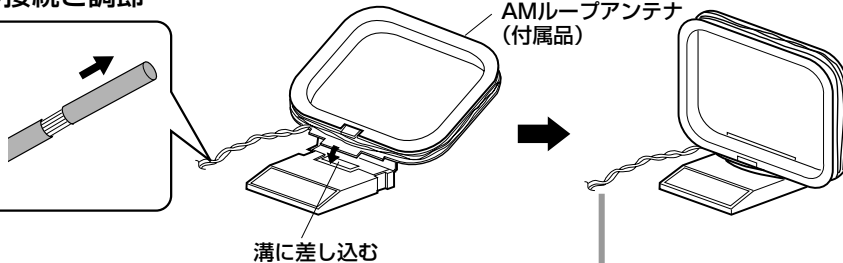
**3** 裏ブタをしめる

矢印の方向に戻します。

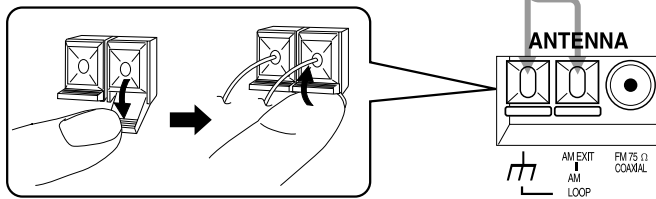
● リモコン操作のしかた

・リモコン受光部に正しく向けて操作してください。
・操作可能な距離は、リモコン受光部より約 7 m ですが、斜めから操作すると短くなります。

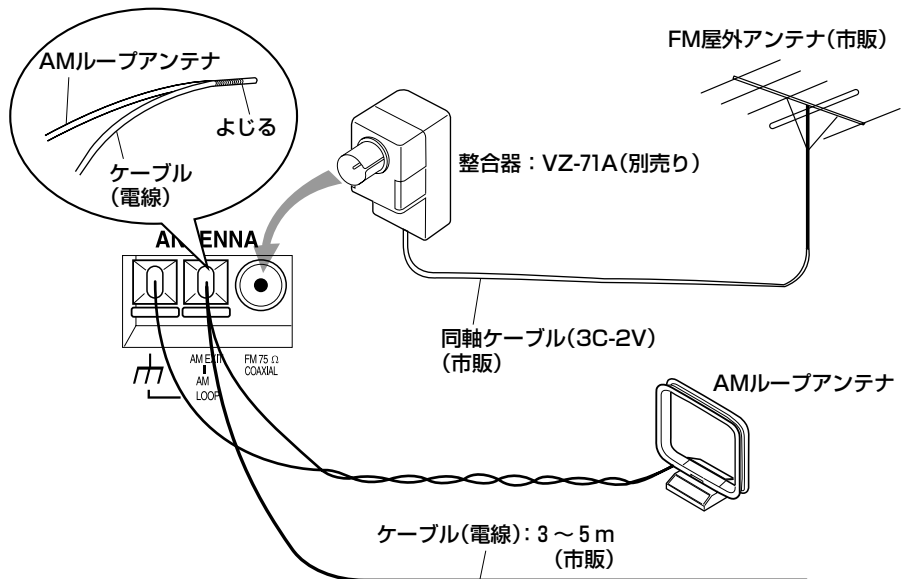
〈お知らせ〉

- リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗してきています。
  2 本とも新しい電池（単 3 形アルカリ乾電池など）に交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。
  乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 他のラジオにノイズ（雑音）が入るときは、離してお使いください。
- 動作しないことを避けるため、次のような状態で使用しないでください。
  ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき。
  ・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき。

# 接続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

## アンテナの接続と調節

### ● AMループアンテナの接続と調節

〈お知らせ〉
- アンテナを接続しないと、AM放送を聞くことはできません。
- AMループアンテナは、金属製の机の上やパソコン、テレビなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

### ● 屋外アンテナの接続と調節

- ·FM放送の場合、通常はロッドアンテナの長さと角度を調節し、最も良く受信できるようにします。
- ·雑音が多くて聞きにくいときは、市販の屋外用のFMアンテナを使います。
  マンションなどの、壁の共聴アンテナ端子も利用できます。
- ·AM放送の場合、市販のケーブル（3～5ｍの電線）を使います。

·AMループアンテナも一緒に接続しておきましょう。ケーブル（電線）は、窓際や屋外になるべく高く水平に張ると効果的です。

- 屋外アンテナの設置は、技術と経験を必要としますので詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- アンテナを接続したら、コードを引いてみてしっかり接続されているか確認してください。

## 他の機器、電源コードの接続

ステレオミニプラグ

接続コードCN-201A(別売り)
ポータブルMDプレーヤー(別売り)などと接続するときは、CN-203A(別売り)を使います。

L
R

レコードプレーヤー
AL-E350(別売り)など

フォノイコライザー
AC-S100J(別売り)

(イコライザーアンプなしのとき)

または

オーディオミキサー
MI-A40(別売り)

例:マイクを使うとき

AUX IN

AUX IN

PHONES

ANTENNA

AM EXIT
AM
LOOP
FM 75 Ω
COAXIAL

～AC IN

**PHONES(ホーンズ)端子**
市販のヘッドホンをつなぎます。
プラグを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。



**すべての接続が終わったら…**

～AC IN

**1** AC IN 端子へ差し込んでから…

付属の電源コード
または別売りの電源コード
CN-325A

AC100V
50Hz/60Hz

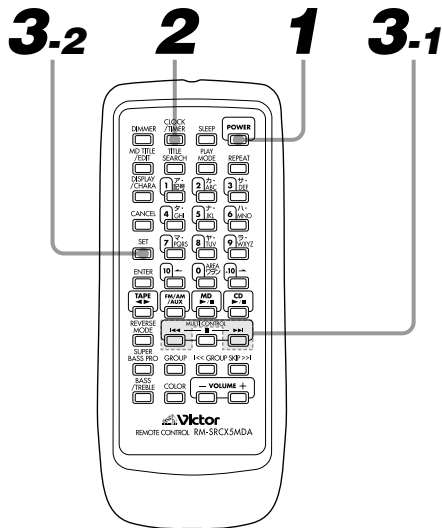
**2** 家庭用コンセントへ

### ご注意

- **本機を持ち運びするときは**
  電源コードやアンテナ線、他の機器との接続コードを事前に外してから運んでください。
  特に屋外用のFMアンテナを接続しているときは、ご注意ください。
- 20分以上の停電や電源コードがコンセントから抜いてあると、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

〈お知らせ〉

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード:**CN-325A**をお買い求めください。
- 長時間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。
  (電源が切れていても、電源コードが接続されていると約**2 W**の電力を消費します)

# 時計の合わせかた（現在時刻の設定）ー番号順に操作します。ー

●例：午後１時15分（13：15）に合わせるには…

●正確に時刻を合わせるには

テレビの時刻表示や電話の時報サービス等を利用してください。時刻を合わせ直すときは、CLOCK/TIMERボタンを３回押したあと左記の**3**の操作をします。

●使用中に時刻を知るには…（MDが入っていないとき）

リモコンのDISPLAY/CHARAボタンを「ポン」と押します。元の表示に戻すときは、もう一度「ポン」と押します。

リモコン

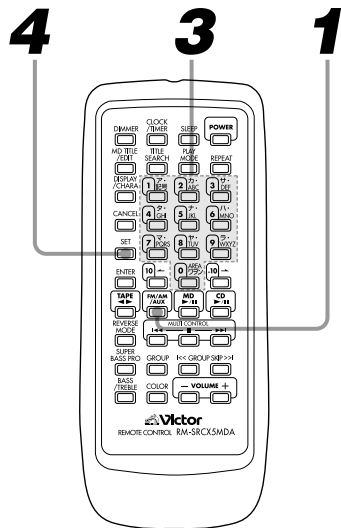
・MDが入っているときと、いないときで表示の順番が異なります。
➡⑲ページ参照

● 20分以上の停電や電源コードが抜いてあったときは

時刻表示が取り消され0:00表示の点滅に戻ります。このようなときは、左記**1**〜**3**の操作で時刻を合わせ直してください。

〈お知らせ〉

- 「分」表示を合わせているとき、リモコンのCANCELボタンを押すと「時」表示の点滅に戻せます。「時」表示を修正することができます。
- 時計を合わせておくと、タイマーを利用することができます。
- MDが入っているとき時刻を知るには、⑲ページ「表示窓の表示を変えるには」をご覧ください。
- 時計の精度は…
  月におよそ１分程度のズレを生じます。タイマーをお使いになるときは、時々時刻を合わせ直してください。

# 市外局番で放送局を記憶させる（エリアガイド機能）

● 市外局番を入力するだけで、あなたの地域で受信できる放送局が自動で記憶（メモリー）させることができます。

## 1 FM/AM/AUXを押す

・電源が入り、バンドが表示されます。
（FMまたはAMのどちらでもかまいません）
・「AUX」が表示されたときは、もう一度押します。

## 2 アンテナを調節する

・FM放送がうまく受信できるように、ロッドアンテナの長さ・角度を調節します。

## 3 あなたの地域の市外局番を数字ボタン（０～９）で入力する

例：市外局番が045の場合

・押した数字（例のときはTEL045）が表示窓に表示されます。

12秒以内に

## 4 SETを押す➡メモリー開始

・AM➡FMの順に周波数の低い放送局からメモリーしていきます。AM放送は最大15局、FM放送は最大30局までです。
・操作をスタートしたバンドの最初の放送局名が表示されると終わりです。

**● 市外局番は…**

あなたのお住まいの地域のAM放送を、本機から呼出し、メモリーするために使います。別の市外局番を入力すると、その地域のAM放送になります。

● エリアガイド機能によりAM放送は、本機に内蔵されている放送局（62～63ページ参照）を呼出してメモリーします。
FM放送は、市外局番03と06を入力したとき以外はあなたの地域で受信できる放送局を76.0～90.0MHzの間で自動選局し、メモリーします。
市外局番03と06の場合、本機に内蔵されている放送局（03は12局、06は７局）を呼出してメモリーします。

**● 市外局番を間違えたときは…**

左記**3**～**4**の操作をやり直してください。

**● メモリー後FM放送が76.0MHz以外表示されないときは…**

放送局がメモリーされておりません。受信状態の良い所で操作し直してください。

**● 市外局番が５ケタまたは６ケタ地域の場合…**

頭から４ケタを入力し、SETボタンを押してください。

**● 市外局番が変更になったときは…**

変更される前の市外局番を入力し、SETボタンを押してください。

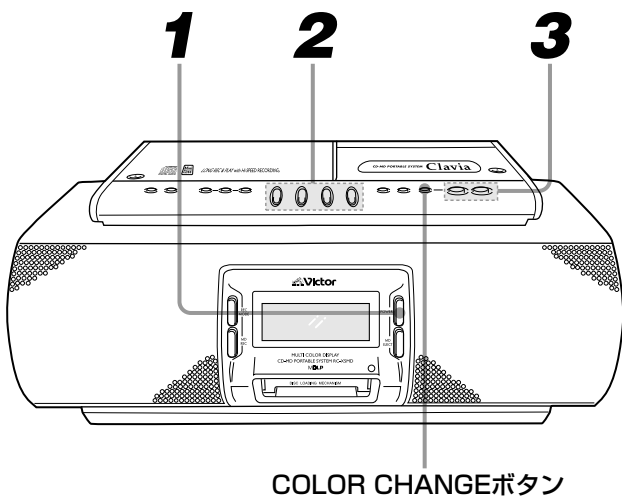
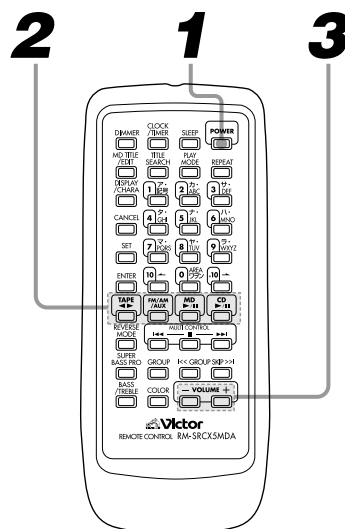
**● 近隣の別のAM放送の方がうまく受信できる地域の場合…**

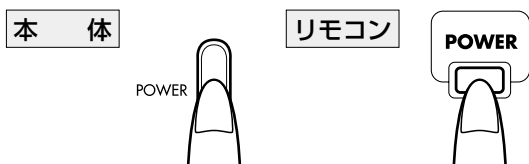
聞きたい放送の地域の市外局番を入力してください。

● 電波事情や地域によっては、エリアガイド機能で記憶されるよりご自分で選局する方が良好に受信できることもあります。このようなときは、その放送局を選んで記憶させてください。➡29ページ参照

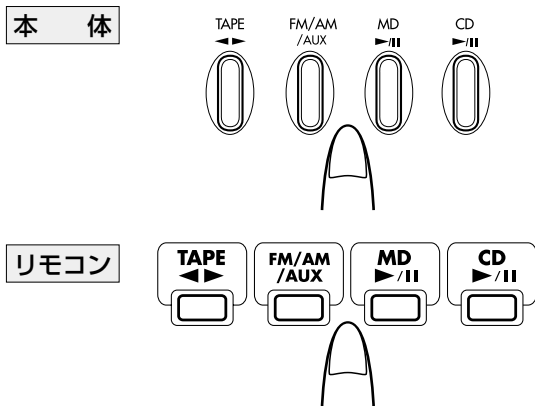
〈お知らせ〉

● 電源コードを抜いた状態（または停電）が24時間以上続くと、記憶された放送局は取り消されます。電源コードを接続（または停電が復旧）したら記憶をし直してください。
● 放送局をエリアガイド機能で記憶させると、選局時に放送局名が表示されます。

# 簡単操作（電源の入/切、イチ押しプレイ） ー番号順に操作します。ー

● 基本的な使いかた

## 1 POWERを押す

・電源が入り、「HELLO」が表示されたあと選ばれているソース（音源）が表示されます
・CD▶/Ⅱ、MD▶/Ⅱ、TAPE◀▶、FM/AM/AUXのいずれかを押したときも電源が入り、ソース（音源）も変わります。
　➡**イチ押しプレイといいます。**
　**（ディスクやテープが入っていたときは、演奏が始まります）**

## 2 聞きたいソース（音源）を選ぶ

| | 操　作 | 参照ページ |
|---|---|---|
| CDを聞く | CDを入れ、CD▶/Ⅱを押す | 18 |
| MDを聞く | MDを入れ、MD▶/Ⅱを押す | 18 |
| テープを聞く | テープ入れ、TAPE ◀▶を押す | 26 |
| 放送を聞く（ラジオ） | FM/AM/AUXを押して聞きたい放送局を選局する | 28 |
| 他の機器の音声を聞く | レコードプレーヤーなどをつなぎFM/AM/AUXを押してAUXを選ぶ | 56 |

## 3 VOLUMEで音量を調節する

**・＋側を押すと音量が上がり、－側を押すと下がります。**
**・VOLUME 0 ～35までの範囲で調節できます。**
　**詳しくは****17ページをご覧ください。**

● **使い終わったら…**
POWERボタンを押して電源を「切」にします。
「SEE YOU」が表示されたあと表示窓に現在時刻が表示されます。

### 表示窓のデモ表示について

デモ表示でディスプレイカラーを順番に変え、カラーの状態を表示させることができます。

DEMO START：**DISPLAY COLOR CHANGEをスクロール表示したあとデモ表示**
↕
DEMO OFF　：**デモ表示を止めるとき**

**・電源「切」のとき「ポン」と押すごとに選べます。**

● デモ表示に入らないようにするときは、電源「切」のときCOLOR CHANGEボタンを 2 秒以上押します。「DEMO CLEAR」が表示され、デモ表示には入らなくなります。

〈お知らせ〉
● 電源「切」のときMD EJECTボタンを押すと、電源が入りMDが入っていたときは出てきます。ただし、ソース（音源）は変わりません。
● 電源「切」のときは、消費電力を抑えるためMDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。

# 音量・音質の調節

SUPER BASS PROボタン
BASS/TREBLEボタン
VOLUMEボタン

● 音量の調節

・VOLUME 0 〜35までの範囲で調節できます。
（お買い上げ時はVOLUME14で、音量は表示窓に約２秒間表示されます）

● スーパーバスプロのオン/オフ

・押すごとに「オン↔オフ」が選べます。
「オン」にすると表示窓に BASS が表示され、メリハリの効いた重低音が楽しめます。

● 音質の調節

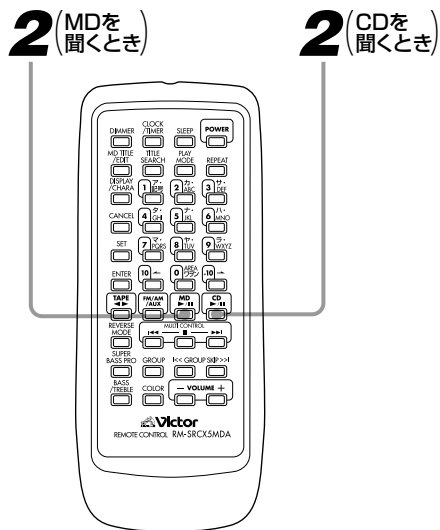
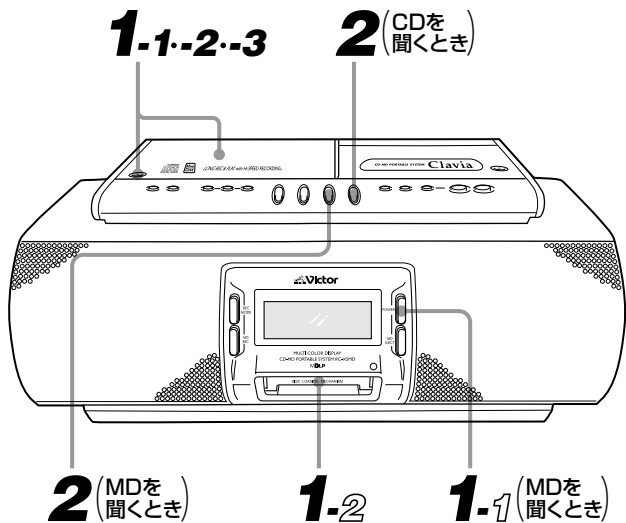
## 1 BASS/TREBLEを押す

## 2 VOLUMEで調節する

・０±６の範囲で調節できます。
（リモコンの場合は＋または−側を押します）
・調節から４秒後に元のソース（音源）の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

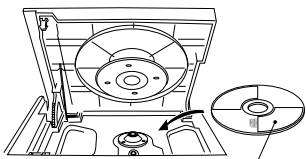
● 音量や音質調節は、スピーカーの音やヘッドホンの音に効きます。録音される音は、影響ありません。

# CDを聞く/MDを聞く ー番号順に操作します。ー

● 全部の曲の演奏

## 1 ディスクを入れる

・CDを聞くとき

**1-1** ≜(CD取出し)部を押してCDドアを開ける

**1-2** CDを入れる

・文字のある面を上にします

**1-3** CDドアを押してしめる

・中央から左側を押してください。

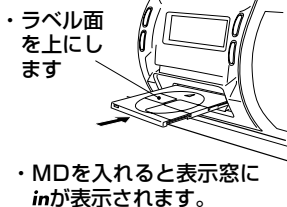
・MDを聞くとき

**1-1** POWERを押す

・電源を「入」にします。

**1-2** ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込む。
途中まで入れると自動的に中に引き込まれます。

・ラベル面を上にします

・MDを入れると表示窓に*in*が表示されます。

## 2 CD▶/❚❚またはMD▶/❚❚を押す

・CDを聞くとき

本　体

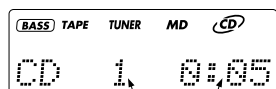
・ソース(音源)が「CD」になります。

リモコン

曲番号　演奏経過時間

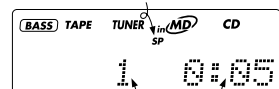
・MDを聞くとき

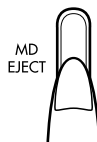
本　体

・ソース(音源)が「MD」になります。

リモコン

再生モード

曲番号　演奏経過時間

・1曲目から演奏がスタートし、全部の曲の演奏が終わると、自動停止します。

| | 操　　作 |
|---|---|
| 演奏をとめる | ■(停止)ボタンを押します。<br>曲数と総演奏時間が表示されます。 |
| 一時停止する | CD▶/❚❚(またはMD▶/❚❚)ボタンを押します。演奏経過時間表示が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。 |
| 曲の頭出し<br>(スキップ) | ❙◀◀ボタン:押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。<br>▶▶❙ボタン:押すごとに次の曲の頭に移ります。<br>停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が分かります。CDは20曲までです。 |
| 曲の早送り・<br>早戻し<br>(サーチ) | ・演奏中に押し続けます。<br>❙◀◀ボタン:早戻しができます。<br>▶▶❙ボタン:早送りができます。<br>(演奏音が小さく聞こえます) |

● MDを取り出すには

MD EJECTボタンを押します。MDが出てきます。ソース(音源)が「MD」のときは、表示窓に「EJECT」が表示されます。

### MDの再生モードについて

MDは録音したときの録音モードに従って演奏されます。演奏が始まると、表示窓にそのMDの再生モードが表示されます。

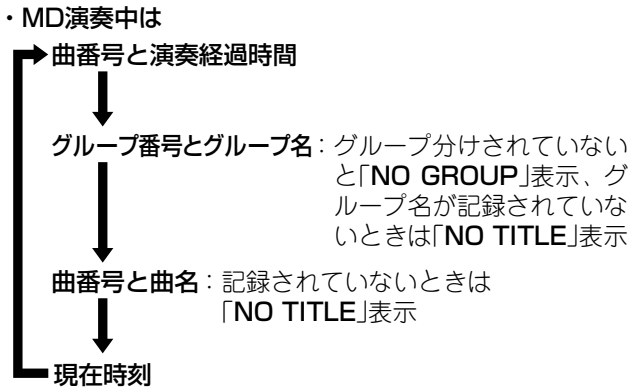
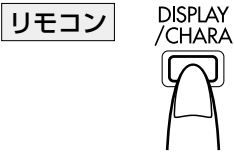
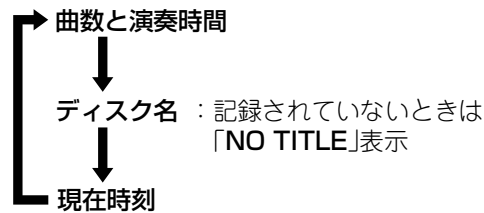
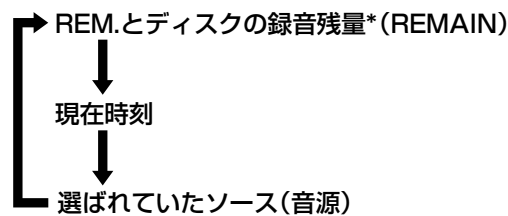
・***SP*** :本機でステレオ録音したMDまたはMD LPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
・***LP2*** :ステレオ2倍長時間録音したMDのとき
・***LP4*** :ステレオ4倍長時間録音したMDのとき

## 表示窓の表示を変えるには

リモコンのDISPLAY/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように変わります。

リモコン

・MD演奏中は

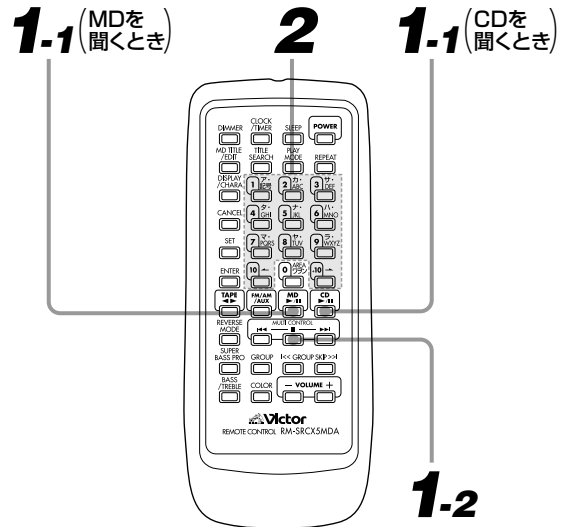
曲番号と演奏経過時間
↓
グループ番号とグループ名：グループ分けされていないと「NO GROUP」表示、グループ名が記録されていないときは「NO TITLE」表示
↓
曲番号と曲名：記録されていないときは「NO TITLE」表示
↓
現在時刻

・MDが停止中は（ソースが「MD」のとき）

● ソース（音源）がMD以外のときは

が押すごとに表示されます。

＊再生用MDは0:00表示

〈お知らせ〉

- **文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable 、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。**
- CDやMDの取り扱いについては、64ページをご覧ください。
- CDやMDが入っているときは、CD▶/❚❚またはMD▶/❚❚ボタンを押すだけで演奏が始まります。
- MDを使用しないときは、挿入口から取り出しておいてください。
- 電源を「入」にすると、MD部から「カチッ」という音がします。これはMD部に電源を供給するための音で故障ではありません。

## ダイレクト演奏

聞きたい曲の番号と同じ数字ボタンを押すと、直接その曲から聞くことができます。これをダイレクト演奏といいます。

### 1 CD▶/❚❚➡■（停止）またはMD▶/❚❚➡■（停止）を押す

・CDのとき

・ソース（音源）が「CD」になります。

・MDのとき

・ソース（音源）が「MD」になります。

演奏がとまったら

### 2 数字ボタンを押す

- **1～10曲目のときは…**
  1 ～ 10 までの希望するボタンを押す。
- **11曲目以上のとき…**
  +10 のボタンのあと 1 ～ 10 のボタンを押す。
  例：**15**曲目
  +10 ➡ 5 と押す。
  例：**20**曲目
  +10 ➡ 10 と押す。
  例：**25**曲目
  +10 ➡ +10 ➡ 5 と押す。

押した曲番号が表示窓に表示され、ダイレクト演奏がスタートします。

● **演奏中も別の曲に変更できます。**

聞きたい曲の数字ボタンを押してください。
押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

聞く

## プログラム演奏

CDは最大20曲、MDは最大32曲までプログラム(予約)することができます。これ以上はできません。

〈お知らせ〉

- CDの場合、曲番号21以上の曲もプログラムできますが、演奏時間は表示されません。
- プログラム演奏を利用すると、CDやMDに収録されている曲の中から、好きな曲だけを選んで聞くことができます。なお、MDやテープにプログラムしてシンクロ録音するときは、下記の手順**4**の操作は必要ありません。

### 1 CD▶/II➡■(停止)またはMD▶/II➡■(停止)を押す

・CDのとき

・ソース(音源)が「CD」になります。

・MDのとき

・ソース(音源)が「MD」になります。

演奏がとまったら

### 2 PLAY MODEを押して「PROGRAM(プログラム)」を選ぶ



・押すごとに変わります。

例：MDのプログラム演奏のとき



プログラム演奏のモード表示

＊GROUPは…
ソース(音源)がMDのときに限り表示されます。

### ● プログラム演奏のモードを取り消すには

CDまたはMDを取り出すと取り消されます。また電源を切ったときも、取り消されます。プログラム内容も全部取り消されます。

### 3 数字ボタンでプログラムする

(例： 2➡5➡12曲目の順に予約するとき)

・2秒後に予約の最後の曲番号とプログラムの合計時間が表示されます。ただし、CDは99:59を超えると−−:−−表示になります。MDは149:59を超えると−−−:−−表示になります。

### 4 CD▶/IIまたはMD▶/IIを押す

・CDのとき　・MDのとき

・プログラムした順に演奏されます。演奏が終わると自動停止しますがプログラムは残ります。

### ● プログラム内容の確認(停止状態のときのみ)

▶▶Iボタンを押すごとに、プログラム1からの曲番と順番が表示されます。なお順番の表示から2秒後に、プログラムの合計時間に変わります。この場合、プログラム演奏(録音)を始める前に、必ずI◀◀ボタンを押してプログラム1の表示に戻してください。

### ● プログラムを間違えたときは

停止状態のときCANCELボタンを押します。押すごとに最後のプログラムから取り消されます。

## 無作為な順番で聞く(ランダム演奏)

本機が曲順を無作為(ランダム)に選んで演奏します。

### 1 CD▶/II➡■(停止)またはMD▶/II➡■(停止)を押す

・CDのとき

・ソース(音源)が「CD」になります。

・MDのとき

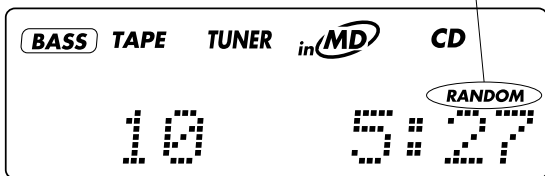
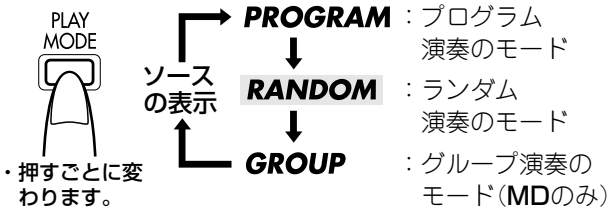
・ソース(音源)が「MD」になります。

演奏がとまったら

### 2 PLAY MODEを押して「RANDOM(ランダム)」を選ぶ

・押すごとに変わります。

PROGRAM：プログラム演奏のモード
RANDOM：ランダム演奏のモード
GROUP：グループ演奏のモード(MDのみ)

例：MDのランダム演奏のとき

ランダム演奏のモード表示

### 3 CD▶/IIまたはMD▶/IIを押す

・CDのとき

・MDのとき

・無作為な順番に全曲を演奏すると、自動停止します。

## くり返して聞く(リピート演奏)

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。

### 1 CD▶/IIまたはMD▶/IIを押す

・CDのとき

・ソース(音源)が「CD」になります。

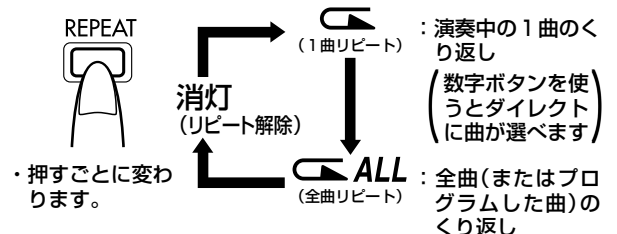
・MDのとき

・ソース(音源)が「MD」になります。

### 2 REPEATを押してリピート演奏のモードを選ぶ

・押すごとに変わります。

(1曲リピート)：演奏中の1曲のくり返し(数字ボタンを使うとダイレクトに曲が選べます)

ALL(全曲リピート)：全曲(またはプログラムした曲)のくり返し

● **リピート演奏をやめるには**

REPEATボタンを押してリピート表示を消灯させ、「リピート解除」にします。

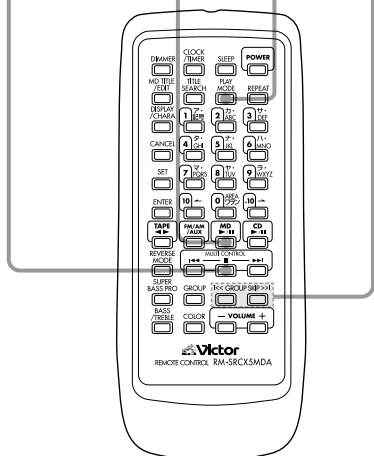
● **ランダム演奏をくり返すには**

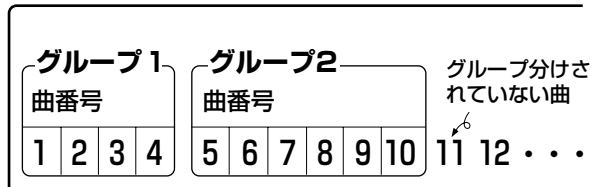
ランダム演奏中にREPEATボタンを押すと、全曲リピートのランダム演奏になります。

● **ランダム演奏のモードを解除するには**

次のいずれかの操作をします。
・CDまたはMDを取り出す
・停止中にPLAY MODEボタンを押して「RANDOM」表示を消す
・電源を切る

# MDのグループ演奏 ー番号順に操作します。ー

グループ設定されているMDは、グループ機能*を使うことができます。

＊グループ機能とは…

ステレオ長時間録音（MD LP）により１枚のMDに多くの曲が録音できるようになりました。このMDに録音された曲をいくつかのまとまり（グループ）に分けて利用する機能のことです。

１曲でもグループにすることができ、一つのMDが全部で99グループに分けられます。

## 1 グループ分けされているMDを入れる

## 2 MD▶/❚❚➡■を押してソース（音源）をMDにする

・ソース（音源）が「MD」になります。

## 3 PLAY MODEを押して「GROUP（グループ）」を選ぶ

：プログラム演奏のモード

：ランダム演奏のモード

：グループ演奏のモード

グループ演奏のモード表示

## 4 GROUP>>I（またはI<<）を押して演奏したいグループを選ぶ

例：グループ２を選んだとき

## 5 MD▶/❚❚を押す

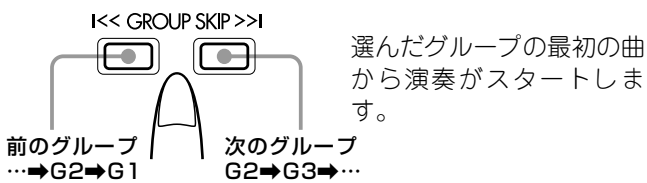
・グループ演奏がスタートし、グループ内の全曲を演奏し終わると自動停止します。

- グループ演奏中に数字ボタン（１〜10）を押すと、グループ演奏のモードが解除され、その曲からダイレクト演奏になります。
- グループ分けされていないMDのときは、MD▶/❚❚ボタンを押すとグループ演奏のモードが解除され通常の演奏になります。

### ● くり返しグループ演奏する

グループ演奏中にリモコンのREPEATボタンを押して ALLを選ぶと、グループ内の全曲をくり返して聞くことができます。

● グループ演奏中に別のグループを選ぶ（グループスキップ）

選んだグループの最初の曲から演奏がスタートします。

● グループ演奏のモードを解除する

MDが停止中に
PLAY MODEボタンを押して「GROUP」表示を消します。

〈お知らせ〉

● MDのタイトルサーチ（➡㉔ページ参照）の操作をすると、MDのグループ演奏のモードが解除されます。

● グループに分けるには

・CDごとなどにグループ分けして録音する➡㉜ページ参照
・録音したあとグループ分けする➡㊺ページ参照

# MDのタイトルサーチ ー番号順に操作します。ー

曲名の頭から１～５文字を入力すると、その曲から聞くことができます。

## 1 タイトルサーチしたいMDを入れ、MD ►/II ➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「ＭＤ」になり、曲数と演奏時間が表示されます。

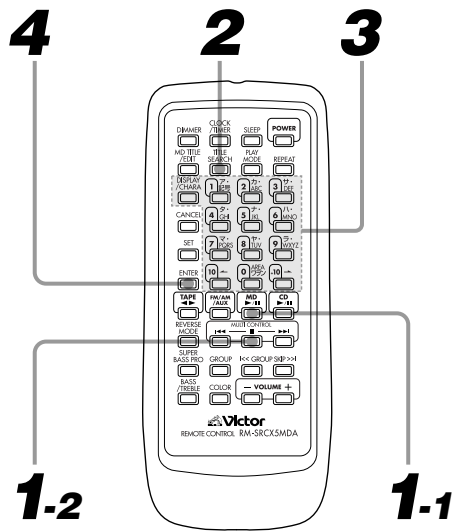
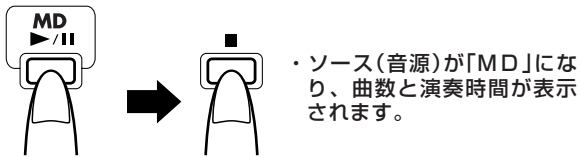
## 2 TITLE SEARCHを押す

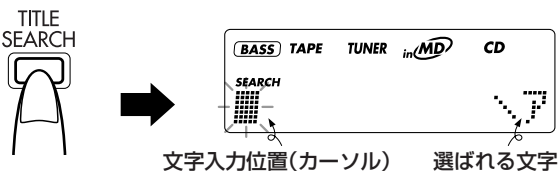
**SEARCH**が表示されます。

## 3 聞きたい曲のタイトルを入力する

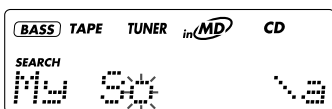
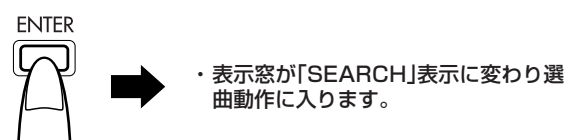
例：曲名が「My Song」のとき

・文字の入力のしかたは、㊳～㊴ページをご覧ください。

## 4 ENTERを押す

・表示窓が「SEARCH」表示に変わり選曲動作に入ります。

### ● 入力した文字で始まる曲があると

曲名(例はMy Song)が表示され、その曲の演奏が始まります。
その曲の演奏が終了すると、再び曲を探しMDの最後まで探して同じ文字で始まる曲があると演奏になります。曲がないときは､「SEARCH END」が表示され､タイトルサーチは解除されます。

### ● 入力した文字で始まる曲がないとき

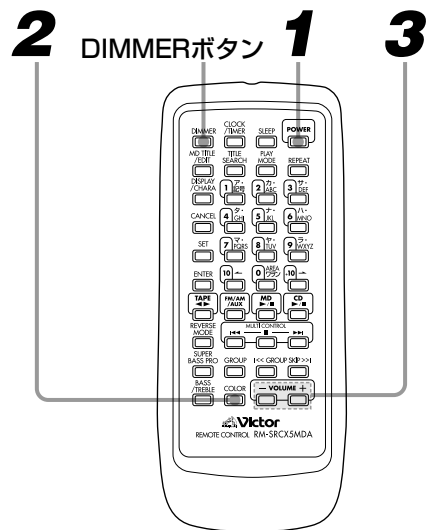
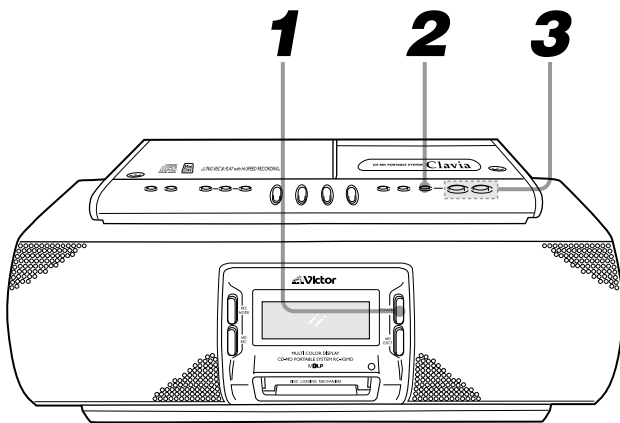
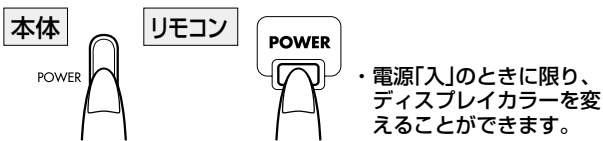
「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチは解除されます。

### ● タイトルサーチを途中で解除するには

TITLE SEARCH ボタンを押します。
■(停止)ボタンを押したときも解除されます。

〈お知らせ〉

- タイトルサーチは、曲名のついている曲に限り探すことができます。
- １文字だけ入力したときは、その文字の曲を全て探します。
- スペース(空白)の後ろに文字があるときに限り、スペースも含めた文字として探します。
- 英大文字と英小文字は、区別して探します。

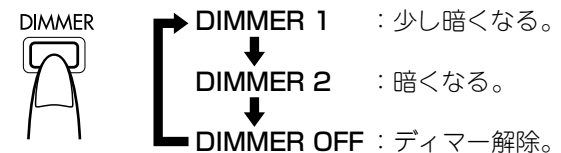
# ディスプレイカラーを変える

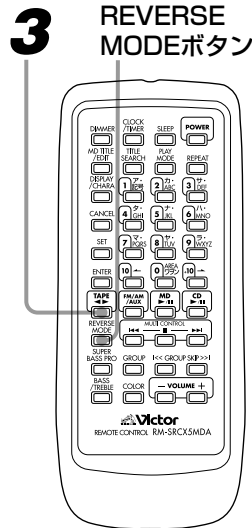
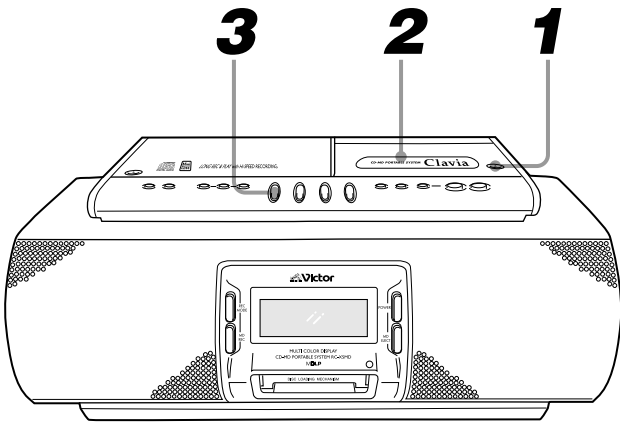
表示窓の背面色をお好みの色に変えることができます。部屋の雰囲気などに合わせて16段階の色の中から選んでください。
お買い上げ時は、「RANDOM」(ランダムモード)になっており、1秒ごとに自動で色が変わります。

〈お知らせ〉

- お買い上げの状態のままのときは、ディスプレイカラーがランダムモードになっており、リモコンのDIMMERボタンを押してもディマー機能は働きません。ただし、左記の手順**2**でCOLOR CHANGE(リモコンはCOLOR)ボタンを押すと、ランダムモードが解除されリモコンのDIMMERボタンで表示窓の明るさを変えることができるように変わります。

- リモコンのDIMMERボタンは、ディスプレイカラーを再びランダムモードにすると、ディマー機能が働かなくなります。

**● 表示窓を明るくするときは(ディマー機能)**

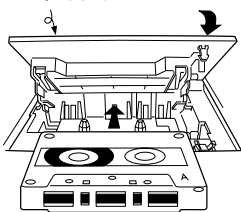
おやすみタイマーを使っているときなど表示窓の明るさを変えるときは、DIMMERボタンを押します。

＊RC-X 5 MD-Bの場合は、ディスプレイカラーが異なり「B(BLUE)」が「G(GREEN)」になります。

# テープを聞く　―番号順に操作します。―

**ご注意**

- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**
  長い時間再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。
- テープの取り出しは、必ず■（停止）ボタンを押してテープ走行を止めてから行ってください。テープ走行中に▲（テープ取出し）部を押すと、故障の原因になります。

## 1 ▲(テープ取出し)部を押す

・カセットホルダーが開きます。

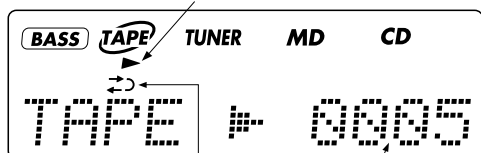
## 2 テープを入れ、カセットホルダーを押してしめる〔C-90(90分)以下のテープを使う〕

- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)またはハイポジションテープ(TYPE Ⅱ)の再生ができます。
- 聞きたい面を上にし、テープの見える面を手前にして入れます。
- カセットホルダーの中央から右側を押してしめてからTAPE◀▶ボタンを押します。

## 3 TAPE◀▶を押す

本　体

リモコン

- 電源が入り、ソース(音源)が「TAPE」になって順方向(▶)からの再生がスタートします。
- TAPE◀▶ボタンを押すごとに順方向(▶)または逆方向(◀)が選べます。
  表示窓に 4 ケタのテープカウンターが表示されます。

● **聞きたいテープが入っているときは**
直接TAPE◀▶ボタンを押します。電源が入り、テープの再生がスタートします。

### リバースモードの選択（リモコンのみ）

リモコンのREVERSE MODEボタンを押して選びます。

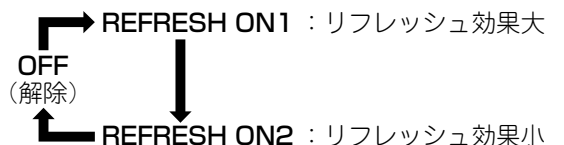
リモコン

- ⇄ …片道の再生
- ⇄↻…往復の再生
- ↺⇄↻…連続再生

選んだリバースモードは、表示窓に表示されます。

● **⇄または⇄↻で再生した場合、テープが巻き終わると自動的に停止します。**

### ● テープ再生の音をよみがえらせるには（テープリフレッシュ機能：本体のみ）

本体のTAPE REFRESHボタンを押すと、テープリフレッシュ機能により、メリハリのなくなった音をクリアによみがえらせます。またMDに録音するときも使えます。

〈お知らせ〉
- メタルテープ(TYPEⅣ)は、お勧めできません。再生すると音質が異なります。
- テープの取り扱いについては、65ページをご覧ください。
- テープリフレッシュ機能は、ステレオ録音したテープに働きます。
- テープカウンターを「０００００」にするときは、テープが停止状態のときテープの出し入れをしてください。

● 他のテープ操作

| | 順方向(▶)のとき | 逆方向(◀)のとき |
|---|---|---|
| 巻戻し<br>(REW) | 本体 REW ⏮<br>リモコン ⏮ | 本体 REW ⏮<br>リモコン ⏮ |
| 早送り<br>(FF) | 本体 FF ⏭<br>リモコン ⏭ | 本体 FF ⏭<br>リモコン ⏭ |

● ソース(音源)が「TAPE」のとき操作します。

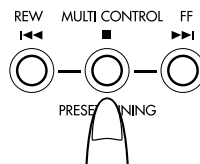
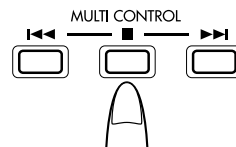
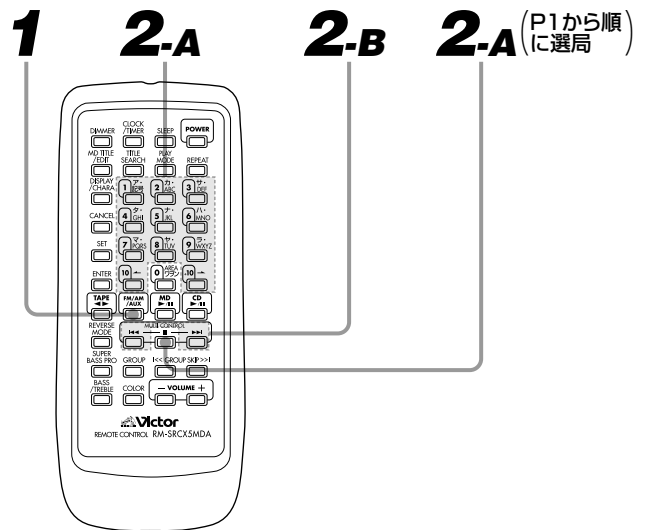
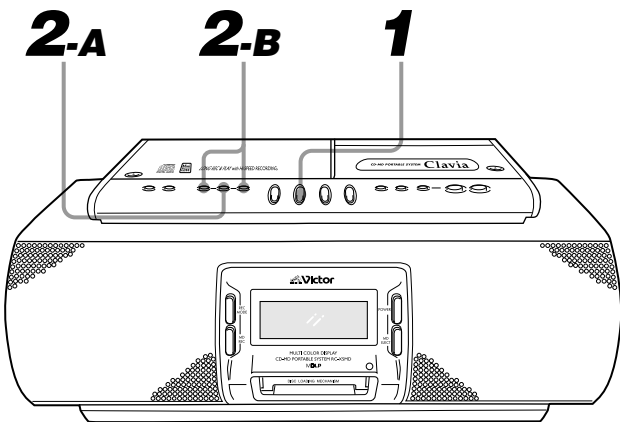
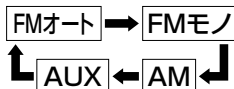
| | 操　　作 |
|---|---|
| **テープを途中でとめる** | ■(停止)ボタンを押します。<br>テープが巻き終わったときは、自動停止します。 |



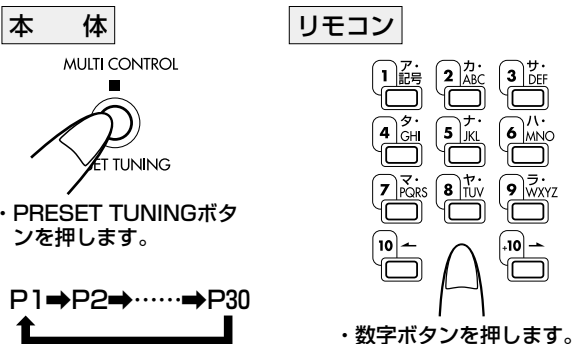
聞く

# 放送を聞く ー番号順に操作します。ー

## 1 FM/AM/AUXを押す

本　体　　リモコン

・電源が入り、押すごとにバンドが選べます。
・FMまたはAMを選ぶとソース(音源)は「TUNER」になります。

## 2 選局する

### 2-A 放送局が記憶してあるとき（プリセット選局）

本　体　　リモコン

・PRESET TUNINGボタンを押します。

P1➡P2➡……➡P30

の順に選局できます。AMはP15までです。放送局を受信すると、放送局名が表示窓に表示されます。

・数字ボタンを押します。

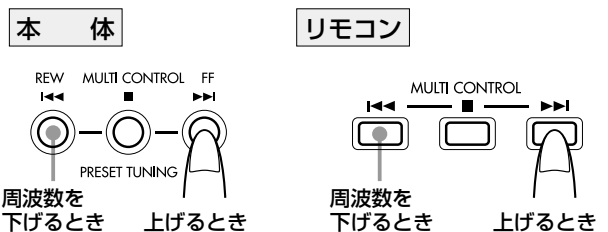
● 1～10局目は
1～10のいずれかを押します。

● 11～15局目は
+10のあと1～5のいずれかを押します。

例：15局目は
+10➡5と押す。

・または■ボタンを押してP1から順に選局します。

### 2-B ▶▶Iまたは I◀◀で選局する

本　体　　リモコン

・オート選局：▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押し続け、周波数表示が変わりだしたら指を離します。放送局を受信すると、自動で止まります。

・マニュアル選局：▶▶Iまたは I◀◀ボタンを「ポン・ポン」と押します。FM*は0.1MHzずつ、AMは9kHzずつ変わります。

＊テレビの1～3チャンネルは、周波数が合わないためうまく受信できません。これはテレビ音声が50kHz間隔のためで、故障ではありません。

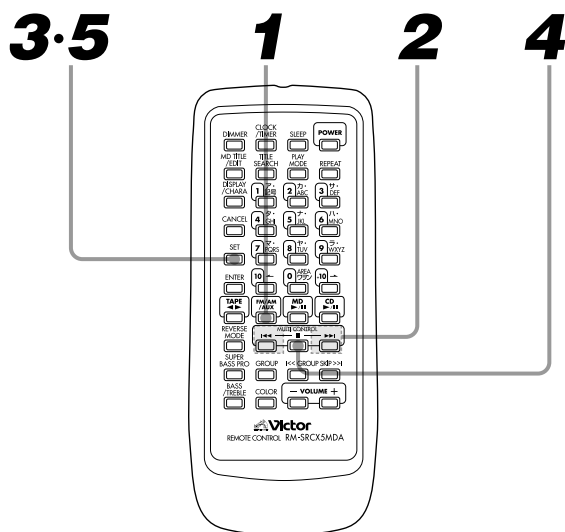
### ● FM放送を聞くときは

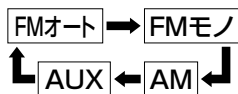
通常は FMオート で使います。FMステレオ放送を受信すると、表示窓に"ST"が表示されステレオで聞くことができます。雑音が多くて聞きにくいときは、FM/AM/AUXボタンを押して FMモノ を選び"MONO"表示に切換えてください。

〈お知らせ〉

● AM放送は、モノラル受信です。AM放送を受信するときは、必ずAMループアンテナ（付属品）を接続してください。
● ロッドアンテナやAMループアンテナではうまく受信できないときは、市販の屋外アンテナを使用してください。

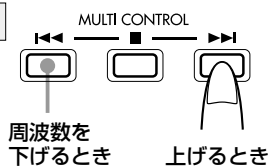
## 放送局を選んで記憶させる(リモコンのみ)

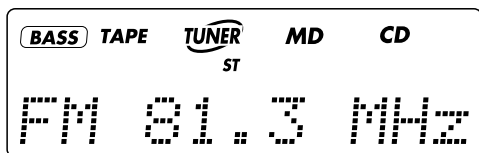
エリアガイド機能を使って記憶させたあと、最大FMは30局、AMは15局までバンドごとに放送局が追加できます。

### 1 FM/AM/AUXを押す

リモコン

・電源が入り、押すごとにバンドまたは「AUX」が選べます。
・FMまたはAMを選ぶとソース(音源)は「TUNER」になります。

### 2 ▶▶Iまたは I◀◀で選局する

リモコン

周波数を下げるとき　上げるとき

・マニュアル選局または、オート選局で記憶したい放送局を選びます。

例：81.3MHzを受信したとき

### 3 SETを押す

リモコン

例：プリセット番号15のとき

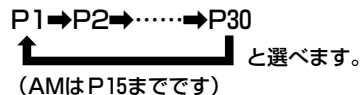
(エリアガイド機能で記憶済みのときは、最後の番号の次の番号になります)

### 4 ■で記憶したいプリセット番号を選ぶ

リモコン

・数字ボタンを使うと、ダイレクトにプリセット番号が選べます。

と選べます。

(AMはP15までです)

例：12局目に記憶するとき

・すでに記憶されている番号を選ぶと、そのプリセット番号を今選んだ放送局に変更することができます。

### 5 SETを押す

リモコン

STORED

・追加した放送局が記憶されます。２秒後にソース(音源)表示に戻ります。

〈お知らせ〉

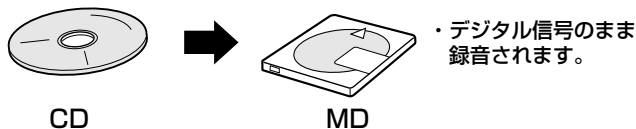
● 電源コードを抜いた状態(または停電)が24時間以上続くと、記憶させた放送局は取り消されます。再度記憶させてください。
● エリアガイド機能を使って記憶させると、追加した放送局は取り消されます。再度追加してください。

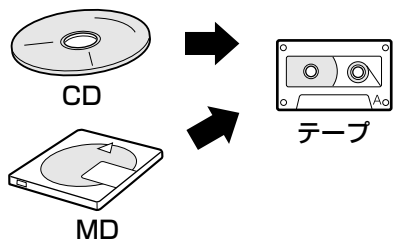
# 録音する前に

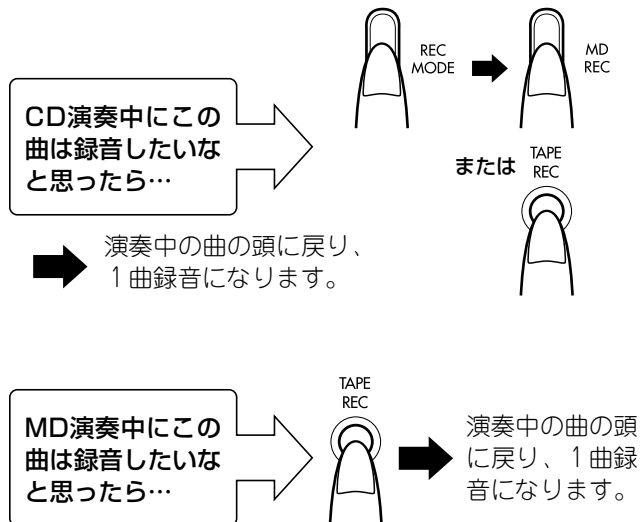
## CD/MDの録音あれこれ

### CDのシンクロ録音

１枚のCDをそのままMD（またはテープ）にワンタッチで録音できます。あらかじめプログラムしておくと、オリジナルのMD（またはテープ）が作れます。テープに録音する場合、MDのシンクロ録音もできます。

#### MDへのシンクロ録音（等速および倍速録音）

倍速録音は、CDを演奏時間の半分の時間で録音できます。ただし、倍速録音中は、CDの演奏音を聞くことはできません。

#### テープへのシンクロ録音

### １曲録音

録音したい曲を演奏中にREC MODEボタンで録音モード（SP、LP2またはLP4）を選びMD RECボタンを押すと、１曲録音ができます。テープに録音するときはTAPE RECボタンを押します。
CD➡MDまたはテープへ、MD➡テープへ演奏中の曲の１曲録音ができます。

〈お知らせ〉
- **シンクロ録音とは**
  録音開始に合わせてCDまたはMDの演奏が一緒にスタートすることを、シンクロ録音といいます。演奏が終わると、録音も自動停止します。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

## MDのステレオ長時間録音について

今までMDの長時間録音は、モノラル２倍長録音でしたが、本機はステレオのまま２倍長時間録音または４倍長時間録音ができます。録音するソース（音源）や、録音方式に関係なく設定できます。また１枚のMDに異なる録音モード（SP、LP2またはLP4）の曲を混ぜて録音することもできます。

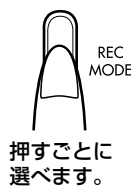
・***SP***　：標準のステレオ録音
（MD80で最大80分の録音）

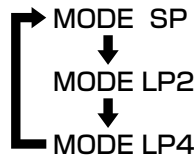
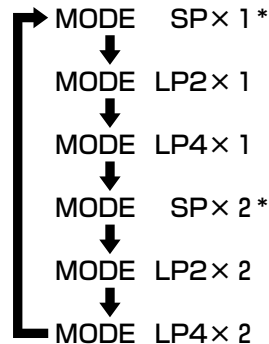
・***LP2***　：ステレオ２倍長時間録音
（MD80で最大160分の録音）

・***LP4***　：ステレオ４倍長時間録音
（MD80で最大320 分の録音）
ラジオ放送の長時間録音などに便利

〈お知らせ〉
- 本機でステレオ２倍長時間録音または４倍長時間録音したMDの曲は、MDLPに対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では演奏できません。
  表示窓にLP：が表示され無音状態になります。演奏が可能なMDLPに対応した機器では、LP：は表示されません。

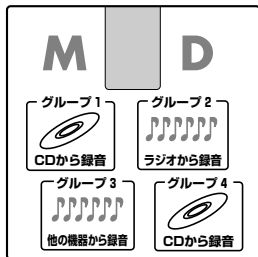
## MDの録音モードの設定について

押すごとに選べます。

MDに録音するときは、あらかじめREC MODEボタンで録音モードを選んでから、録音状態にしてください。録音中に変えることはできません。
また、ソース（音源）によって選べるモードが異なります。

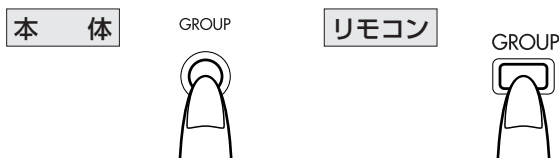
・「TUNER」「TAPE」または「AUX」のとき

・「CD」のとき

＊1　SP× 1は…
等速の標準録音のモードのことです。
＊2　SP× 2は…
倍速の標準録音のモードのことです。

## グループ録音について

本機はお買い上げ時グループモードが「オン」(GR表示点灯)になっていますので、録音スタートから終わりまでを一つのグループとして録音することができます。

**グループ録音のイメージ図**

MD LPで長時間録音するとき、ソース(音源)ごとまたはCDごとなどにグループ分けしておくと、1枚のMDがチェンジャーのように使えます。

- グループ録音したくないときは、GROUPボタンを押してグループモードを「オフ」にしてください。

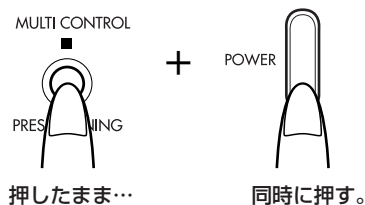
本　体

元に戻すときは、もう一度押してください。グループモードが「オン」になります。

## 放送、テープ再生、他の機器の音声の録音

- 録音したいソース(音源)と録音モード(SP、LP2またはLP4)を選びMD RECボタンを押します。
  テープに録音するときは、TAPE RECボタンを押します。

## 録音の自動停止を「ピー」音で知らせる

本機はビープ音「オン」に設定されており、録音が自動停止すると「ピー」音で知らせてくれます。
電源「切」のとき本体の■(停止)ボタンとPOWERボタンを同時に押すと、ビープ音の「オン⟺オフ」ができます。

本　体

BEEP OFF：ビープ音解除
（倍速録音の制限の警告音等も「オフ」になります）

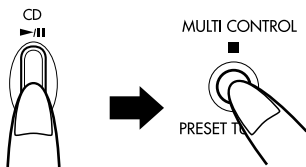
BEEP ON：録音が自動停止すると「ピー」音でお知らせ
（お買い上げ時の状態）

## 録音について知っておいてほしいこと

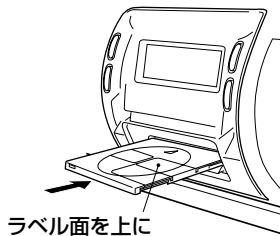
- **途中まで録音してあるMDの場合、その終わりを自動的に探して録音されます。**
  新たに録音し直すときは、ALL ERASE(➡44ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- **MDには最大254曲まで録音できます。**
- **MDは通常ステレオで録音されます。**
- **録音中は、音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。**
- **録音レベルの調節は必要ありません。**
  ALC録音方式のため自動でレベルが設定されます。
- **CDまたはMD演奏中に録音状態にすると、1曲録音になります。**
- **録音中または編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。**
  特に「UTOCwriting」表示中は、注意してください。MDが使えなくなる原因となります。
- **再生専用のMDには録音・編集はできません。**
- **テープの録音は、ノーマルテープ(TYPE(タイプ) I)専用です。**
  ハイポジションテープ(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)には対応しておりません。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**
  長い時間録音ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。
- **録音状態にするとディスプレイカラーが赤に変わり、録音が終わると元の色に戻ります。**

# CDをMDにシンクロ録音(等速/倍速)する —番号順に操作します。—

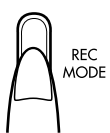
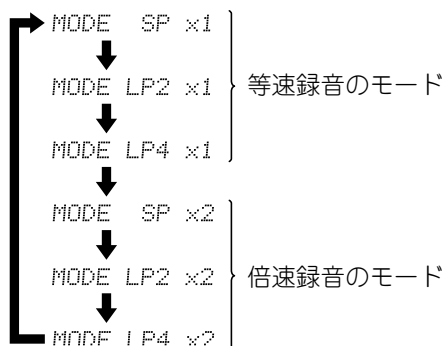
● MDの録音スタートに同期してCDの演奏も始まります。

## 1 CDを入れ、CD ▶/❚❚ ➡ ■(停止)を押す

・ソース(音源)が「CD」になります。

## 2 録音用のMDを入れる

・ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込みます。
・未使用のMDの場合、ソース(音源)が「MD」のときに限り「BLANK DISC」が表示されます。

ラベル面を上に

● 好きな曲だけ録音するには…
①リモコンのPLAY MODEボタンを押してプログラム演奏のモードにする
②数字ボタンを押してプログラムする
➡詳しくは⑳ページ参照

## 3 REC MODEで録音モードを選ぶ

・グループ録音するときは、GR表示が点灯しているか確認します。

・お買い上げ時はMODE SP×1(標準のステレオ録音)になっています。(モノラルの2倍長録音はできません)

## 4 MD RECを押す➡録音スタート

例:標準モードで倍速録音のとき

GR表示

MD REC

BASS TAPE TUNER in MD GR REC CD SP ×2

CD 1> 64:53

CDの曲番号　MDの録音残量

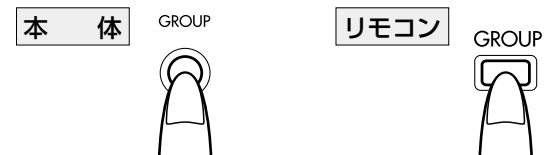
・CDの録音は、デジタル信号のまま録音されます。
　曲の変わり目に自動的にトラックマークがつけられ、曲番号も変わります。
・CDを一つのグループとして録音します。
・表示窓にMD REC が表示されます。

### ● MDの録音が終わると

「UTOCwriting」表示のあと自動停止します。このとき「ピー」音と「MD REC END」が表示され、録音の終わりを知らせます。
CDの演奏が終ったときも自動停止します。

### ● 録音を途中でやめるには

■(停止)ボタンを押します。
「UTOCwriting」表示のあと「MD REC END」が表示され、録音が停止します。

### ● グループ録音したくないときは

手順4のMD RECボタンを押す前にGROUPボタンを押します。表示窓に「GROUP OFF」が表示されGR表示が消えます(グループモード「オフ」)。

### 〈お知らせ〉

- 録音モード(SP、LP2またはLP4)の設定によってMDの録音残量表示も変わります。
- 途中まで録音してあるMDの場合、その終わりを自動的に探して録音します。
  新たに録音し直すときは、ALL ERASE(➡㊹ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 倍速録音が終了したCDの曲は、その曲の録音スタートから74分を経過しないと、再び録音することはできません。
  万一、録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示され、「ピッピッピッ…」音のあと録音が解除されます。
- 倍速録音中は、CDの演奏音を聞くことはできません。音量調節や音質調節の操作をすると、「CAN NOT LISTEN(リスニング)」とスクロール表示されます。
- 倍速録音を始めてから74分以内に電源コードをコンセントから抜いてしまうと、再度録音が可能になるまでの内蔵タイマーの動作が一時停止します。74分以上経過するまで電源コードは抜かないでください。
- 本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎなおしてください。

## CDの１曲だけ録音する（１曲録音）

### *1* リモコンの数字ボタンで録音したい曲を演奏する

### *2* 本体のREC MODEで録音モードを選ぶ

➡32ページの手順*3*参照

### *3* 本体のMD RECを押す

・演奏中の曲の頭に戻り、１曲録音になります。
　CDの演奏が終ると、録音も自動停止します。このとき「ピー」音と「MD REC END」が表示され、録音の終わりを知らせます。
・１曲だけでもグループ録音することができます。

## CDを録音中に表示窓の表示を変える

リモコンのDISPLAY/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように変わります。

# テープ再生/放送をMDに録音する　ー番号順に操作します。ー

● テープ再生/放送➡MDに録音

## 1 録音ソース(音源)を選ぶ

例：放送を録音するとき

・放　　送：FM/AM/AUXボタンを押して録音したい放送局を選ぶ。
・テープ再生：テープを入れ､TAPE◀▶➡■(停止)ボタンを押す。

## 2 録音用のMDを入れる

・ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込みます。
・未使用のMDの場合、ソース(音源)が「MD」のときに限り「BLANK DISC」が表示されます。

ラベル面を上に

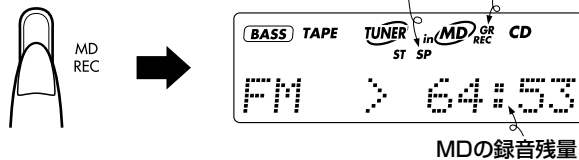
## 3 REC MODEで録音モードを選ぶ

・お買い上げ時はMODE SP(標準のステレオ録音)になっています。(モノラルの2倍長録音はできません)

〈お知らせ〉

- MDを入れたあと約10秒間は､MD RECボタンを押しても録音はスタートしません。これは、録音の準備をしているためです。
- 録音モードが長時間(SP➡LP2➡LP4)になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードのSPをお勧めします。
- テープ再生を録音するときA面からB面に反転する間は、リーダーテープがありますので無音録音になります。
- グループ録音したくないときは､手順4のMD RECボタンを押す前にGROUPボタンを押してGR表示を消し､グループモードを「オフ」にします。

## 4 MD RECを押す➡録音スタート

例：FM放送の録音のとき

・テープから録音する場合、録音スタートに合わせてテープ再生もスタートします。
・表示窓にMD RECが表示され、グループ録音になります。
・放送や他の機器の音の録音中にMD RECボタンを押すと､一時停止ができます｡このときREC表示が点滅し､トラックマークがつけられます。
もう一度MD RECボタンを押すと録音が再開します。

● MDの録音が終わると

「UTOCwriting」表示のあと自動停止します。このとき「ピー」音と「MD REC END」が表示され､録音の終わりを知らせます。
テープ再生が終ったときも自動停止します。

● 録音を途中でやめるには

■(停止)ボタンを押します。
「UTOCwriting」表示のあと､「MD REC END」が表示され録音が停止します。

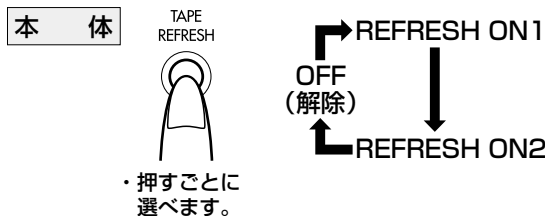
● 録音中に無音部分が3秒以上続くと

無音部分が3秒以上続くと、曲の変わり目として区切られ、トラックマークがつき曲番号も変わります。
ただし曲間が短かったり雑音が多いと区切られないことがあります。

● 曲番号(トラックマーク)をつけるには

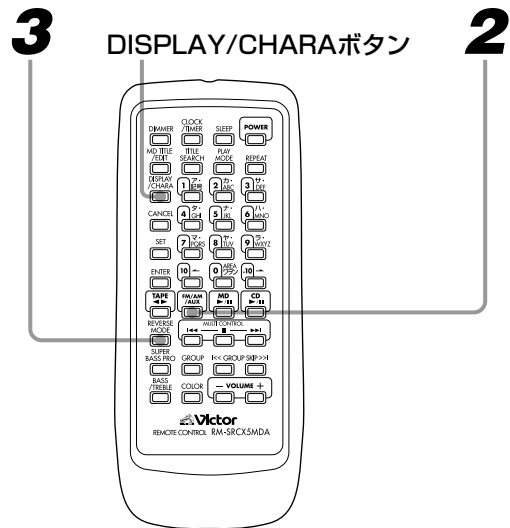
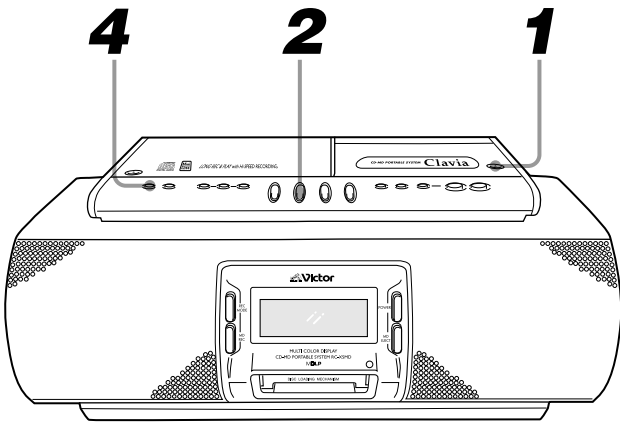
テープ再生や放送を録音中に、リモコンのSETボタンを押すと曲番号(トラックマーク)をつけることができます。
このとき表示窓は、録音残量の表示のままですがトラックマークは録音が終わると記録されます。録音が終わったら編集機能(➡㊲ページ参照)で整理しておくことをお勧めします。

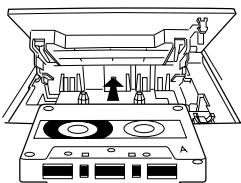
● テープリフレッシュ機能を使ってMDに録音するには

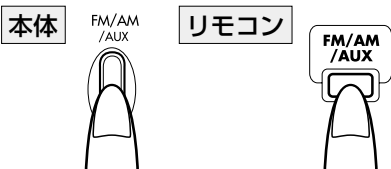
左記の手順2で録音ソース(音源)にテープ再生を選んだあとTAPE REFRESHボタンを押します。

「ON1」または「ON2」を選ぶと、テープリフレッシュ機能が効いた音で録音されます。

● エリアガイド機能で放送局を記憶した場合

エリアガイド機能(➡⑮ページ参照)で放送局が記憶してあると、録音中に放送局名がTRACK TITLEに自動で記録されます。ただし、放送局によっては局名が全て記録されないことがあります。

# 放送をテープに録音する —番号順に操作します。—

●放送➡テープに録音する

## 1 録音用のテープを入れる
（ノーマルテープ：TYPE I を使います）

・A面を上にして入れます。（B面だけ録音したいときは、B面を上にして入れます）
・リーダーテープ*の部分は先に送っておきます。

## 2 FM/AM/AUXを押して録音したい放送局を選ぶ

本体

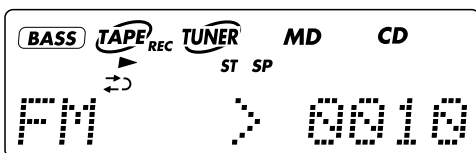
リモコン

録音したい放送局を選びます。
➡㉘ページ参照

## 3 リモコンのREVERSE MODEでリバースモードを選ぶ

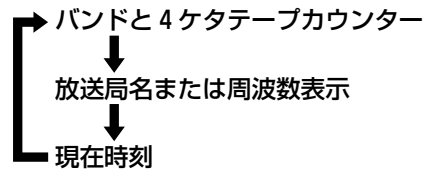
・⇄⊃：A面からB面にまたがった録音
・⇄ ：片道の録音

## 4 TAPE RECを押す➡録音スタート

・上の面（順方向）から録音がスタートします。
・録音中はTAPE RECが表示されます。

●録音を途中でやめるには

■（停止）ボタンを押します。

●録音中の放送局名などを知るには

リモコンのDISPLAY/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように選べます。

●テープを巻き戻すには

1. TAPE◀▶を押してソース（音源）を「TAPE」にする
2. ■（停止）を押す
3. I◀◀（巻戻し）を押す
 ・テープが巻き終わると自動停止します。

●テープカウンターを「００００」にするには

停止状態のとき、▲（テープ取出し）部を押してテープの出し入れをします。
テープカウンターは、テープによって多少ズレることがあります。おおよその目安としてお使いください。

●AM放送録音中に「ピー」というビート音が出るときは

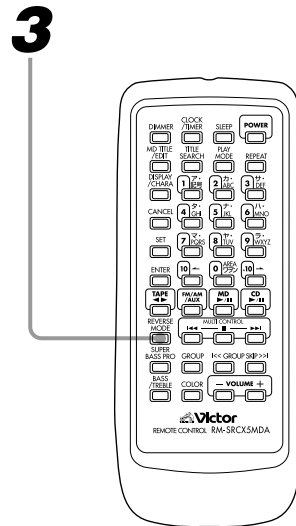
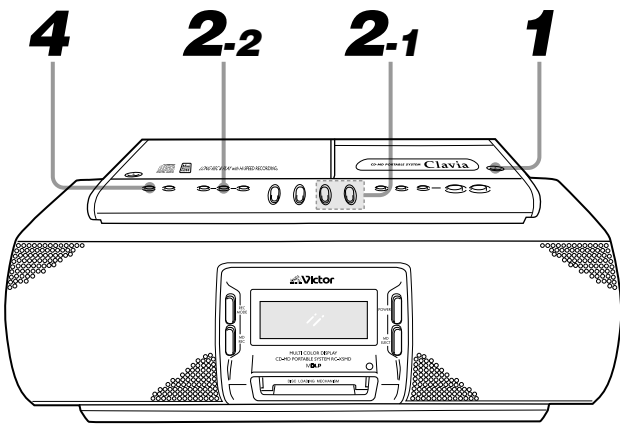
AMループアンテナを「ピー」というビート音が、最も小さくなる所に移動してください。

*リーダーテープにご注意

カセットテープの始めには、リーダーテープ（録音できない部分）があります。録音するときは、あらかじめ再生状態でリーダーテープを巻き取っておいてください。

〈お知らせ〉

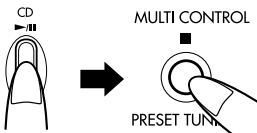
●録音済みのテープの音を消すには…
TAPE◀▶ボタンを押し、ソース（音源）を「TAPE」にしてからTAPE RECボタンを押すと、録音した音を消すことができます。無音のテープができます。
●逆方向（◀）で録音が終わったときは、テープを取り出すとテープの走行方向は自動で順方向（▶）に戻ります。新しいテープを入れたときA面からの録音がしやすくなっています。
●リバースモードを⊂⇄⊃にして録音しても、リバース方向の巻き終わりでテープは自動停止します。録音中は⇄⊃が表示窓に表示されます。

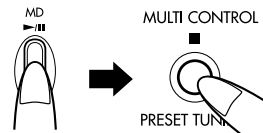
# CD/MDをテープにシンクロ録音する —番号順に操作します。—

● テープの録音スタートに同期してCDまたはMDの演奏も始まります。

## 1 録音用のテープを入れる
(ノーマルテープ：TYPE I を使います)

・A面を上にして入れます。（B面だけ録音したいときは、B面を上にして入れます）
・リーダーテープの部分は先に送っておきます。

## 2 CDまたはMDを入れ、ソース（音源）を「CD」または「MD」にする

・CDのとき

・ソース（音源）が「CD」になります。

・MDのとき

・ソース（音源）が「MD」になります。

● 好きな曲だけ録音するには…
①リモコンのPLAY MODEボタンを押してプログラム演奏のモードにする
②数字ボタンを押してプログラムする
➡詳しくは⑳ページ参照

## 3 リモコンのREVERSE MODEでリバースモードを選ぶ

・⮂：A面からB面にまたがった録音
・⇄ ：片道の録音

## 4 TAPE RECを押す➡録音スタート

・上の面（順方向）から録音がスタートします。
・録音中はTAPE RECが表示されます。曲間に４秒のあき（ブランク）を作って録音されます。

● **録音を途中でやめるには**
■（停止）ボタンを押します。
CD（またはMD）の演奏が終わると、録音も自動停止します。このとき「ピー」音で録音の終わりを知らせます。

● **CDまたはMDのコンプリート録音機能（シンクロ録音時のみ）**
曲の途中でテープが逆方向に反転すると、うら面（B面）には、
・順方向最後の曲の録音が12秒以下のときは前の曲の頭から
・順方向最後の曲を12秒以上録音していたときはその曲の頭から
録音し直されます。

## CD/MDの１曲だけ録音する（１曲録音）

**1** リモコンの数字ボタンで録音したい曲を演奏する

**2** 本体のTAPE RECを押す
・演奏中の曲の頭に戻り、１曲録音になります。CD（またはMD）の演奏が終わると、録音も自動停止します。

## 曲間にあき（ブランク）を作らずに録音する

CDまたはMDを一時停止状態にしてから録音すると、収録されたままの内容で録音できます。

**1** CD►/II（またはMD►/II）を２回押す
・一時停止になります。

**2** TAPE RECを押す
・一時停止した曲の頭から録音されます。
・曲の始まりや終わりの無音部分は、そのまま録音されます。

# MDの編集について

MDは録音·再生の他に編集という機能を持っています。録音した曲を好きなところでつないだり、分けたり、消すことができます。またMDや曲に名前をつけることもできます。操作はリモコンを使います。

## 編集モードについて

ここではグループモード「オフ」またはグループ録音していないMDのときできる編集操作の説明をします。

*トラックマークとは…
曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号です。

＊DIVIDE、JOIN、MOVE、ERASEはグループモードが「オフ」またはグループ録音していないときに限り操作できます。**GR表示が点灯しているときは、GROUPボタンを押して消してください。**

- **FORM GRの操作は48ページをご覧ください。**
- グループ編集は45〜55ページをご覧ください。

## MDや曲に名前をつける(TITLE)

録音済みのMDにディスク名や曲名をつけることができます。文字の種類は、「カタカナ、英大文字/記号、英小文字/記号、数字」があります。

### 〈お知らせ〉

#### ● MDに入力できる文字数について

１枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、１曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。カタカナを使用したときも、１文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。またスペース(空白)は、文字と同じ量のデータを必要としています。
ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭に「LP:」とスペース(空白４文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。
例：
・ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
・ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

## TITLEの操作を終了するときは

TITLEの操作を終了するときは、次のいずれかの操作をします。

- MD EJECTボタンを押してMDを取り出す
- POWERボタンを押して電源を切る

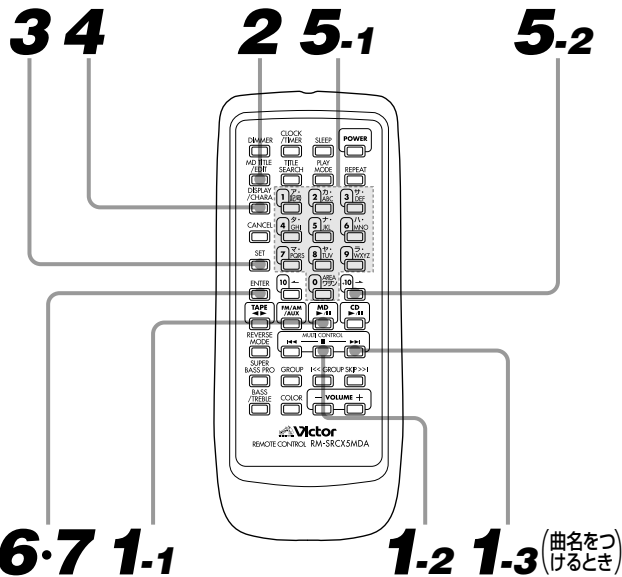
「UTOCwriting」が表示され、編集内容がMDに記録されます。

**ご注意**

- 「UTOCwriting」が表示される前に、電源コードをコンセントから抜くと編集した内容は、MDに記録されません。

### 〈お知らせ〉

- 編集の操作は、MDが誤消去防止状態になっているとできません。誤消去防止つまみを閉じた状態に戻してください。
- MDのプレイモードが「PROGRAM」「RANDOM」または「GROUP」のときは、編集モードになりません。リモコンのPLAY MODEボタンを押して通常の演奏モードにしてからMD TITLE/EDITボタンを押してください。

# MDにディスク名や曲名をつける(TITLE)

● ディスク名をつけるには

## 1 編集したいMDを入れ、MD ▶/II ➡ ■(停止)を押す

・ソース(音源)が「MD」になり、曲数と演奏時間が表示されます。
・プレイモードは解除しておきます。➡37ページ参照

## 2 MD TITLE/EDITを押して編集モードの「DISC TITLE」を選ぶ



## 3 SETを押す



文字の入力位置(カーソル)　選ばれる文字

## 4 DISPLAY/CHARA*で文字の種類を選ぶ

詳しくは➡39ページ「文字配列表」参照

## 5 名前を入れる(最大61文字まで)

**5-1** 数字ボタンで文字を選ぶ
(例：カタカナのとき)

・ア行の文字の入力は…
1 ボタンを押すと、押すごとに
ア➡イ➡ウ➡エ➡オ
↑オ←エ←ウ←イ←ア↵
と選べます。
(ワヲンと ゛ ー ゜ は、0 ボタンを使います)

**5-2** ＋10ボタンを押して確定する

・空白(スペース)を入れるときも＋10ボタンを押します。

・別の数字ボタンを押したときも確定できます。
・間違えたときはCANCELボタンで取り消します。
・手順**4**と**5**のくり返しで好きな名前を入力します。
・途中の文字を消したいときは10ボタンでカーソルを文字に合わせCANCELボタンを押します。そのあと文字を選び＋10ボタンを押すと、文字の修正ができます。

## 6 ENTERを押す

(TITLEを中止したいときは、CANCELボタンを押します)

39 ページへ続く

＊CHARA とは…
CHARACTER(キャラクター)の略で文字や記号の意味です。

## 7 ENTERを押す

## 8 本体のMD EJECTを押す ➡編集モード終了

● 手順**8**のときPOWERボタンを押して電源を切っても編集モードを終了することができます

〈お知らせ〉

● **入力済みの文字を消すには…**
タイトル入力済みの文字を消すときは、㊳ページの手順**3**のとき、そのタイトルが表示されカーソルが点滅表示されます。このときCANCELボタンを押して文字を消します。
そのあと文字を入力し直すか、ENTERボタンを２回押してください。

● ゜や゛は、半濁音や濁音になる文字以外には入れることができません。

### ● 文字配列表

| ボタン | 数字 | カ　ナ | 英大 | 英小 |
|---|---|---|---|---|
| 1 ア・記号 | 1 | アイウエオァィゥェォ | 記号* | 記号* |
| 2 カ・ABC | 2 | カキクケコ | ABC | abc |
| 3 サ・DEF | 3 | サシスセソ | DEF | def |
| 4 タ・GHI | 4 | タチツテトッ | GHI | ghi |
| 5 ナ・JKL | 5 | ナニヌネノ | JKL | jkl |
| 6 ハ・MNO | 6 | ハヒフヘホ | MNO | mno |
| 7 マ・PQRS | 7 | マミムメモ | PQRS | pqrs |
| 8 ヤ・TUV | 8 | ヤユヨャュョ | TUV | tuv |
| 9 ラ・WXYZ | 9 | ラリルレロ | WXYZ | wxyz |
| 0 AREA ワヲン | 0 | ワヲン ゛ー ゜ | | |

### ＊記号で表示する内容

| □スペース(空白) | ! | ” | # | $ | % | & | ’ | ( | ) | * | + |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| , | ー | . | ／ | : | ; | < | = | > | ? | @ | _ | ` |

### ● 曲名をつけるには

## 1 編集したいMDを入れ、MD▶/II➡■(停止)のあと▶▶Iで曲を選ぶ

## 2 MD TITLE/EDITを２回押して編集モードの「TITLE」を選ぶ

例：１曲目を選んだとき

## 3 SETを２回押す

● 以下㊳～㊴ページの**4**～**7**と同じ操作で曲名をつけます。
１曲つけ終わると次の曲の入力待ちになり、最後の曲に曲名をつけ終わると再びその曲の入力待ちになります。CANCELボタンを押して終了します。
曲名をつけ終ったらMDを取り出します。

### CDを録音中に曲名をつけるには

録音している曲を演奏中に…

## 1 MD TITLE/EDITを押す

・表示窓にTITLEが表示されます。

## 2 SETを押す

● 以下㊳～㊴ページの**4**～**7**と同じ操作で曲名をつけます。
１曲つけ終わったらCANCELボタンを押します。
必ず曲の演奏中に入力し終えてください。

# 曲を分ける(DIVIDE)　ー番号順に操作します。ー

ディバイド

## 1 編集したいMDを入れ、MD▶/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「MD」になり、曲数と演奏時間が表示されます。
・プレイモードは解除しておきます。➡37ページ参照

## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「DIVIDE」を選ぶ

## 3 SETを押す

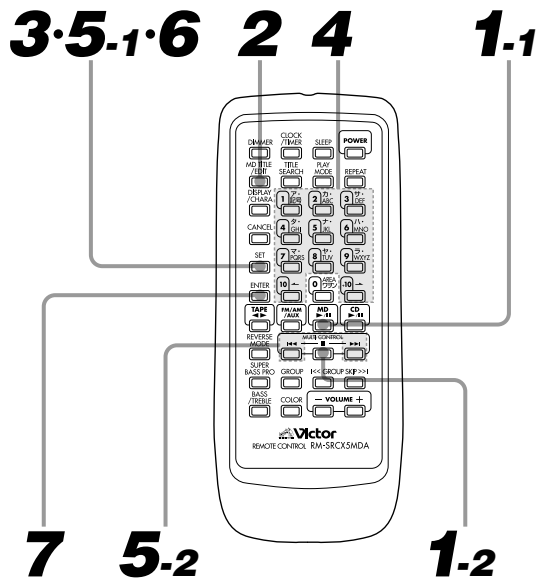
・1曲目がくり返し演奏になります。

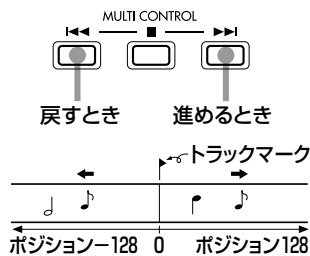
## 4 数字ボタンで分けたい曲を選ぶ

例： 3曲目のとき

・選んだ曲(3曲目)がくり返し演奏になります。

## 5 分けたいところでSETを押す

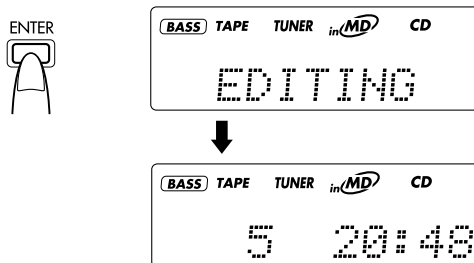
POSITION
⬇
0 OK?

・その場所から4秒後までがくり返し演奏されます。

● 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、▶▶Iまたは I◀◀で分ける位置が前後に微調節できます。

・ポジションー128〜128(前後約8秒)の範囲でトラックマークが移動できます。移動した所から4秒後がくり返し演奏されます。

## 6 SETを押す

PUSH ENTER

(DIVIDEを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

## 7 ENTERを押す

・「UTOCwriting」が表示され、曲番号が1つ増えます。

● 編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

〈お知らせ〉

● 手順**2**のときMD TITLE/EDITボタンを押すと、押すごとに

DISC TITLE ➡ TITLE ➡ FROM GR ➡ DIVIDE ➡ JOIN ➡ MOVE ➡ ERASE ➡ ALL ERASE ➡ 編集モード解除(ソースの表示)

と選べます。

# 曲をつなげる(JOIN) ー番号順に操作します。ー

## 1 編集したいMDを入れ、MD ▶/❚❚を押す

・ソース(音源)がMDになり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)
・プレイモードは解除しておきます。➡㊲ページ参照

## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「JOIN」を選ぶ

## 3 SETを押す

## 4 数字ボタンでつなげたい曲を選ぶ

(1つ前の曲とつなげることができます)

例： 5曲目を4曲目と1つにするとき

・選んだ曲(5曲目)がくり返し演奏になります。

## 5 SETを押す

(JOINを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

## 6 ENTERを押す

・「UTOCwriting」が表示され、曲番号が1つ減ります。

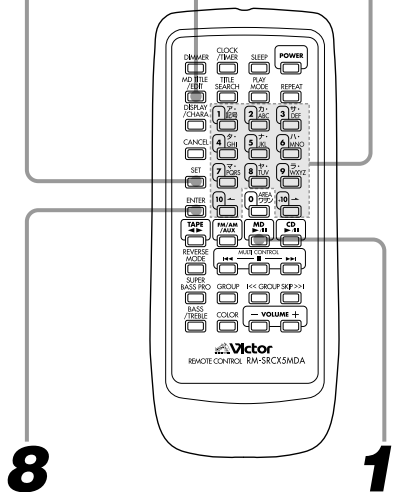
● 編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

〈お知らせ〉

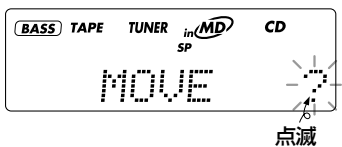
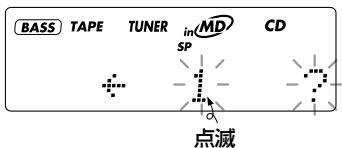
● 録音モード(SP、LP2またはLP4)の異なる曲をつなげることはできません。

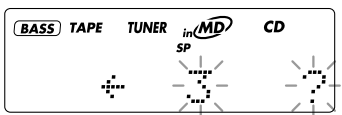
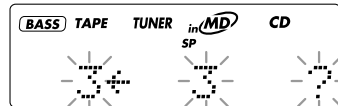
編集する

# 曲を移動する(MOVE) ―番号順に操作します。―

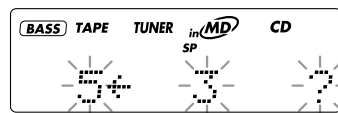
（MOVEのふりがな：ムーブ）

## 1 編集したいMDを入れ、MD►/IIを押す

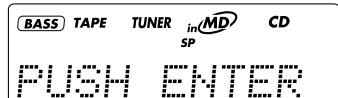
・ソース(音源)が「MD」になり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)
・プレイモードは解除しておきます。➡㊲ページ参照

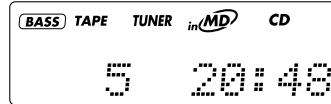
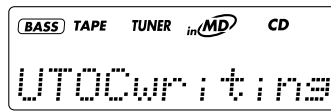
## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「MOVE」を選ぶ

## 3 SETを押す

## 4 数字ボタンで移動したい曲を選ぶ

例： 3曲目のとき

・選んだ曲(3曲目)がくり返し演奏になります。

## 5 SETを押す

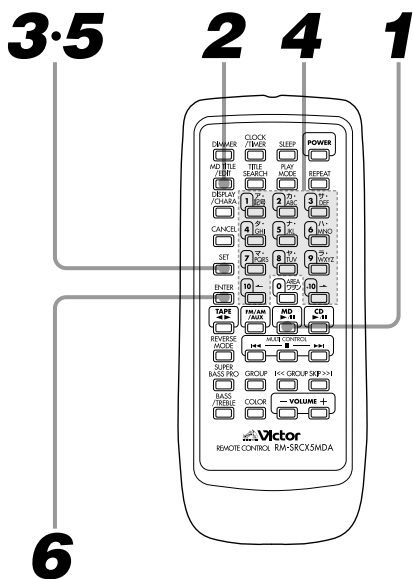
## 6 数字ボタンで移動先を選ぶ

例： 5曲目に移動

・選んだ曲(5曲目)がくり返し演奏になります。

## 7 SETを押す

(MOVEを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

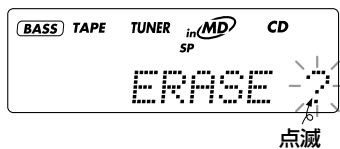
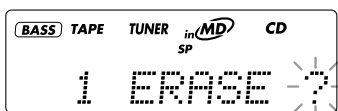
## 8 ENTERを押す

・「UTOCwriting」が表示され、曲順が変わります。

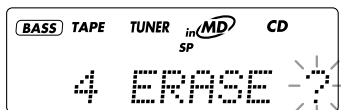
● 編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

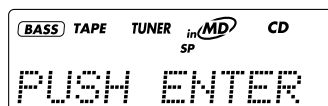
# 1曲を消す(ERASE) —番号順に操作します。—

(イレース)

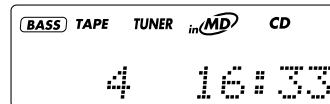
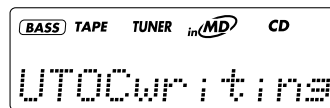
## 1 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚を押す

・ソース(音源)が「MD」になり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)
・プレイモードは解除しておきます。➡37ページ参照

## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「ERASE」を選ぶ

## 3 SETを押す

## 4 数字ボタンで消したい曲を選ぶ

例： 4曲目を消すとき

・選んだ曲(4曲目)がくり返し演奏になります。
・消したい曲の曲番号に合わせて数字ボタンを押します。

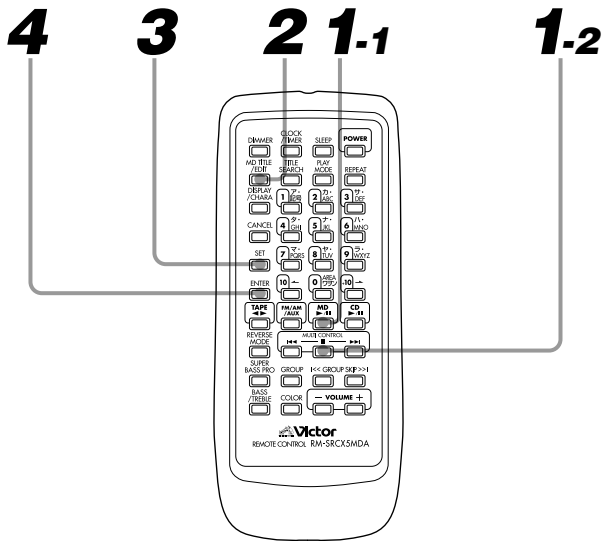
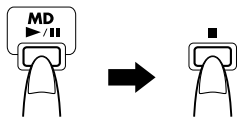
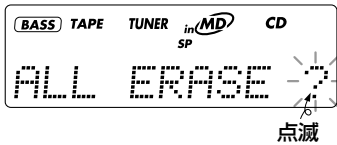
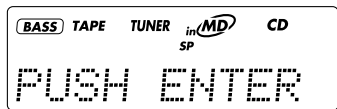
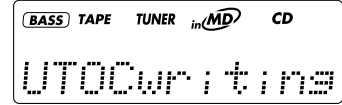
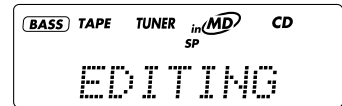
## 5 SETを押す

(ERASEを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

## 6 ENTERを押す

・「UTOCwriting」が表示され、4曲目が消えます。5曲目が前につめられます。

● 編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

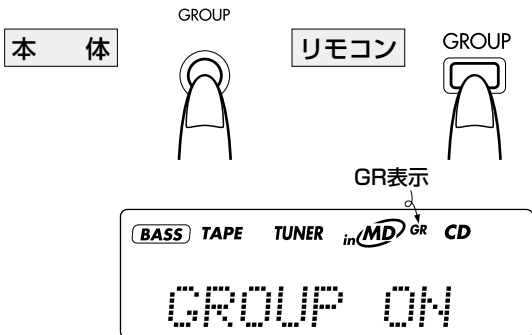
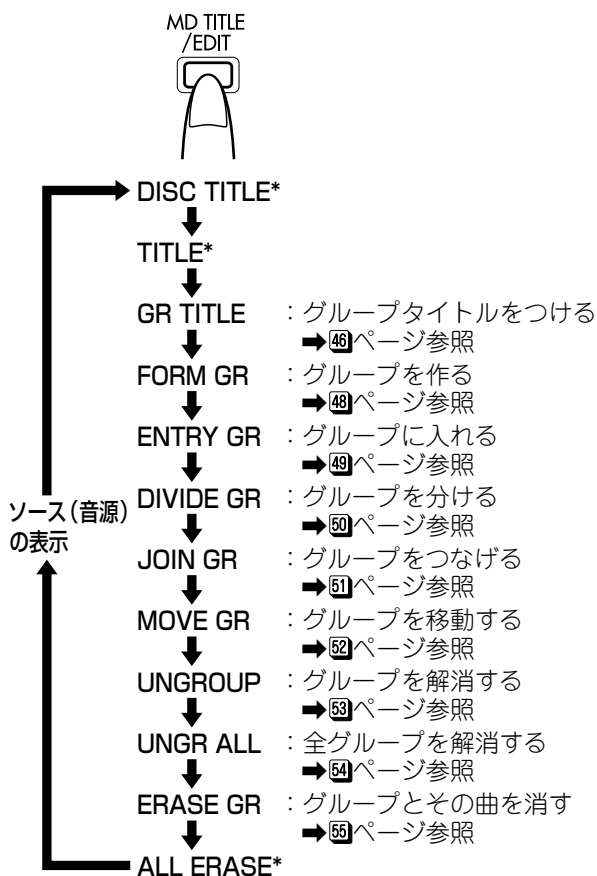
〈お知らせ〉

● 一度消去すると録音内容は元には戻りません。
大切な録音が入っているMDは誤消去防止つまみを開いた状態(➡64ページ参照)にしておいてください。

編集する

# 全部の曲を消す（ALL ERASE）—番号順に操作します。—

# MDのグループ編集について

## グループ編集のモードについて

MDにタイトルをつけたり編集する操作は、37ページ〜44ページの通常の編集の他にグループ編集ができます。
グループ録音されたMDを入れたあと、GROUPボタンを押してグループモードが「オン」(GR表示点灯)のとき操作します。

このときリモコンのMD TITLE/EDITボタンを押すと、以下のようにグループ編集のモードが選べます。

＊DISC TITLE、TITLEおよびALL ERASEはグループ編集とは関係ありません。グループモードが「オフ」でも操作できます。またFORM GRもグループモードに関係なく操作できます。

〈お知らせ〉

- 編集の操作は、MDが誤消去防止状態になっているとできません。誤消去防止つまみを閉じた状態に戻してください。
- MDのプレイモードが「PROGRAM」「RANDOM」または「GROUP」のときは、編集モードになりません。リモコンのPLAY MODEボタンを押して通常の演奏モードにしてからMD TITLE/EDITボタンを押してください。
- グループ録音されていないMDの場合、グループモードを「オン」にしてもグループ編集のモードは表示されません。通常の編集モードとFROM GRが表示されます。
- **MDに入力できる文字数**については37ページをご覧ください。
- グループモードを「オフ」にするときは、GROUPボタンを押してください。「GROUP OFF」が表示されGR表示が消えます。

### ● グループ編集のイメージ図

**FORM GR**

グループを作る。

**MOVE GR**

グループを移動する。

**ENTRY GR**

グループに入れる。

**UNGROUP**

グループを解消する。

**DIVIDE GR**

グループを分ける。

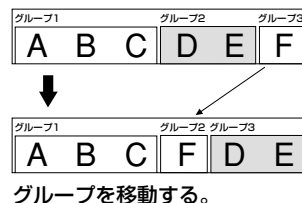
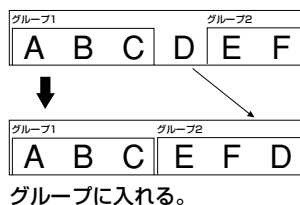
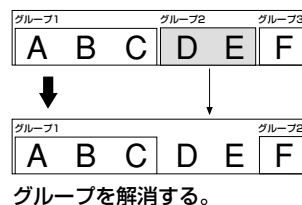
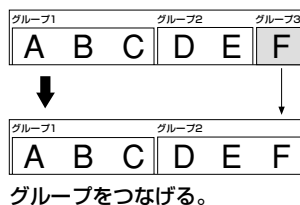
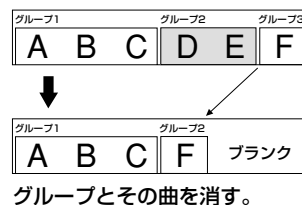
**UNGROUP ALL**

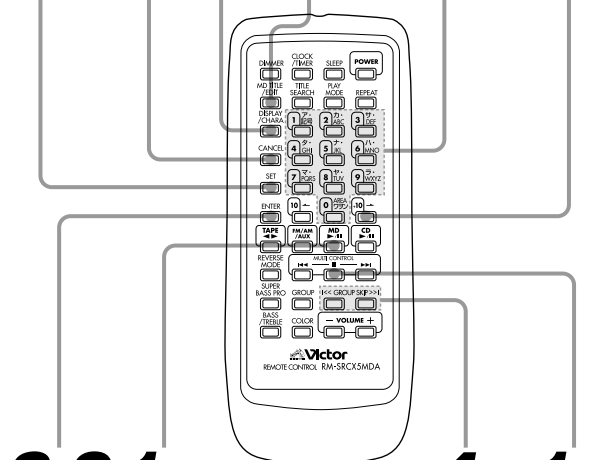
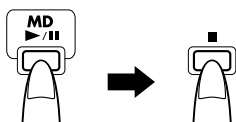
全グループを解消する。

**JOIN GR**

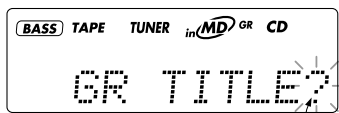
グループをつなげる。

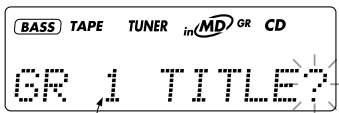
**ERASE GR**

グループとその曲を消す。

# グループタイトルをつける(GR TITLE)

(グループ タイトル)

## 1 編集したいMDを入れ、MD▶/II➡■(停止)を押す

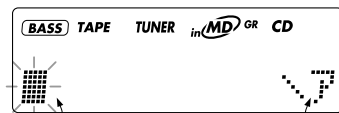
・ソース(音源)が「MD」になり、曲数と演奏時間が表示されます。
・GR表示が点灯していないときは、GROUPボタンを押して表示させます。
・プレイモードは解除しておきます。➡45ページ参照

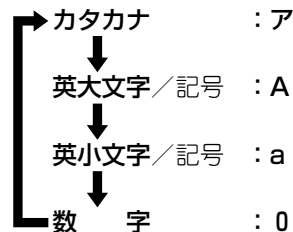
## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「GR TITLE」を選ぶ

点滅

## 3 SETを押す

グループ1

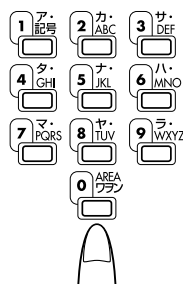
## 4 GROUP SKIP>>I(またはI<<)を押してタイトルをつけたいグループを選ぶ

・希望するグループ番号が表示されているときは、手順**5**へ進みます。

## 5 SETを押す

文字の入力位置(カーソル)　選ばれる文字

## 6 DISPLAY/CHARA*で文字の種類を選ぶ

詳しくは➡47ページ「文字配列表」参照

## 7 名前を入れる(最大61文字まで)

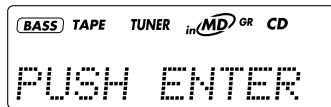
**7-1** 数字ボタンで文字を選ぶ
(例：カタカナのとき)

・ア行の文字の入力は…
1(ア・記号)ボタンを押すと、押すごとに

と選べます。
(ワヲンと ゛ ー ゜ は、0(AREA ワヲン)ボタンを使います)

**7-2** ＋10ボタンを押して確定する

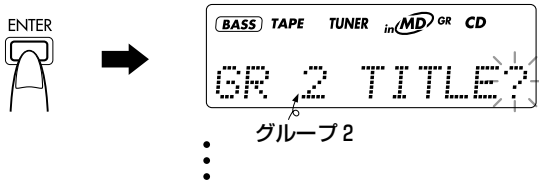
・空白(スペース)を入れるときも＋10ボタンを押します。

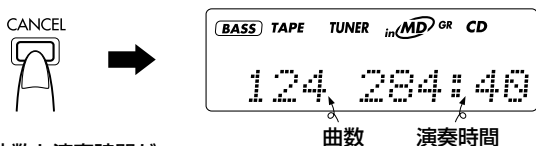
・別の数字ボタンを押したときも確定できます。
・間違えたときはCANCELボタンで取り消します。
・手順**6**と**7**のくり返しで好きな名前を入力します。
・途中の文字を消したいときは10ボタンでカーソルを文字に合わせCANCELボタンを押します。そのあと文字を選び＋10ボタンを押すと、文字の修正ができます。

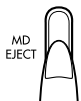
## 8 ENTERを押す

(GR TITLEを中止したいときは、CANCELボタンを押します)

47ページへ続く

＊CHARA とは…
CHARACTER(キャラクター)の略で文字や記号の意味です。

## 9 ENTERを押す

・次のグループ番号が表示されたときは、46ページの手順4から操作をくり返します。
・タイトルを入力済みのグループ番号が表示されたり、タイトル入力を終了するときは手順10へ進みます。

## 10 CANCELを押す

・曲数と演奏時間が表示されます。名前がメモリーICに記録されます。

## 11 本体のMD EJECTを押す ➡編集モード終了

・「UTOCwriting」表示後、MDが出てきます。
・メモリーICの内容がMDに記録されます。

● 手順**11**のときPOWERボタンを押して電源を切っても編集モードを終了することができます

### 〈お知らせ〉

● **入力済みの文字を消すには…**
タイトル入力済みの文字を消すときは、46ページの手順**5**のとき、そのタイトルが表示されカーソルが点滅表示されます。このときCANCELボタンを押して文字を消します。
そのあと文字を入力し直してください。
● ゜や゛は、半濁音や濁音になる文字以外には入れることができません。
● **グループタイトルは、グループ機能に対応していない機器では表示されません。**

### ● 文字配列表

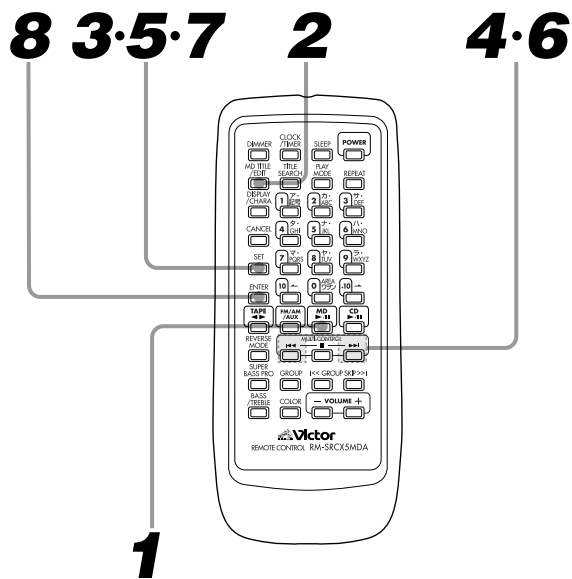
| ボタン | 数字 | カ　ナ | 英大 | 英小 |
|---|---|---|---|---|
| 1 ア・記号 | 1 | アイウエオァィゥェォ | 記号* | 記号* |
| 2 カ・ABC | 2 | カキクケコ | ABC | abc |
| 3 サ・DEF | 3 | サシスセソ | DEF | def |
| 4 タ・GHI | 4 | タチツテトッ | GHI | ghi |
| 5 ナ・JKL | 5 | ナニヌネノ | JKL | jkl |
| 6 ハ・MNO | 6 | ハヒフヘホ | MNO | mno |
| 7 マ・PQRS | 7 | マミムメモ | PQRS | pqrs |
| 8 ヤ・TUV | 8 | ヤユヨャュョ | TUV | tuv |
| 9 ラ・WXYZ | 9 | ラリルレロ | WXYZ | wxyz |
| 0 AREA ワヲン | 0 | ワヲン ゛ー ゜ | | |

### ＊記号で表示する内容

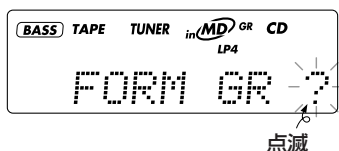
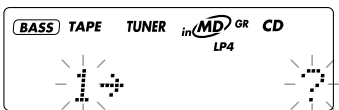
| □スペース(空白) | ! | ” | # | $ | % | & | ’ | ( | ) | * | + |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| , | ー | . | ／ | : | ; | < | = | > | ? | @ | _ | ` |

# グループを作る(FORM GR) ー番号順に操作します。ー

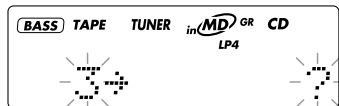
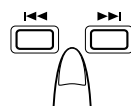
(フォーム グループ)

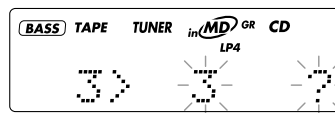
●グループ分けされていない曲を選んでグループにします(連続した曲または１曲)。

## 1 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚を押す

・ソース(音源)が「MD」になり、１曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)
・グループモードはON/OFFどちらのときでもこの操作はできます。
・プレイモードは解除しておきます。➡45ページ参照

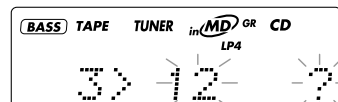
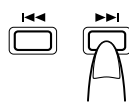
## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「FORM GR」を選ぶ

## 3 SETを押す

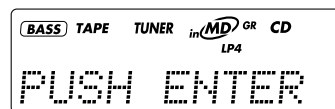
## 4 ▶▶❚(または❚◀◀)ボタンを押してグループにする先頭の曲を選ぶ

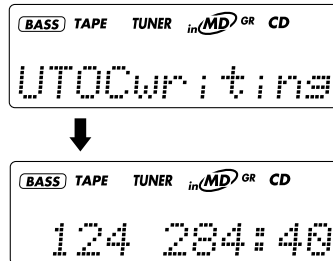
例：３曲目を選んだとき

・選んだ曲がくり返し再生されます。

## 5 SETを押す

・他のグループに登録されている曲を選ぶと「GROUP TRACK」が表示されます。選び直してください。

## 6 ▶▶❚(または❚◀◀)を押してグループの最後の曲を選ぶ

例：12曲目のとき

・１曲だけグループにするときは、この操作は必要ありません。

## 7 SETを押す

(FORM GRを中止したいときは、CANCELボタンを２回押します)

## 8 ENTERを押す

・指定した曲がグループに登録されます。

●編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

〈お知らせ〉

●「FORM GR」はグループモードがOFF(「GR」表示が消灯)のときでも操作できます。
●グループを作ると、後にあったグループの番号が一つ進みます。

### ●「CANNOT FORM」が表示されたときは

先頭の曲と最後の曲の間にグループがはさまれていると、グループを作ることはできません。このようなときは53ページの「グループを解除する(UNGROUP)」の操作でグループを解除してからグループを作り直してください。

# グループに入れる（ENTRY GR） ー番号順に操作します。ー

●グループに登録されていない曲をいずれかのグループに登録します。

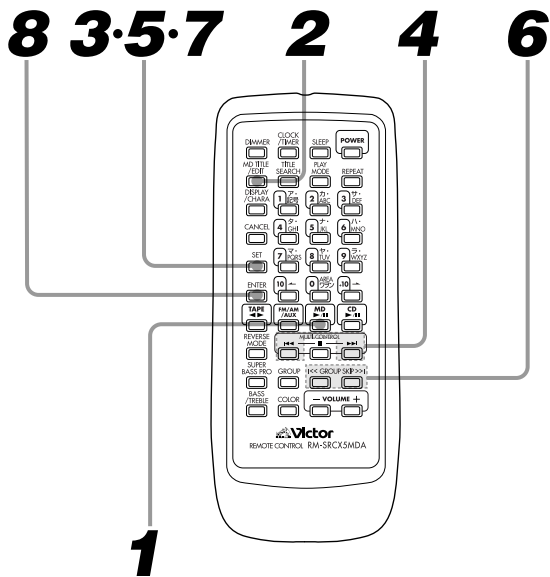
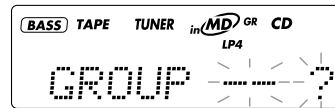
## 1 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚を押す

・ソース（音源）が「MD」になり、1曲目からの演奏になります。（曲の確認がしやすくなります）
・GR表示が点灯していないときは、GROUPボタンを押して表示させます。
・プレイモードは解除しておきます。➡㊺ページ参照

## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「ENTRY GR」を選ぶ

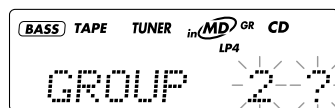
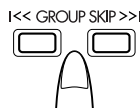
## 3 SETを押す

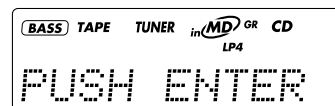
## 4 ▶▶❙（または❙◀◀）ボタンを押してグループに登録する曲を選ぶ

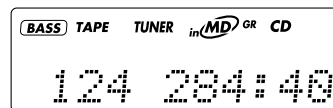
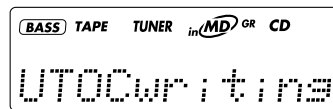
例：２曲目のとき

・選んだ曲がくり返し演奏されます。

## 5 SETを押す

・選んだ曲がグループに登録されているときは、そのグループ番号が表示されます。

## 6 GROUP SKIP>>I（またはI<<）を押して登録するグループを選ぶ

例：グループ２のとき

・指定したグループの曲がくり返し演奏されます。

## 7 SETを押す

（ENTRY GRを中止したいときは、CANCELボタンを２回押します）

## 8 ENTERを押す

・指定した曲がグループ２に登録されます。

●編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

〈お知らせ〉

●すでにグループに登録されている曲を、同じグループに登録することはできません。「CANNOT ENTRY」が表示されます。別のグループを選んでください。

編集する

# グループを分ける(DIVIDE GR) ー番号順に操作します。ー

(ディバイド グループ)

## 1 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚➡■(停止)を押す

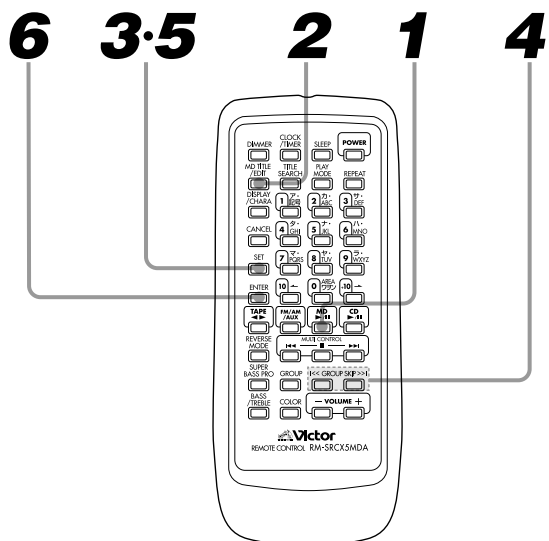
・ソース(音源)が「MD」になり、曲数と演奏時間が表示されます。
・GR表示が点灯していないときは、GROUPボタンを押して表示させます。
・プレイモードは解除しておきます。➡㊺ページ参照

## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「DIVIDE GR」を選ぶ

点滅

## 3 SETを押す

## 4 GROUP SKIP>>I(またはI<<)を押して分けたいグループを選ぶ

例：グループ2のとき

## 5 ▶▶Iを押して分けたい先頭の曲を選ぶ

例： 6曲目のとき

GR 2 TRK 6

・選んだグループの曲(グループ2の6曲目)が表示されます。
・グループに登録されていない曲を選ぶと「＿＿」が表示されます。

## 6 SETを押す

PUSH ENTER

(DIVIDE GRを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

## 7 ENTERを押す

UTOCwriting

124 284:40

・「UTOCwriting」が表示され、グループ番号が1つ増えます。

⋮

● 編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

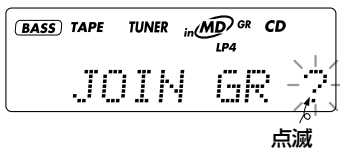
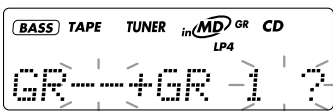
# グループをつなげる(JOIN GR) ―番号順に操作します。―

（ジョイン グループ）

## 1 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚を押す

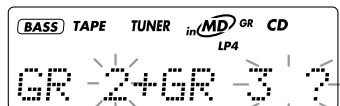
・ソース(音源)がMDになり、1曲目からの演奏になります。
(曲の確認がしやすくなります)
・GR表示が点灯していないときは、GROUPボタンを押して表示させます。
・プレイモードは解除しておきます。
➡45ページ参照

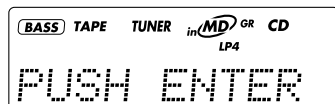
## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「JOIN GR」を選ぶ

点滅

## 3 SETを押す

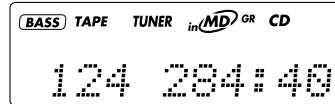
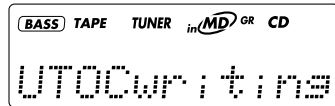
## 4 GROUP SKIP>>I(またはI<<)を押してつなげたいグループを選ぶ

(1つ前のグループとつなげることができます)

例:グループ3をグループ2と1つにするとき

・選んだグループの曲(グループ3の曲)がくり返し演奏になります。

## 5 SETを押す



(JOIN GRを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

## 6 ENTERを押す



・「UTOCwriting」が表示され、グループ番号が1つ減ります。

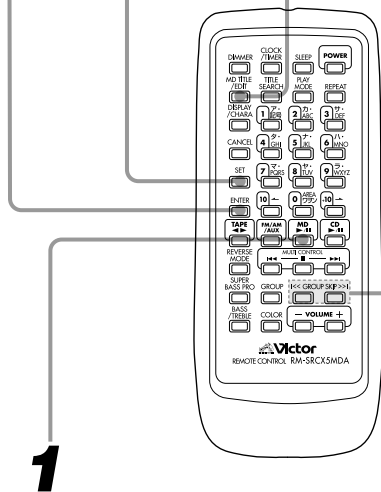
● 編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

〈お知らせ〉

● 「CANNOT JOIN」が表示されたときは

グループとグループの間にグループ登録されていない曲があります。このようなときは、52ページの「グループを移動する(MOVE GR)」でグループをとなりに移動してからつなげてください。

編集する

# グループを移動する(MOVE GR) ー番号順に操作します。ー

（ふりがな：ムーブ グループ）

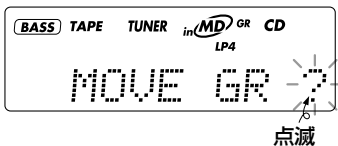
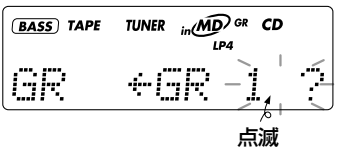
## 1 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚を押す

・ソース(音源)が「MD」になり、１曲目からの演奏になります。
　(曲の確認がしやすくなります)
・GR表示が点灯していないときは、GROUPボタンを押して表示させせます。
・プレイモードは解除しておきます。
　➡㊺ページ参照

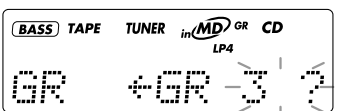
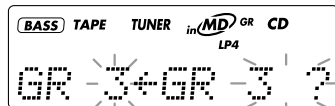
## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「MOVE GR」を選ぶ

点滅

## 3 SETを押す

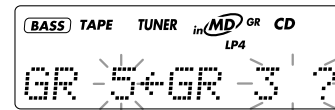
点滅

## 4 GROUP SKIP>>I(またはI<<)を押して移動するグループを選ぶ

例：グループ３のとき

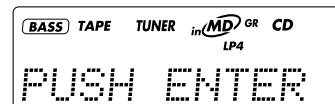
BASS TAPE TUNER MD GR CD LP4
GR ←GR 3 ?

・選んだグループの曲(グループ３の曲)がくり返し演奏になります。

## 5 SETを押す



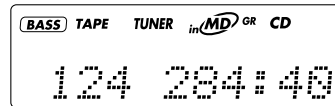
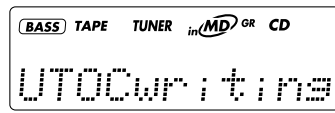
## 6 GROUP SKIP>>I(またはI<<)を押して移動先のグループを選ぶ

例：グループ５に移動



・選んだグループの曲(グループ５の曲)がくり返し演奏になります。

## 7 SETを押す



(MOVE GRを中止したいときは、CANCELボタンを２回押します)

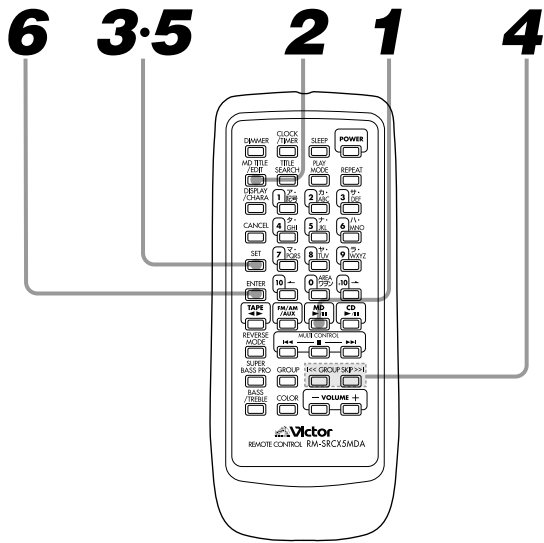
## 8 ENTERを押す



・「UTOCwriting」が表示され、グループ順が変わります。

⋮

●編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

# グループを解消する(UNGROUP)（アングループ） —番号順に操作します。—

● 指定した一つのグループを解消します。

## 1 編集したいMDを入れ、MD ►/❚❚を押す

・ソース(音源)がMDになり、1曲目からの演奏になります。
(曲の確認がしやすくなります)
・GR表示が点灯していないときは、GROUPボタンを押して表示させます。
・プレイモードは解除しておきます。
➡45ページ参照

## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「UNGROUP」を選ぶ

## 3 SETを押す

## 4 GROUP SKIP>>I(またはI<<)を押して解消したいグループを選ぶ

例：グループ3を選んだとき

・選んだグループの1曲目から演奏が始まります。

## 5 SETを押す



(UNGROUPを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

## 6 ENTERを押す



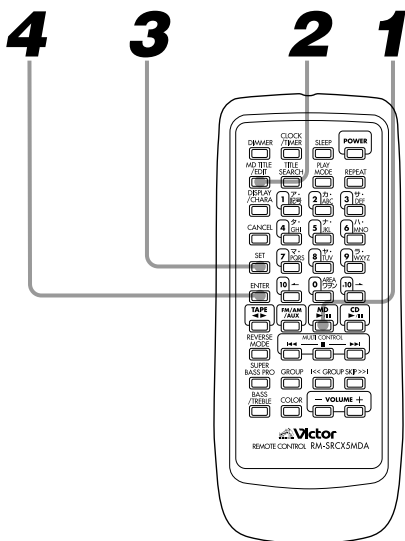
・指定したグループが解消されます。
曲は削除されません

● 編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

編集する

# 全グループを解消する(UNGR ALL) ―番号順に操作します。―

(アングループ オール)

● MD内の全グループを解消します。

**1** 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚を押す



・ソース(音源)がMDになり、1曲目からの演奏になります。
・GR表示が点灯していないときは、GROUPボタンを押して表示させます。
・プレイモードは解除しておきます。
➡45ページ参照

**2** MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「UNGR ALL」を選ぶ



**3** SETを押す



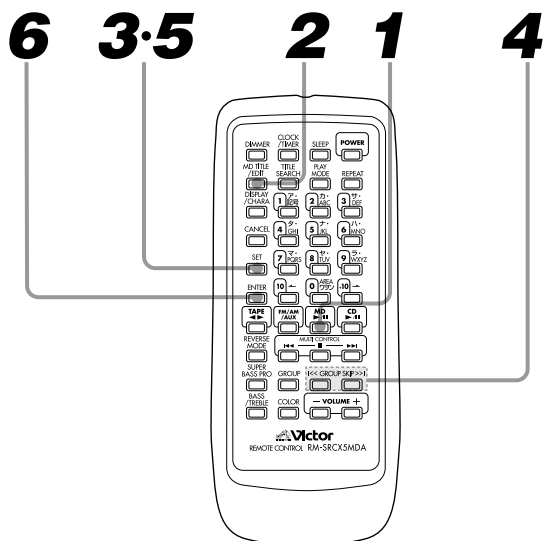
(UNGR ALLを中止したいときは、CANCELボタンを押します)

**4** ENTERを押す



・全グループが解消されます。曲は削除されません

● 編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

# 選んだグループごと曲を消す(ERASE GR) —番号順に操作します。—

(イレース グループ)

6 3·5 2 1 4

## 1 編集したいMDを入れ、MD ►/❚❚を押す

・ソース(音源)がMDになり、1曲目からの演奏になります。
(曲の確認がしやすくなります)
・GR表示が点灯していないときは、GROUPボタンを押して表示させせます。
・プレイモードは解除しておきます。
➡㊺ページ参照

## 2 MD TITLE/EDITを数回押して編集モードの「ERASE GR」を選ぶ

点滅

## 3 SETを押す

## 4 GROUP SKIP>>I(またはI<<)を押して消したいグループを選ぶ

例:グループ3を消すとき

・選んだグループ(グループ3の曲)がくり返し演奏になります。

## 5 SETを押す



(ERASE GRを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

## 6 ENTERを押す



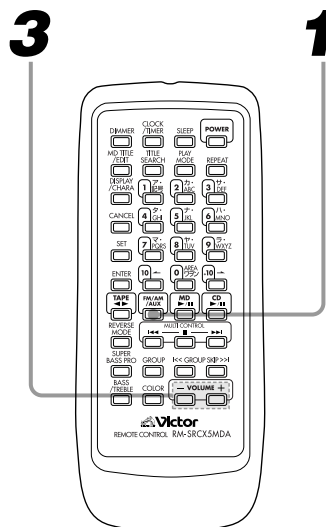
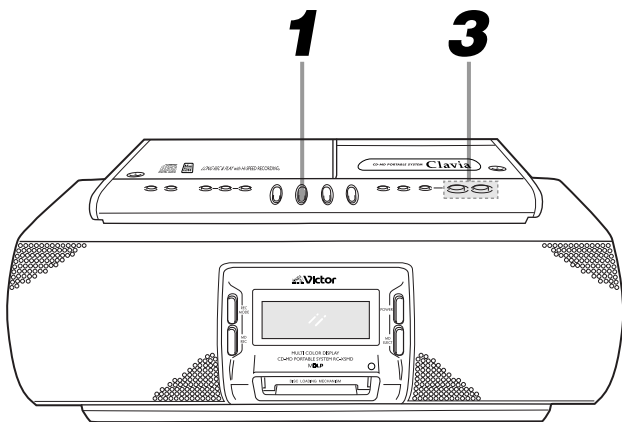
・「UTOCwriting」が表示され、グループ3が消えます。グループ4が前につめられます。

●編集操作を続けるときは、MD TITLE/EDITボタンを押します。

〈お知らせ〉

●一度消去すると録音内容は元には戻りません。
大切な録音が入っているMDは誤消去防止つまみを開いた状態(➡64ページ参照)にしておいてください。

編集する

# 他の機器を使う（聞く/録音する） ー番号順に操作します。ー

● **他の機器の音声を聞く**

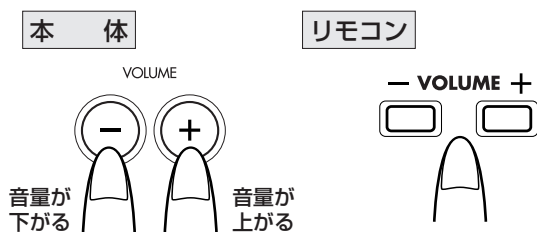
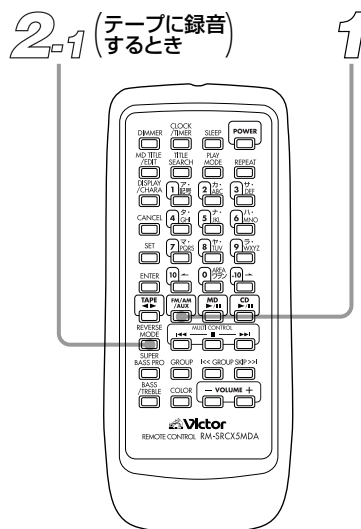
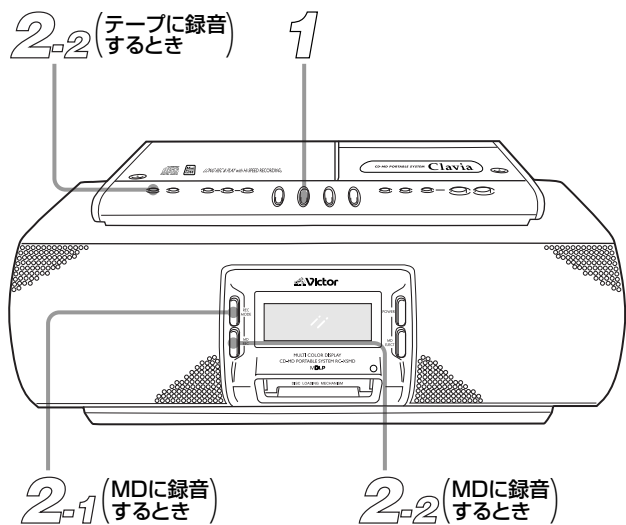
背面のAUX IN端子にレコードプレーヤーなどを接続しておきます。➡⑬ページ参照

## 1 FM/AM/AUXを押して「AUX」を選ぶ

・電源が入り、ソース（音源）が「AUX」になります。

## 2 接続した他の機器の演奏を始める

・レコードプレーヤーの場合、AL-E350（別売り）とフォノイコライザー：AC-S100J（別売り）を使います。
・詳しくは他の機器の取扱説明書をご覧ください。

## 3 VOLUMEで音量を調節する

・＋側を押すと音量が上がり、ー側を押すと下がります。
・VOLUME 0 ～35までの範囲で調節できます。
　詳しくは⑰ページをご覧ください。

**● 他の機器の音声を録音する**

あらかじめ録音用のMDまたはテープを入れておきます。

## 1 FM/AM/AUXを押して「AUX」を選ぶ

本　体　　FM/AM/AUX

リモコン　　FM/AM/AUX

・電源が入り、ソース（音源）が「AUX」になります。

## 2 録音状態にする

**・MDに録音するとき**

録音用のMDを入れREC MODEボタンで録音モード（SP、LP2またはLP4）を選ぶ ➡ MD REC

**・テープに録音するとき**

録音用のテープを入れ、リモコンのREVERSE MODEボタンでリバースモード（⊃または⇄）を選ぶ ➡ TAPE REC

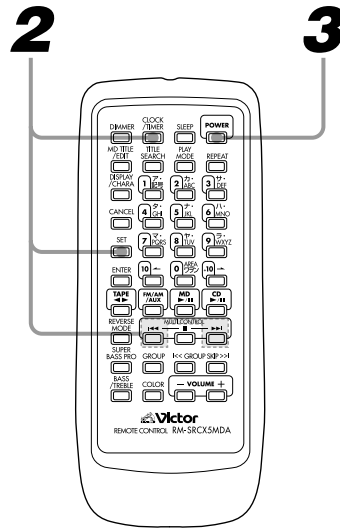
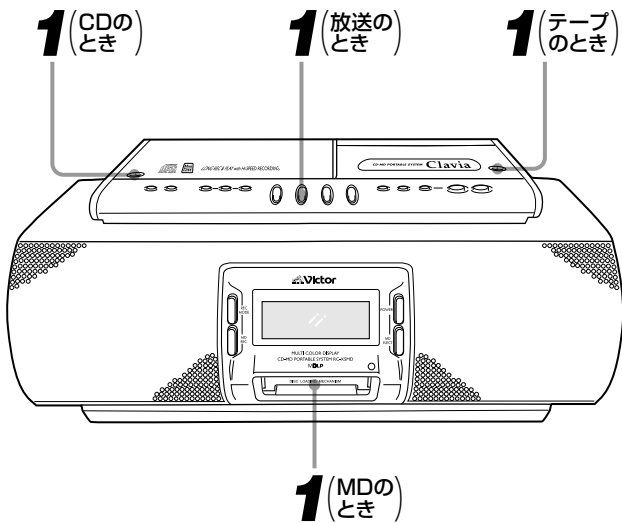
## 3 接続した他の機器の演奏を始める

・マイクを使うときは、オーディオミキサー：MI-A40（別売り）と一緒に使います。➡⑬ページ参照

・MDは「GR」表示が点灯しているとグループ録音されます。

**● 録音を途中でやめるときは**

■（停止）ボタンを押します。

# 目覚ましタイマー（タイマー再生） ー番号順に操作します。ー

● 好きな音楽によってお目覚めになることができます。

## 1 聞きたい音を準備する
（電源「切」のときはPOWERボタンを押す）

| | |
|---|---|
| CDの演奏 | CDを入れておく。 |
| MDの演奏 | MDを入れておく。 |
| テープ再生 | 聞きたい面を上にしてテープを入れておく。タイマーの動作時間に合わせてリバースモードを選びます。 |
| 放　送 | FM/AM/AUXボタンを押して聞きたい放送局を選局しておく。 |

## 2 タイマー予約をする（➡59ページ参照）

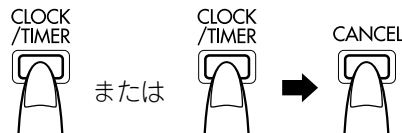
①タイマー予約ができる状態にする。
②開始時刻と終了時刻を設定する。
③タイマーモードを選ぶ。
④タイマー動作中の音量を設定する。
・音量は任意に設定できます。

## 3 POWERを押して電源を切る

・「SEE YOU」が表示され電源が切れます。
・表示窓にタイマー表示（◷）と現在時刻が表示されているか確認してください。

● 予約した開始時刻になるとタイマー再生が始まり、終了時刻で電源が切れます。
なお、電源が切れてもタイマー表示（◷）は残ります。
次の日も同じ時刻、同じタイマー予約の内容で使うことができます。

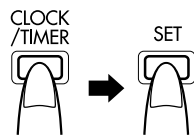
● **音量設定とフェードイン動作について**
タイマー予約で音量を設定すると、タイマー再生スタート時は音量ゼロから設定した音量まで、自動的にボリュームが上がるフェードイン動作をします。
これをウェイクアップボリュームといいます。

● **タイマー動作の取り消し**
休日の前夜などに利用すると便利です。
CLOCK/TIMERボタンを４回押してタイマー表示（◷）を消します。またはCLOCK/TIMERボタンを押して「TIMER」表示点滅中にCANCELボタンを押します。

・４回押す。

再設定するときは、CLOCK/TIMERボタンを押したあとSETボタンを押してタイマー表示（◷）を表示させます。

● **タイマー予約の確認**
タイマー表示（◷）が表示されているとき

・CLOCK/TIMERボタンを押したあと、SETボタンを押します。

CLOCK/TIMERボタンを押すと、タイマー表示（◷）が消えて「TIMER」表示の点滅になります。このあとSETボタンを押すと「開始時刻➡終了時刻➡タイマーモード➡音量」が表示されます。
「TIMER SET」表示のあと、元のソース（音源）表示に戻ったら終わりです。

〈お知らせ〉
● タイマー再生の動作を途中でやめるときは、POWERボタンを押して電源を切ってください。
● CDやMDをプログラム順にタイマー再生することはできません。

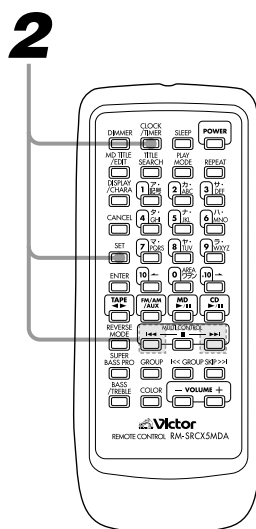
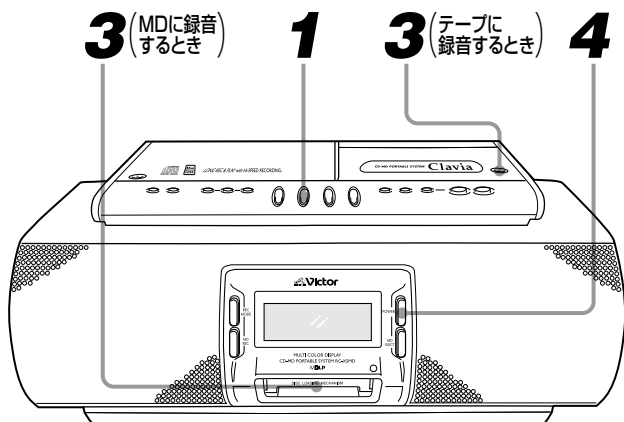
タイマー予約のしかた（予約内容を変更するときも同じです） ー電源「切」でも設定できます。ー

次はタイマーモードを選びます。

● あとはタイマーモードに合わせ、必要な操作をします。
➡58ページ「目覚ましタイマー」または60ページ「録音タイマー」参照

〈お知らせ〉

● タイマー予約の内容は、一度設定するとメモリー（記憶）されます。変更するときは、上記の*1*から操作をやり直してください。
ただし、停電状態になるとメモリーは解除されます。
● 設定を間違えたり表示が変わってしまったときは…
上記*1*から操作をやり直してください。
● 設定の途中でリモコンのCANCELボタンを押すと、前の内容に戻ります。

# 録音タイマー（放送の留守録音） ー番号順に操作します。ー

●外出中でも放送の留守録音ができます。

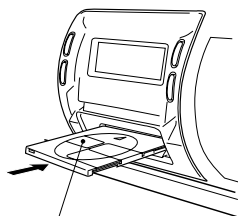
## 1 FM/AM/AUXを押して録音したい放送局を選ぶ

➡28ページ参照

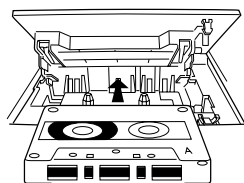
## 2 タイマー予約をする（➡59ページ参照）

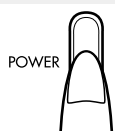
①タイマー予約ができる状態にする。
②開始時刻と終了時刻を設定する。
・１分程度の余裕をとって予約します。
③タイマーモードはTU（チューナー） MD RECまたはTU TAPE RECを選ぶ。
④TU MD RECを選んだときは、録音モード（SP、LP2またはLP4のいずれか）を選ぶ。
⑤タイマー動作中の音量を設定する。
・VOLUME　0に設定しておくと、録音中の音はスピーカーからは出ません。

## 3 録音用のMDまたはテープを入れる

・MDに録音するとき

ラベル面を上に

・「GR」表示が点灯していると、グループ録音することができます。

・テープに録音するとき

・録音したい面を上にしてテープを入れ、REV. MODEボタンを押してリバースモードを選んでおきます。
・ノーマルテープ（TYPE Ⅰ）を使います。

## 4 POWERを押して電源を切る

・「SEE YOU」表示のあと電源が切れます。
・表示窓にタイマー表示（◴ REC）と現在時刻が表示されているか確認してください。

●予約した開始時刻になると録音がスタートし、終了時刻で電源が切れます。

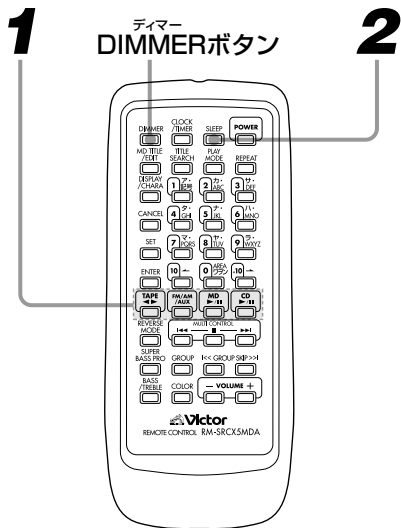
●次の日も同じ時刻に同じ放送局をタイマー録音するときは…
CLOCK/TIMERボタンを押したあとSETボタンを押してタイマー表示（◴ REC）を表示させ、再設定します。

**ちょっと一言**

●タイマーの開始時刻と終了時刻は一度予約するとメモリー（記憶）されます。
時刻を変更したいときは、タイマー予約をし直してください。

〈お知らせ〉

●停電状態になると、タイマー予約は取り消されます。
このようなときは、時計を合わせ直してからタイマー予約をしてください。

# おやすみタイマー* ー番号順に操作します。ー

*おやすみタイマーとは…

テレビなどのオフタイマーと同じ機能で、指定の時間が経過すると自動的に電源を切ります。

● CDの演奏などを聞きながらおやすみになるには

## 1 聞きたいソース（音源）の音を出す

| | 操　　作 |
|---|---|
| CDの演奏 | CDを入れ、CD▶/‖ボタンを押して演奏する。 |
| MDの演奏 | MDを入れ、MD▶/‖ボタンを押して演奏する。 |
| テープ再生 | テープを入れ、TAPE◀▶ボタンを押して再生する。おやすみタイマーの動作時間に合わせてリバースモードを選びます。 |
| 放　　送 | FM/AM/AUXボタンを押して聞きたい放送局を選局する。 |

## 2 リモコンのSLEEPを押して動作時間を選ぶ

・**SLEEP**が表示窓に表示され、10、20、30、60、90、120分のいずれかに設定できます。設定後4秒で設定前のソース（音源）表示に戻ります。このとき表示窓が自動で暗くなります（DIMMER 2の状態）。

● おやすみタイマーがスタートし、指定の時間を経過すると電源が切れます。

● おやすみタイマーの動作時間の確認

・SLEEPボタンを押すと残り時間が確認できます。もう一度押すと再設定（時間の延長）ができます。
・DIMMERボタンを押すと、表示窓の明るさを変えることができます。➡㉕ページ参照

● おやすみタイマーを使っておやすみになり、翌朝、タイマー再生でおめざめになるには

1. 目覚ましタイマーを設定する
   ➡㊿ページ参照
2. おやすみ時に聞きたい音を出す
3. SLEEPを押して動作時間を選ぶ

● おやすみタイマーのソース（音源）と、タイマー再生のソース（音源）は任意に選べます。

例えば

| おやすみタイマー | CDの演奏 | テープ再生 |
|---|---|---|
| タイマー再生 | 放　送 | MDの演奏 |

ただし、両方とも放送を選んだときは、おやすみ時の最後に聞いていた放送局を翌朝も聞くことができます。

● おやすみタイマーの取り消し

・POWERボタンを押して電源を切ると取り消されます。設定を解除するだけのときは、SLEEPボタンで解除します。

# エリアガイド放送局一覧

● エリアガイド放送局一覧
AM放送の場合、エリアガイド機能により地域ごとに下記の周波数が呼出せます。

| 市外局番 | 都道府県名 | エリアの放送がよく入る代表都市名 | 表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです) | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | P1 | P2 | P3 | P4 | P5 | P6 | P7 | P8 | P9 |
| 011､0123～0129<br>0131～0136<br>0141～0149 | 北海道 | 札幌 | NHK1<br>567kHz | NHK2<br>747kHz | HBC<br>801kHz | HBC<br>864kHz | NHK1<br>945kHz | NHK2<br>1,125kHz | HBC<br>1,287kHz | STV<br>1,440kHz | * |
| 0150～0152<br>0157～0159 | 北海道 | 網走<br>北見 | NHK2<br>702kHz | NHK2<br>747kHz | HBC<br>801kHz | STV<br>909kHz | NHK1<br>1,188kHz | HBC<br>1,449kHz | STV<br>1,485kHz | NHK1<br>1,584kHz | * |
| 0153～0156 | 北海道 | 釧路 | NHK1<br>585kHz | NHK1<br>603kHz | STV<br>882kHz | STV<br>1,071kHz | NHK2<br>1,125kHz | NHK2<br>1,152kHz | HBC<br>1,269kHz | HBC<br>1,404kHz | * |
| 0137～0139 | 北海道 | 函館 | NHK1<br>567kHz | STV<br>639kHz | NHK1<br>675kHz | NHK2<br>747kHz | STV<br>882kHz | HBC<br>900kHz | HBC<br>1,269kHz | NHK2<br>1,467kHz | * |
| 0160～0169 | 北海道 | 旭川 | NHK1<br>621kHz | NHK2<br>747kHz | NHK1<br>792kHz | NHK1<br>837kHz | HBC<br>864kHz | NHK1<br>927kHz | STV<br>1,197kHz | NHK2<br>1,602kHz | * |
| 0172～0179 | 青森 | 青森 | NHK2<br>774kHz | NHK1<br>963kHz | NHK1<br>999kHz | RAB<br>1,233kHz | RAB<br>1,485kHz | * | * | * | * |
| 018<br>0182～0189 | 秋田 | 秋田 | NHK2<br>774kHz | ABS<br>936kHz | NHK1<br>1,503kHz | * | * | * | * | * | * |
| 019<br>0190～0199 | 岩手 | 盛岡 | NHK1<br>531kHz | IBC<br>684kHz | NHK2<br>774kHz | NHK2<br>1,386kHz | * | * | * | * | * |
| 022<br>0220～0229 | 宮城 | 仙台 | NHK1<br>891kHz | NHK2<br>1,089kHz | TBC<br>1,260kHz | * | * | * | * | * | * |
| 023<br>0233～0239 | 山形 | 山形 | NHK1<br>540kHz | NHK2<br>774kHz | YBC<br>918kHz | NHK1<br>1,368kHz | * | * | * | * | * |
| 024<br>0240～0249 | 福島 | 郡山 | NHK2<br>693kHz | NHK1<br>846kHz | RFC<br>1,098kHz | RFC<br>1,458kHz | * | * | * | * | * |
| 025<br>0250～0259 | 新潟 | 新潟 | NHK1<br>792kHz | NHK1<br>837kHz | BSN<br>1,062kHz | BSN<br>1,116kHz | BSN<br>1,530kHz | NHK2<br>1,593kHz | * | * | * |
| 026<br>0260～0269 | 長野 | 長野 | NHK1<br>540kHz | NHK1<br>621kHz | NHK2<br>693kHz | NHK1<br>819kHz | SBC<br>864kHz | SBC<br>1,098kHz | * | * | * |
| 027<br>0270～0279 | 群馬 | 前橋 | NHK1<br>594kHz | NHK2<br>693kHz | TBS<br>954kHz | ブンカ<br>1,134kHz | ニッポン<br>1,242kHz | * | * | * | * |
| 028<br>0280～0289 | 栃木、茨城 | 宇都宮 | NHK1<br>594kHz | NHK2<br>693kHz | TBS<br>954kHz | ブンカ<br>1,134kHz | ニッポン<br>1,242kHz | CRT<br>1,530kHz | * | * | * |
| 029<br>0290～0299 | 茨城 | 水戸 | NHK1<br>594kHz | NHK2<br>693kHz | TBS<br>954kHz | ブンカ<br>1,134kHz | IBS<br>1,197kHz | ニッポン<br>1,242kHz | IBS<br>1,458kHz | * | * |
| 03､042～048<br>0421～0499 | 東京､神奈川<br>千葉､埼玉 | 東京 | NHK1<br>594kHz | NHK2<br>693kHz | AFN<br>810kHz | TBS<br>954kHz | ブンカ<br>1,134kHz | ニッポン<br>1,242kHz | ラジオニホン<br>1,422kHz | * | * |
| 052､0521～0529<br>0531～0536 | 愛知 | 名古屋 | NHK1<br>729kHz | NHK2<br>909kHz | CBC<br>1,053kHz | トウカイラジオ<br>1,332kHz | SBS<br>1,404kHz | GIFU<br>1,431kHz | * | * | * |
| 053､054<br>0537～0549 | 静岡 | 静岡 | NHK2<br>639kHz | NHK1<br>882kHz | SBS<br>1,404kHz | * | * | * | * | * | * |
| 0551～0557 | 山梨 | 甲府 | NHK2<br>693kHz | YBS<br>765kHz | NHK1<br>927kHz | TBS<br>954kHz | ブンカ<br>1,134kHz | ニッポン<br>1,242kHz | * | * | * |
| 0550<br>0558～0559 | 静岡 | 沼津 | NHK2<br>639kHz | NHK1<br>882kHz | SBS<br>1,404kHz | SBS<br>1,557kHz | * | * | * | * | * |
| 058<br>0561～0589 | 愛知､岐阜 | 岐阜 | NHK1<br>729kHz | NHK1<br>792kHz | NHK2<br>909kHz | CBC<br>1,053kHz | トウカイラジオ<br>1,332kHz | GIFU<br>1,431kHz | * | * | * |
| 058<br>0592～0599 | 三重 | 津 | NHK1<br>729kHz | NHK2<br>828kHz | CBC<br>1,053kHz | トウカイラジオ<br>1,332kHz | * | * | * | * | * |
| 06<br>0720～0729 | 大阪 | 大阪 | AM KOBE<br>558kHz | NHK1<br>666kHz | NHK2<br>828kHz | ABC<br>1,008kHz | KBS<br>1,143kHz | MBS<br>1,179kHz | OSAKA<br>1,314kHz | * | * |
| 073<br>0734～0739 | 和歌山 | 和歌山 | NHK1<br>666kHz | NHK2<br>828kHz | ABC<br>1,008kHz | MBS<br>1,179kHz | OSAKA<br>1,314kHz | WBS<br>1,431kHz | * | * | * |

● ＊印の欄および**P10～P15**には放送局がメモリーされておりません。お好きな放送局をご自分でプリセットすることができます。➡㉙ページ「放送局を選んで記憶させる」を参照
● 放送局名は表示窓に表示されます。

## ● エリアガイド放送局一覧

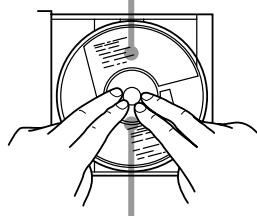
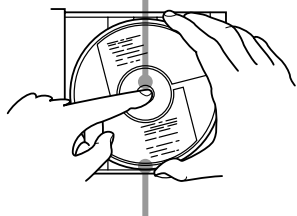
| 市外局番 | 都道府県名 | エリアの放送がよく入る代表都市名 | 表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです) | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | P1 | P2 | P3 | P4 | P5 | P6 | P7 | P8 | P9 |
| 075<br>0740〜0759 | 京都<br>奈良、滋賀 | 京都 | NHK1<br>666kHz | NHK2<br>828kHz | ABC<br>1,008kHz | KBS<br>1,143kHz | MBS<br>1,179kHz | OSAKA<br>1,314kHz | * | * | * |
| 076<br>0761〜0762 | 石川 | 金沢 | MRO<br>1,107kHz | NHK1<br>1,224kHz | NHK2<br>1,386kHz | * | * | * | * | * | * |
| 0763〜0766 | 富山 | 富山 | NHK1<br>648kHz | KNB<br>738kHz | NHK2<br>1,035kHz | * | * | * | * | * | * |
| 0760<br>0767〜0769 | 石川 | 七尾 | NHK1<br>540kHz | MRO<br>1,107kHz | NHK2<br>1,386kHz | * | * | * | * | * | * |
| 077<br>0771〜0775 | 京都、滋賀 | 大津 | NHK1<br>666kHz | NHK2<br>828kHz | ABC<br>1,008kHz | KBS<br>1,143kHz | MBS<br>1,179kHz | KBS<br>1,215kHz | OSAKA<br>1,314kHz | * | * |
| 0770<br>0776〜0779 | 福井 | 福井 | FBC<br>864kHz | NHK1<br>927kHz | NHK2<br>1,521kHz | * | * | * | * | * | * |
| 078<br>0790〜0799 | 兵庫 | 神戸 | AM KOBE<br>558kHz | NHK1<br>666kHz | NHK2<br>828kHz | ABC<br>1,008kHz | MBS<br>1,179kHz | OSAKA<br>1,314kHz | * | * | * |
| 082、0823〜0826<br>0828〜0829 | 広島 | 広島 | NHK2<br>702kHz | NHK1<br>1,071kHz | RCC<br>1,350kHz | * | * | * | * | * | * |
| 083<br>0832〜0839<br>0820、0827 | 山口 | 山口 | NHK1<br>675kHz | KRY<br>765kHz | KRY<br>918kHz | NHK2<br>1,377kHz | AFN<br>1,575kHz | * | * | * | * |
| 0840〜0849 | 広島 | 尾道 | NHK1<br>999kHz | RCC<br>1,530kHz | NHK2<br>1,602kHz | * | * | * | * | * | * |
| 0851〜0856 | 島根 | 松江 | BSS<br>900kHz | NHK1<br>1,296kHz | BSS<br>1,431kHz | NHK2<br>1,593kHz | * | * | * | * | * |
| 0857〜0859 | 鳥取 | 米子 | BSS<br>900kHz | NHK1<br>963kHz | NHK2<br>1,125kHz | NHK1<br>1,368kHz | BSS<br>1,431kHz | * | * | * | * |
| 086<br>0863〜0869 | 岡山、広島 | 岡山 | NHK1<br>603kHz | NHK2<br>1,386kHz | RSK<br>1,494kHz | * | * | * | * | * | * |
| 087<br>0875〜0879 | 香川 | 高松 | NHK2<br>828kHz | NHK2<br>1,035kHz | NHK1<br>1,368kHz | RNC<br>1,449kHz | * | * | * | * | * |
| 0883〜0886 | 徳島 | 徳島 | NHK2<br>828kHz | NHK1<br>945kHz | JRT<br>1,269kHz | * | * | * | * | * | * |
| 0880<br>0887〜0889 | 高知 | 高知 | RKC<br>900kHz | NHK1<br>990kHz | NHK1<br>999kHz | NHK2<br>1,152kHz | RKC<br>1,197kHz | * | * | * | * |
| 089<br>0892〜0899 | 愛媛 | 松山 | NHK1<br>846kHz | NHK1<br>963kHz | Nancy 16<br>1,116kHz | NHK2<br>1,512kHz | * | * | * | * | * |
| 092、093、0920<br>0930、0940〜0949 | 福岡<br>長崎 | 福岡 | NHK1<br>612kHz | NHK2<br>1,017kHz | RKB<br>1,278kHz | KBC<br>1,413kHz | * | * | * | * | * |
| 0951〜0955 | 佐賀 | 佐賀 | NHK1<br>612kHz | NHK2<br>873kHz | NHK1<br>963kHz | RKB<br>1,278kHz | KBC<br>1,413kHz | NBC<br>1,458kHz | * | * | * |
| 0950、095<br>0956〜0959 | 長崎 | 長崎 | NHK1<br>684kHz | NHK2<br>873kHz | NHK1<br>981kHz | NBC<br>1,098kHz | NBC<br>1,233kHz | * | * | * | * |
| 096<br>0964〜0969 | 熊本 | 熊本 | NHK1<br>756kHz | NHK1<br>846kHz | NHK2<br>873kHz | RKK<br>1,197kHz | NHK1<br>1,341kHz | * | * | * | * |
| 097<br>0972〜0979 | 大分 | 大分 | NHK1<br>639kHz | NHK2<br>873kHz | OBS<br>1,098kHz | * | * | * | * | * | * |
| 0982〜0987 | 宮崎 | 宮崎 | NHK1<br>540kHz | NHK1<br>621kHz | NHK2<br>873kHz | MRT<br>936kHz | OBS<br>1,098kHz | NHK2<br>1,467kHz | * | * | * |
| 098、0980<br>0988〜0989 | 沖縄 | 那覇 | NHK1<br>540kHz | NHK1<br>549kHz | AFN<br>648kHz | RBC<br>738kHz | ROK<br>864kHz | NHK2<br>1,125kHz | * | * | * |
| 099<br>0991〜0999 | 鹿児島 | 鹿児島 | NHK1<br>576kHz | NHK1<br>792kHz | MBC<br>1,107kHz | NHK2<br>1,386kHz | * | * | * | * | * |

〈お知らせ〉

- 市外局番が変更になったときは、変更前の市外局番を入力してください。

# CDについて

## CDの取り扱いかた

● ケースからの出し入れ

演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

上から押さえて入れる。

● CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
● CDは曲げないでください。

● 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。

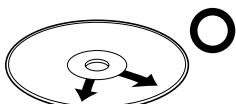
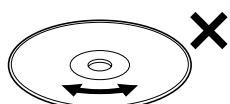
● ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

### CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

● 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
● CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
● ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
● 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
● MP 3には対応しておりません。

## CDのお手入れ

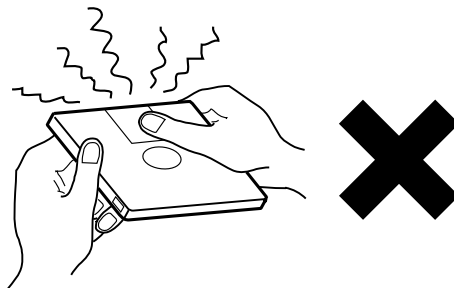
演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

● シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

# MDについて

## MDの取り扱いかた

**シャッターは開けないで**

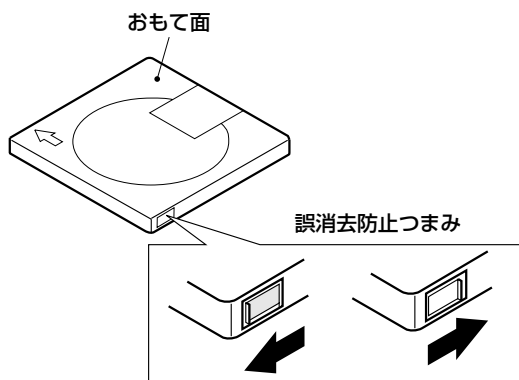
シャッターは開かないようにロックされています。無理に開けようとするとディスクがこわれます。

**置き場所に気をつけて**

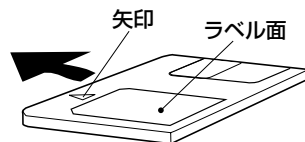
次のようなところには置かないでください。
・直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
・風呂場など湿気の高いところ
・海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ
ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

**定期的にお手入れを**

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

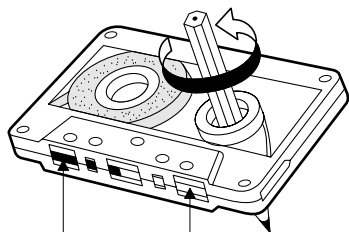
## 大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

〈お知らせ〉

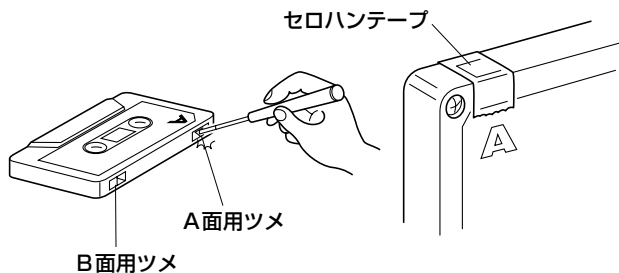
● 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
● MDは▷などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

# カセットテープについて

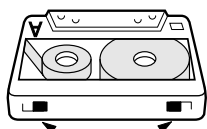
## カセットテープの取り扱いかた

- テープに**たるみ**がありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにして**たるみ**を取り除いてください。

- テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**
  長い時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。
- **リーダーテープについて**
  テープの始まりと終わりには、録音できない部分…リーダーテープ…があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

## 大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ（タブ）がついています。

- **ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。**
- **再び録音したいときはツメの穴をセンロハンテープなどでふさぎます。**

### カセットテープの種類検出穴について

本機は、オートテープセレクト方式になっていますので、テープの種類は自動的に判別されます。

・ハイポジションテープは、再生に限り使えます。メタルテープ（TYPEⅣ）には対応しておりませんので使用しないでください。

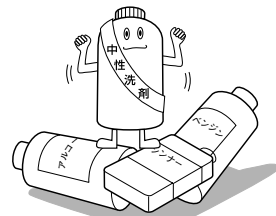
・ノーマルテープ（TYPE Ⅰ）には、この検出穴はありません。

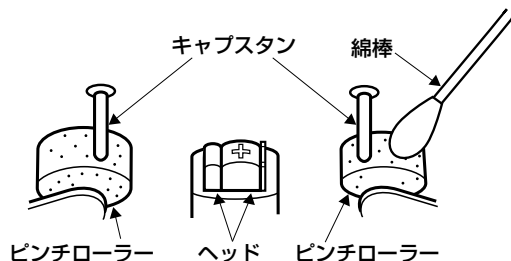
# お手入れ

## 本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

**お願い**

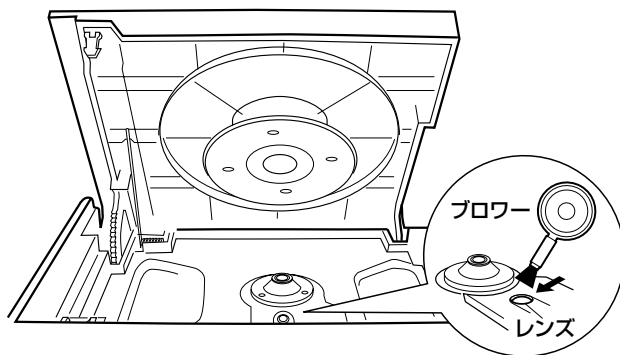
- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

## テープデッキのヘッド部の清掃

音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

・市販のクリーニングキット（綿棒とクリーニング液）を使うと便利です。

- **ヘッドの消磁について**
  ヘッドが磁化されると、高音が聞こえにくくなったり雑音が多くなります。このようなときは、市販のヘッド消磁器で消磁してください。

## CDプレーヤーのレンズの清掃

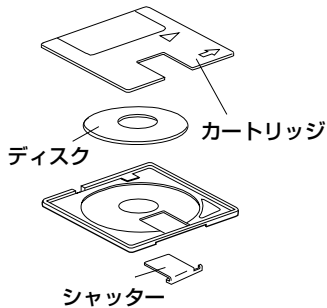
レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。
CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。

- 万一、指紋などが付いているときは綿棒で軽くふいてください。

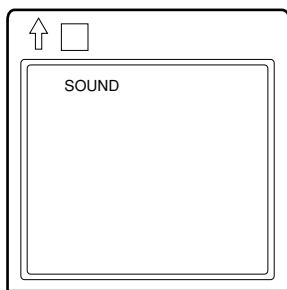
# MDの技術解説

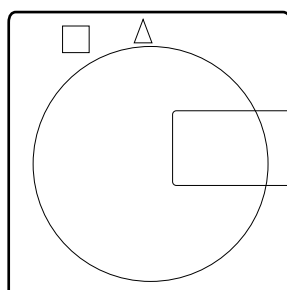
MD-80使用で80分の再生または録音ができる直径64㎜のディスクを使った新しいデジタルオーディオ、それがMDです。

## カートリッジのはたらき

ディスク自体の直径は、8センチCDよりも小さな64㎜。このディスクがカートリッジの中に収められています。カートリッジの大きさも、68×72㎜、厚さ5㎜のポケットサイズ。持ち運びや収納がとてもラクです。また、カートリッジに守られているのでほこりやゴミがつきにくく、しかも、使用中のとき以外は閉じているシャッターのおかげで、ディスクにキズや指紋をつける心配もありません。取り扱いがたいへん手軽です。

## 2種類のディスク

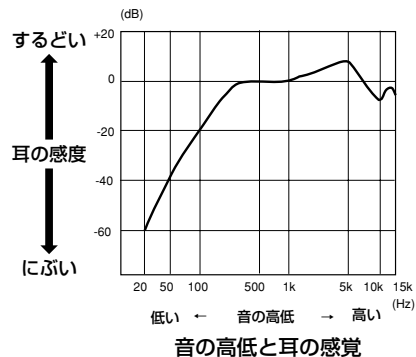
MDには、録音できる「録音用MD」と再生しかできない「再生専用MD」との2種類のディスクがあります。再生のしかたは、どちらのディスクも、レーザー光を照射しその反射によって信号を読み取るという同じ方式ですが、記録のしかたが異なります。

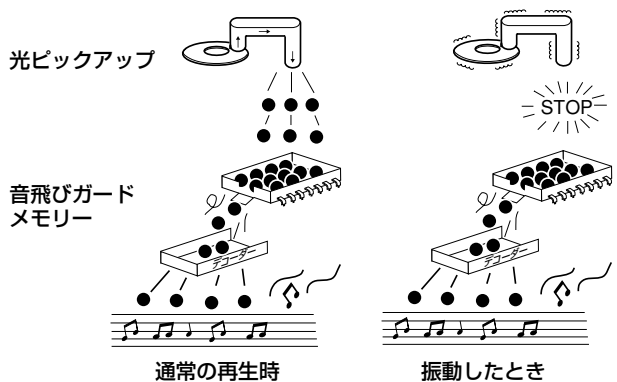
**再生専用MD**
市販のMDソフトに使用されているタイプです。録音はできません。CDと同様、ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」といいます。

再生専用MD

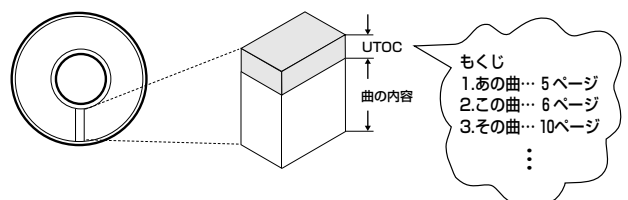
**録音用MD**
自分で録音することのできる、いわゆる「生MD」です。何度も録音しなおせるように、加工しやすい磁気によってデータが記録されます。レーザー光をあてて熱することにより磁気を消し、そこに磁気ヘッドで記録していきます。このような記録方式のディスクを〔光磁気(MO：Magneto(マグネット) Optical(オプティカル))ディスク〕といいます。

録音用MD

## ATRAC(Adaptive Transform Acoustic Coding(アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング))

音の中には、実際にはよく聴こえない音が混ざっています。例えば、音が小さいときは低音や高音は聴こえにくくなります。また、大きい音と同時または直後に小さい音が鳴ってもその音は聴こえません。MDでは、〔ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding)〕という技術を使って、こうした人間の聴感特性に基づき音を取捨選択することによりデータを小さく圧縮しています。この技術により、記録するデータは元のデータの約1/5の量になり、小さなMDにも収めることが可能となりました。さらにATRAC 3 の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

音の高低と耳の感覚

## 音飛びガードメモリー

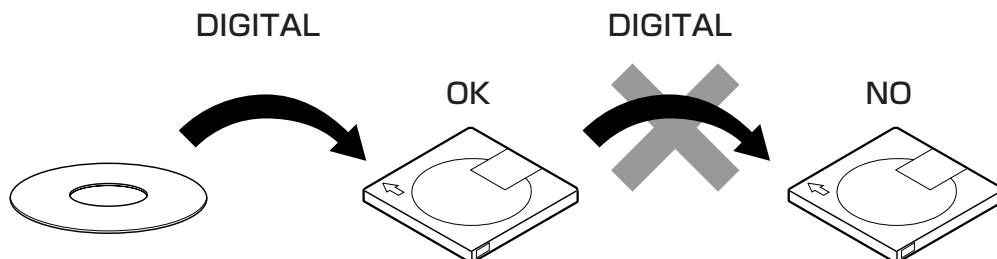
MDを再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能「音飛びガードメモリー」が働いています。この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。

## UTOC(User Table of Contents(ユーザー テーブル オブ コンテンツ))

録音用MDには、曲の内容とは別に、「目次(UTOC)」があります。これは、各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

# デジタル録音のきまり（SCMS）

CDからデジタル信号のままデジタル録音したMDには、著作権保護のため次のような決まりがあります。

## SCMS（Serial Copy Management System）

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

〈お知らせ〉
- 本機を使ってCDの音をデジタル録音したMDは、他の機器でデジタルコピーすることはできません。
- デジタル録音したCD-R/CD-RWは、MDに録音することができません。「SCMS CANNOT COPY」が表示されます。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

**■私的録音補償金についてのお問い合わせ先：**
**社団法人　私的録音補償金管理協会**
**電　　話　03-5353-0336（代）**

### 倍速録音の制限について

- 本機は、CDを倍速でMDに録音（コピー）することができます。このため著作権を保護するための規制が設けられています。つまり一度録音したCDの曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、再録音（倍速または等速録音）はできないようになっています。
  例えば、8センチCDの1曲目を何回もプログラムして倍速録音するという使いかたは、できません。「HCMS CANNOT COPY」と表示され、「ピッピッピ」音のあと録音が解除されます。
  またCDからMDに倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で100曲以上録音することはできません。99曲までの録音ができます。

# 故障かな？と思う前に —おや？故障かな？と思ったら…修理に出す前にもう一度お確かめください。—

| | 症状 | 原因 | 処置・確認のしかた | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 共通部 | 音がでない。 | ・ヘッドホンがつながれている。 | ・ヘッドホンのプラグを抜く。 | 13 |
| | 表示窓の時刻表示が点滅している。 | ・20分以上の停電があったため。または電源コードを抜いたため。 | ・時計合わせやタイマーの予約をし直す。 | 14 |
| CDプレーヤー部 | 演奏が始まらない。 | ・CDが裏返しに入っている。 | ・文字のある面が上になるように正しく入れる。 | 18 |
| | | ・レンズに露がついている。 | ・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。 | 7 |
| | 特定の個所が正常に演奏できない。 | ・CDにキズがある。 | ・CDを交換する。 | • |
| MDレコーダー部 | 演奏が始まらない。 | ・レンズに露がついている。 | ・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。 | 7 |
| | 録音ができない。 | ・MDが誤消去防止状態になっている。（DISC PROTECTEDが表示） | ・MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。 | 64 |
| | 編集操作ができない。 | ・プレイモード（PROGRAM、RANDOMまたはGROUP）がオンになっている。 | ・リモコンのPLAY MODEボタンを押してプレイモードを解除する。 | 37 45 |
| テープデッキ部 | 再生音が小さい。 | ・ヘッドが汚れている。 | ・ヘッドを清掃する。 | 65 |
| | TAPE RECボタンを押しても録音状態にならない。 | ・カセットの誤消去防止用のツメが折れている。 | ・セロハンテープなどでツメの穴をふさぐ。 | 65 |
| チューナー部 | 雑音が多くて放送がうまく受信できない。 | ・アンテナの調節が悪い。 | ・アンテナの調節をし直す。または設置場所を変える。 | 12 |
| | | ・テレビやOA機器がそばにある。 | ・テレビやOA機器などから離す。 | • |
| タイマー部 | タイマーがスタートしない。 | ・現在時刻が合っていない。 | ・正しい時刻に設定し直す。 | 14 |
| | | ・タイマー表示（◷）が表示されていない。 | ・TIMERボタンを押してタイマー表示（◷）を表示させ、再設定する。 | 59 |
| リモコン | リモコン操作ができない。 | ・リモコンの乾電池が消耗している。 | ・新しい乾電池（単3形）と交換する。 | 11 |
| | | ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。 | ・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。 | 11 |

## ●上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

●大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

**お願い**

●本機の故障または不具合等により録音、再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

## ●MD(ミニディスク)のメッセージ表示一覧

| メッセージ | 意　味 | 処　置 |
|---|---|---|
| BLANK DISC | 何も録音されていないMDが入っている。 | 新しく録音するとき以外は、他の録音済みのMDと取り換えてください。 |
| CANNOT JOIN | 録音モードが異なる曲または8秒以下の短い曲をつなげようとした。 | MDのシステム上の制約です。 |
| | 離れているグループをつなげようとした。 | ➡51ページ参照 |
| DISC ERROR | MDが異常（損傷している）。 | MDを取り換える。 |
| DISC FULL | MDの空き時間が足りない。<br>曲番号が254を超える。<br>（254曲まで録音可能） | 他の録音用MDと取り換えてください。 |
| DISC PROTECTED | MDが誤消去防止状態になっている。 | MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。 |
| EMERGENCY STOP | 録音中に異常が発生した。 | ■(停止)ボタンでいったん停止してから操作しなおしてください。 |
| MD NO DISC | MDが入っていない。 | MDを入れてください。 |
| NON AUDIO CANNOT COPY | CD-ROM（ビデオCDなど）をデジタルダビングしようとした。 | 録音を中止してください。 |
| PLAYBACK MD | 再生専用MDに録音・編集しようとした。 | 録音用MDと取り換えてください。 |
| TRACK PROTECTED | トラックプロテクトがかかっている。 | 本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除します。 |
| SCMS CANNOT COPY | デジタルダビングのコピーのコピーを作ろうとした。 | アナログで録音する。 |
| HCMS CANNOT COPY | 倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再録音しようとしたため。 | 著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待ってから録音してください。 |
| CAN NOT LISTEN | 倍速録音中に音量・音質調節をしたため | 倍速録音中は､CDの演奏音が出ません。終わるまで待ってください。 |
| GROUP TRACK | すでにグループに登録されている曲を選んでグループを作ろうとした。 | グループに登録されていない曲を選んでグループを作る。 |
| CANNOT ENTRY | すでに登録されているグループに登録しようとした。 | 登録先のグループを正しく選ぶ。 |

# 保証とアフターサービス（必ずお読みください）

## 保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

**保　証　期　間**
**お買い上げの日から１年間**

## 補修用性能部品の最低保有期間

**CD-MD**ポータブルシステム補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後６年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または71ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは　持込修理

68ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

**保　証　期　間　中　は**

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

**保証期間が過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

| 便利メモ | お買い上げ日 | |
|---|---|---|
| | お買い上げ店名 | ☎（　　）　－ |

**別売アクセサリー**

・ヘッドホン：**HP-S55**
・フォノイコライザー：**AC-S100J**
・フルオートプレーヤー：**AL-E350**（MM型カートリッジ）
・オーディオミキサー：**MI-A40**
・電源コード：**CN-325A**（長さ1.8m）
・整合器：**VZ-71A**
・接続コード：**CN-201A**（AUX IN端子の接続用）
・クリーニングキット：**CK-25**（CD用）
・CDレンズクリーナー：**CL-CDL**
・MDレンズクリーナー：**CL-ML**
・カセットデッキ用ヘッドクリーナー：**CK-6**

■別売りアクセサリーはお買い上げの販売店でお求めください。
■この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

# ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

## ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

| 都府県名 | 窓口名 | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| **北海道** | | | | |
| 北海道 | 札幌 S.C. | (011)898-1180 | 004-0005 | 札幌市厚別区厚別東5条1-2-29 |
| | 旭川 S.C. | (0166)61-3659 | 070-8012 | 旭川市神居二条3-2-15 |
| | 北見 S.S. | (0157)25-8557 | 090-0037 | 北見市山下町4-7-19 |
| | 釧路 S.S. | (0154)24-0797 | 080-0005 | 釧路市松浦町3番3号 |
| | 帯広 S.S. | (0155)24-4493 | 080-0806 | 帯広市東六条南12-11 |
| | 函館 S.S. | (0138)52-5324 | 040-0001 | 函館市五稜郭町4-16函館あおば生命ビル1F |
| **東北** | | | | |
| 青森 | 青森 S.C. | (017)723-2261 | 030-0844 | 青森市桂木4-6-17 |
| | 八戸 S.S. | (0178)44-4521 | 031-0804 | 八戸市青葉2-21-2 |
| | 弘前 S.S. | (0172)28-0165 | 036-8084 | 弘前市高田1-13-1 |
| 岩手 | 盛岡 S.C. | (019)637-0121 | 020-0835 | 盛岡市津志田9地割24-1 |
| | 水沢 S.S. | (0197)22-2773 | 023-0815 | 水沢市天文台通り3-12 |
| 秋田 | 秋田 S.C. | (018)824-3189 | 010-0953 | 秋田市山王中園町4-1 |
| | 大館 S.S. | (0186)43-0980 | 017-0874 | 大館市美園町5-6 |
| | 横手 S.S. | (0182)32-8873 | 013-0064 | 横手市赤坂字大道向3-6 |
| 宮城 | 仙台 S.C. | (022)287-0151 | 984-0011 | 仙台市若林区六丁の目西町7-13 |
| | 石巻 S.S. | (0225)94-7711 | 986-0853 | 石巻市門脇字四番谷地8-18 |
| 山形 | 山形 S.C. | (023)642-0279 | 990-2412 | 山形市松山3-12-18 |
| | 酒田 S.S. | (0234)26-7145 | 998-0842 | 酒田市亀ヶ崎6-6-1 |
| 福島 | 郡山 S.C. | (024)952-6331 | 963-0205 | 郡山市堤1-3 |
| | いわき S.S. | (0246)28-4991 | 970-8034 | いわき市平上荒川字桜町19-4 |
| | 会津若松 S.S. | (0242)38-1355 | 965-0831 | 会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101 |
| | 福島 S.S. | (024)553-9437 | 960-0103 | 福島市本内字南原26-1 |
| **関東・甲信越** | | | | |
| 新潟 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (025)241-4003 | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 新潟 S.C. | (025)242-3431 | 950-0084 | 新潟市明石1-2-19 |
| | 長岡 S.S. | (0258)24-8391 | 940-0012 | 長岡市下下条2-1366-1 |
| | 上越 S.S. | (0255)45-1734 | 942-0081 | 上越市五智1-11 |
| 長野 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (026)221-7607 | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 長野 S.C. | (026)221-6583 | 380-0913 | 長野市川合新田962-1 |
| | 松本 S.S. | (0263)25-9165 | 390-0828 | 松本市庄内2-4-21 |
| 群馬 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (027)255-5982 | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 前橋 S.C | (027)255-5921 | 371-0854 | 前橋市大渡町1-19-1 |
| 栃木 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (028)635-2938 | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 宇都宮 S.C | (028)638-1639 | 321-0953 | 宇都宮市東宿郷3-5-22 |
| 茨城 | 土浦 S.C. | (0298)21-8756 | 300-0813 | 土浦市富士崎1-10-1 |
| | 水戸 S.S. | (029)246-1560 | 310-0836 | 水戸市元吉田町1077 |
| 山梨 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (055)227-5773 | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 甲府 S.S. | (055)237-4016 | 400-0864 | 甲府市湯田2-11-5 |
| 千葉 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03)5803-2888 | 279-0001 | 浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 千葉 S.C. | (043)246-2588 | 261-0001 | 千葉市美浜区幸町2-1-1 |
| | 柏 S.C. | (0471)75-4322 | 277-0863 | 柏市豊四季512-10-67 |
| | 浦安 S.S. | (047)353-6189 | 279-0001 | 浦安市当代島2-13-27 |
| 東京 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03)5803-2888 | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 本郷 S.C. | (03)5684-8254 | 113-0033 | 文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F |
| | 秋葉原 S.S | (03)3251-2128 | 101-0021 | 千代田区外神田1-6-6 |
| | 練馬 S.C. | (03)3993-7520 | 176-0014 | 練馬区豊玉南1-19-1 |
| | 大田 S.C. | (03)3727-9385 | 145-0062 | 大田区北千束2-20-6 |
| | 八王子 S.C. | (0426)46-6914 | 192-0045 | 八王子市大和田町2-9-6 |
| | 【業務用機器専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏メンテナンスセンター | (03)3874-5231 | 110-0003 | 台東区根岸5-4-3 |
| 埼玉 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03)5803-2888 | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 大宮 S.C. | (048)654-5241 | 330-0037 | さいたま市東大成町2-658-1 |
| | 熊谷 S.S. | (048)553-5105 | 361-0057 | 行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B |
| 神奈川 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03)5803-2888 | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 横浜 S.C. | (045)651-0403 | 231-0028 | 横浜市中区翁町1-3-1 |
| | 川崎 S.C. | (044)975-1879 | 216-0024 | 川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル） |
| | 平塚 S.C. | (0463)36-2160 | 254-0065 | 平塚市南原2-4-5 |
| | 相模原 S.C | (042)776-2052 | 229-0004 | 相模原市古淵3-7-4 |
| **東海・北陸** | | | | |
| 静岡 | 静岡 S.C. | (054)282-4141 | 422-8006 | 静岡市曲金6-5-28 |
| | 沼津 S.S. | (0559)22-1557 | 410-0041 | 沼津市筒井町6-5 |
| | 浜松 S.S. | (053)421-3441 | 435-0041 | 浜松市北島町785 |
| 愛知 | 名古屋 S.C. | (0568)25-3235 | 481-0041 | 西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1 |
| | 三河 S.C. | (0564)51-5931 | 444-0833 | 岡崎市桂曙3-10-12 |
| | 豊橋 S.S. | (0532)64-0815 | 440-0853 | 豊橋市佐藤5-19-1 |
| 岐阜 | 岐阜 S.S. | (058)274-1947 | 500-8367 | 岐阜市宇佐南3-1-28 |
| 三重 | 三重 S.S. | (0593)52-0841 | 510-0076 | 四日市市堀木2-15-2 |
| | 津 S.S. | (059)229-7780 | 514-0815 | 津市大字藤方485-18 |
| 富山 | 富山 S.C. | (076)425-2397 | 939-8211 | 富山市二口町四丁目1-3 |
| 石川 | 金沢 S.C. | (076)269-4821 | 921-8062 | 金沢市新保本四丁目65-17 |
| 福井 | 福井 S.S. | (0776)53-6916 | 910-0843 | 福井市西開発3-211 |
| **近畿** | | | | |
| 滋賀 | 滋賀 S.S. | (077)582-5812 | 524-0033 | 守山市浮気町268 |
| 京都 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪 S.C. | (06)6304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 京都 S.C. | (075)644-0247 | 612-8401 | 京都市伏見区深草下川原町31-1 |
| 京都北部 | 福知山 S.S. | (0773)22-8664 | 620-0059 | 福知山市厚東町145-2 |
| 奈良 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪 S.C. | (06)6304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 奈良 S.S. | (0744)24-6271 | 634-0007 | 橿原市葛本町834-2 |
| 大阪 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪 S.C. | (06)6304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪 S.C. | (06)6304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 大阪南 S.C. | (06)6768-5489 | 543-0028 | 大阪市天王寺区小橋町10-16 |
| | 堺 S.C. | (0722)54-2881 | 591-8032 | 堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ |
| | 【業務用機器専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪メンテナンスセンター | (06)6304-6715 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| 和歌山 | 和歌山 S.S. | (073)472-6799 | 640-8323 | 和歌山市太田430-8 |
| | 田辺 S.S. | (0739)22-9976 | 646-0031 | 田辺市湊1581-12 |
| 兵庫中東部 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪 S.C. | (06)6304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 神戸 S.C. | (078)252-0562 | 651-0086 | 神戸市中央区磯上通3-2-16 |
| 兵庫西部 | 姫路 S.S. | (0792)34-3833 | 670-0975 | 姫路市中地南町11-1 |
| **中国** | | | | |
| 岡山 | 岡山 S.C. | (086)243-1566 | 700-0927 | 岡山市西古松西町8-23 |
| 広島 | 広島 S.C. | (082)243-9839 | 730-0825 | 広島市中区光南3-9-17 |
| | 福山 S.S. | (0849)31-6984 | 721-0973 | 福山市南蔵王町3-5-15 |
| 山口 | 山口 S.C. | (083)973-3708 | 754-0022 | 吉敷郡小郡町花園町5-28 |
| | 徳山 S.S. | (0834)27-1331 | 745-0042 | 徳山市野上町2-35 |
| | 下関 S.S. | (0832)51-1040 | 751-0852 | 下関市熊野町2-14-23 |
| 島根 | 山陰ビクター販売（株）サービスセンター（松江・米子担当） | (0852)31-8900 | 690-0823 | 松江市学園1-16-39 |
| | 出雲営業所サービス係 | (0853)21-4611 | 693-0001 | 出雲市今市町854 |
| | 浜田営業所サービス係 | (0855)22-1584 | 697-0023 | 浜田市長沢町671-1 |
| 鳥取 | 鳥取営業所サービス係 | (0857)23-2151 | 680-0911 | 鳥取市千代水1丁目22-1 |
| **四国** | | | | |
| 香川 | 高松 S.C. | (087)866-1200 | 761-8057 | 高松市田村町205-1 |
| 徳島 | 徳島 S.C. | (088)622-7387 | 770-8052 | 徳島市沖浜2-37 |
| 高知 | 高知 S.S. | (088)882-0546 | 780-8122 | 高知市高須新町4-143 |
| 愛媛 | 松山 S.C. | (089)923-0372 | 791-8015 | 松山市中央1-4-12 |
| | 宇和島 S.S. | (0895)20-1018 | 798-0087 | 宇和島市坂下津甲407-40 |
| **九州・沖縄** | | | | |
| 福岡 | 福岡 S.C. | (092)-431-1261 | 812-0011 | 福岡市博多区博多駅前4-16-1 |
| | 久留米 S.S | (0942)-39-3495 | 830-0038 | 久留米市西町字神浦1-1192 |
| | 北九州 S.C. | (093)921-3981 | 802-0064 | 北九州市小倉北区片野2-15-2 |
| 長崎 | 長崎 S.C. | (095)862-5522 | 852-8021 | 長崎市城山町9-13 |
| | 佐世保 S.S | (0956)33-5568 | 857-1166 | 佐世保市木風町1467-2 |
| 大分 | 大分 S.S. | (097)543-1422 | 870-0882 | 大分市大道町4-1-2 |
| 熊本 | 熊本 S.C. | (096)353-4536 | 861-4101 | 熊本市近見町8-1-10 |
| 宮崎 | 宮崎 S.S. | (0985)24-5401 | 880-0032 | 宮崎市霧島町3-59 |
| | 延岡 S.S | (0982)35-7707 | 882-0857 | 延岡市惣領町24-3 |
| 鹿児島 | 鹿児島 S.C. | (099)282-8818 | 890-0034 | 鹿児島市田上七丁目9-8 |
| 沖縄 | 沖縄 S.C. | (098)898-3631 | 901-2224 | 沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16 |

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0701

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

# 主な仕様 —本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

〈CDプレーヤー部〉

| | |
|---|---|
| 形式 | コンパクトディスクデジタルオーディオシステム |
| サンプリング周波数 | 44.1kHz |
| チャンネル数 | 2チャンネル・ステレオ |
| 周波数特性 | 20Hz～20kHz |

〈MDレコーダー部〉

| | |
|---|---|
| 形式 | ミニディスクデジタルオーディオシステム |
| 記録方式 | 磁界変調オーバーライト方式 |
| 録音再生時間 | 録音モードSP ： 80分<br>LP 2 ：160分<br>LP 4 ：320分 （MD80使用） |
| サンプリング周波数 | 44.1kHz |
| 音声圧縮方式 | ATRAC/ATRAC 3 (MD **LP**)方式 |
| チャンネル数 | 2チャンネル・ステレオ |
| 周波数特性 | 20Hz～20kHz |

〈チューナー部〉

| | |
|---|---|
| 受信周波数 | FM：76.0MHz～108.0MHz<br>AM：531kHz～1,629kHz |
| アンテナ | FM：75Ω不平衡型／ロッドアンテナ<br>AM：ループアンテナ |

〈テープレコーダー部〉

| | |
|---|---|
| トラック方式 | コンパクトカセット・ステレオ |
| 録音方式 | 交流バイアス |
| 消去方式 | 交流消去 |
| ヘッド | 消去（2ギャップフェライト）<br>録音・再生（ハードパーマロイ）<br>コンビネーション×1 |
| 早巻時間 | 約200秒（C-60） |
| 周波数範囲 | ノーマルテープ<br>：60Hz～12.5kHz（EIAJ） |

〈タイマー部〉

| | |
|---|---|
| タイマー形式 | 1日1動作（オン・オフタイマー） |
| スリープタイマー | 10、20、30、60、90、120分（ディマー機能付） |
| 時計表示 | 24時間表示 |

〈共通部〉

| | |
|---|---|
| スピーカー | 8㎝（丸形×2）、4Ω |
| 入力端子 | AUX（ステレオミニ×1）、500mV<br>入力インピーダンス49kΩ |
| 出力端子 | PHONES（ステレオミニ×1）、15mW/32Ω<br>適合インピーダンス16Ω～1kΩ |
| 実用最大出力 | 4W＋4W（EIAJ/AC） |
| 電源 | AC100V（50Hz/60Hz共用） |
| 消費電力 | 電源 入（ON）時29W<br>切（STANDBY）時2W |
| 最大外形寸法 | 幅426㎜×高さ177㎜×奥行262㎜ |
| 質量 | 約5.6㎏ |

● EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。

・本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

**付属品**

・リモコン（RM-SRCX 5 MDA*：ブルーのとき）…… 1
・単3形乾電池（リモコン動作確認用）…………………… 2
・電源コード（長さ1.5m）……………………………… 1
・AMループアンテナ ……………………………………… 1

*リモコンの型名は、色によって異なります。詳しくは7ページをご覧ください。

**ご相談や修理は**

**ビクター製品についてのご相談や修理の依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

| 修理などのアフターサービスに関するご相談<br>**ビクターサービスエンジニアリング株式会社** | お買い物相談や製品についての全般的なご相談<br>**お客様ご相談センター** |
|---|---|
| 71ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。 | **東京…☎(03)5684-9311**<br>**FAX(03)5684-9317**<br>〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル<br>**大阪…☎(06)6765-4161**<br>**FAX(06)6765-4891**<br>〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル |

ビクターホームページ http://www.jvc-victor.co.jp/

**日本ビクター株式会社**

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎ダイヤルイン(027)254-8952



0801 MOMOZKJEM